

注3

大学番号：国034

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

新潟大学 工学部 工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人新潟大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画課

職名・氏名 ガクシ・ショウガイカカリチョウ 学事・渉外係長 ・ タカハシ 高橋 トシユキ 俊幸

電話番号 025-262-6026

（夜間） 025-262-6026

F A X 025-262-6248

e-mail planning@adm.niigata-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	111
4. 既設大学等の状況	113
5. 教員組織の状況	116
6. 附帯事項等に対する履行状況等	190
7. その他全般的事項	192

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 新潟大学

(2) 大学名

新潟大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒950-2181
新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(タカハシ スガタ) 高橋 姿 (平成26年2月)		
学部長	(オグラ カズオ) 小椋 一夫 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 工学科 学士(工学)	工学関係	4年	530人	3年次 20人	2160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	530人 () []	人	530人 () []	人	530人 (20) []	人	人	人	1.03倍	一倍	
志願者数	1259 (-) [14]	- (-) [-]	1055 (-) [20]	- (-) [-]	860 (120) [41]	- (-) [-]	() () []	() () []			
受験者数	1012 (-) [11]	- (-) [-]	843 (-) [14]	- (-) [-]	707 (106) [34]	- (-) [-]	() () []	() () []			
合格者数	584 (-) [6]	- (-) [-]	576 (-) [8]	- (-) [-]	576 (54) [15]	- (-) [-]	() () []	() () []			
B 入学者数	548 (-) [6]	- (-) [-]	550 (-) [8]	- (-) [-]	548 (40) [15]	- (-) [-]	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.03		1.03		1.03						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を超えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を超えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	548 [6] (-)	— [-] (-)	563 [8] (15)	— [-] (-)	559 [11] (11)	— [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	平成30年度2年次転部学生1人を含む 令和元年度2年次転部学生1人を含む 令和元年度第3年次編入学生40人を含む
2年次	/		533 [6] (-)	— [-] (-)	548 [6] (2)	— [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	
3年次	/		/		568 [8] (-)	— [-] (-)	[] [] (-)	[] [] (-)	
4年次	/		/		/		[] (-)	[] (-)	
計	548 [6] (-)		1096 [14] (15)		1675 [29] (13)		[] ()	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	548 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	進路変更
平成30年度	1097 人	10 人	平成29年度	5 人	2 人	進路変更(1人)、就学意欲の低下(2人)[病気(1人)、除籍(1人)]
			平成30年度	5 人	0 人	進路変更(4人)、就学意欲の低下(1人)
令和元年度	1675 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		11 人		11 人	2 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{548} = \boxed{0.18} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{1097} = \boxed{0.91} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1675} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 機械システム工学プログラム>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学科導入	専門必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2		10							
			1①②	2		4	3	6					
			1③④	2		1							
			1③④	1		1							
			1③④	1		1							
	リメディアル演習	1①②	1		16	13	5						
	小計(6科目)			—	8	1	0	23	16	11			
	分野導入	目録 数物演習 物理工学実験	1③	2		1	1				1		
			1④	1		1	1	1					
			1③	2		6	7	4	1	1			
1④			2		3	4	1			1			
1④			2		2								
小計(5科目)			—	0	9	0	9	11	5	2			
機械システム工学プログラム	目録 必須必修科目 材料力学I 流体工学I 工業力学 機械工作実習I 機械工作実習II 機械工作実習III 熱工学I 機械力学I 製図基礎 設計製図I 機械工学実験I 設計製図II 機械工学実験II 設計製図III 機械工学実験III 設計製図IV 機械工学実験IV 卒業研修 卒業研究	2①	2		1						1		
		2①	2		2							1	
		2③	2		2							1	
		2①	2		1							1	
		2①	2					1				1	
		2①	2		1	1							
		2①	1				2						
		2②	1				2						
		2③	1				2						
		2④	2		1	1							
		2④	2		1								
		2④	2		1								
		3①	1		1		1						
		3①	1		1	1		3				1	
		3②	1		1		1						
		3②	1		2	1	1					1	
		3③	1			1		2					
		3③	1		1	4							
		3④	1			1		2					
		3④	1		5	2	4					1	
		4①~②	2		6	7	4					1	
		4③~④	6		6	7	4					1	
		選択必修科目	2① 2② 2② 2③ 2③ 2③ 3① 3① 3① 3③ 3③ 3③ 3④ 4① 4③	2①	2		1						
				2②	2		1						
				2②	2		1						
				2③	2		1		1				
				2③	2			1					1
				2③	2			1					
				3①	2		1	1					
				3①	2		1						
				3①	2		1						
				3③	2			1					
				3③	2		4	4					
				3④	2		1						
4①	2				6	7	4				1		
4③	2				6	7	4				1		
選択科目	2④ 3② 3② 3② 3③ 3③ 3③ 3④ 3④ 3④ 3④ 3④ 3④ 3④ 4②			2④	2		1						
				3②	2		1						
				3②	2		1			1			
				3②	2		1						
		3③	2		1	1							
		3③	2		1			1					
		3③	2		1	1							
		3④	2		1	1							
		3④	2		1		1						
		3④	2		1		1				1		
		3④	2		6	7	4				1		
		4②	2				1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学科導入	専門必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2				11	1				
			1①②	2			6	6		6		5	
			1②	2									
			1③	1					1				
			1③	1									
	リメディアル演習	1①	1		4	6		7					
	小計(6科目)			—	8	1	0	16	12	10	6		
	分野導入	目録 数物演習 物理工学実験	1③	2		1	1					1	
			1④	1		1	1			1			
			1③	2		6	6	3				1	
1④			2		2	4	2				1		
1④			2		2								
小計(5科目)			—	0	9	0	8	10	5	2			
機械システム工学プログラム	目録 必須必修科目 材料力学I 流体工学I 工業力学 機械工作実習I 機械工作実習II 機械工作実習III 熱工学I 機械力学I 製図基礎 設計製図I 機械工学実験I 設計製図II 機械工学実験II 設計製図III 機械工学実験III 設計製図IV 機械工学実験IV 卒業研修 卒業研究	2①	2		1								
		2①	2		2								
		2③	2		2								
		2①	2		1								
		2②	2								1		
		2①	2		1	1							
		2①	1				2						
		2②	1				2						
		2③	1				2						
		2④	2		1	1							
		2④	2		1								
		2④	2		1								
		3①	1		1		1						
		3①	1		1	1		3			1		
		3②	1		1		1						
		3②	1		2	1	1				1		
		3③	1			1		2					
		3③	1		1	4							
		3④	1			1		2					
		3④	1		5	2	4						
		4①~②	2		6	7	4					1	
		4③~④	6		6	7	4					1	
		選択必修科目	2① 2② 2② 2③ 2③ 2③ 3① 3① 3① 3③ 3③ 3③ 3④ 4① 4③	2①	2		1						
				2②	2		1						
				2②	2		1						
				2③	2		1		1				
				2③	2			1					1
				2③	2			1					
				3①	2		1	1					
				3①	2		1						
				3①	2		1						
				3③	2			1					
				3③	2		4	4					
				3④	2		1						
4①	2				6	7	4				1		
4③	2				6	7	4				1		
選択科目	2④ 3② 3② 3② 3③ 3③ 3③ 3④ 3④ 3④ 3④ 3④ 3④ 3④ 4②			2④	2		1						
				3②	2		1						
				3②	2		1						1
				3②	2		1						
		3③	2		1	1							
		3③	2		1								
		3③	2		1	1							
		3④	2		1	1							
		3④	2		1		1						
		3④	2		6	6	3				1		
		4③	2		6	6	3				1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手	担	
専門教育に関する授業科目	技術英会話	4②	2			1						1
	職業指導(工)	4②	2									
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1						
	創造プロジェクトI	2①~②	2			1						
	創造プロジェクトII	2③~④	2			1						
	創造研究プロジェクトI	3①~②	2			1						
	創造研究プロジェクトII	3③~④	2			1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2			1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2			1						
	特殊選択科目	工場実習	1-2-3-4①②③④	2			1					
		工場見学	1-2-3-4①②③④	1			1					
		特別講義	1-2-3-4①②③④	1			1					
		海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4			1					
		海外研修	1-2-3-4①②③④	1~4			1					
	自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1					
		特設講義					1					
	小計(65科目)			—	31	87~90	7	7		4		4
	合計(76科目)			—	39	87~100	29	24		14		5
	卒業要件及び履修方法											
	必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目39単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手	担	
専門教育に関する授業科目	技術英会話	4②	2									1
	職業指導(工)	4②	2									
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1						
	創造プロジェクトI	2①~②	2			1						
	創造プロジェクトII	2③~④	2			1						
	創造研究プロジェクトI	3①~②	2			1						
	創造研究プロジェクトII	3③~④	2			1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2			1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2			1						
		国際工学概論	1-2-3-4③④	1			1					
		国際工学事情	1-2-3-4③④	1			1					1
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1					
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1					
		国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1					
		国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1					
	特殊選択科目	工場実習	1-2-3-4①②③④	2			1					
		工場見学	1-2-3-4①②③④	1			1					
		特別講義	1-2-3-4①②③④	1			1					
		海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4			1					
		国際研修	1-2-3-4①②③④	1~4			1					
	自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1					
	特設講義					1						
小計(71科目)			—	31	89~102	8	8		3		5	
合計(82科目)			—	39	100~112	22	16		14		12	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目39単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選自	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	技術英会話	4②	2		1						
	職業指導 (工)	4②	2								1
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2		1						
	創造プロジェクトⅠ	2①~②	2		1						
	創造プロジェクトⅡ	2③~④	2		1						
	創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2		1						
	創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2		1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4 ①~②	2		1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4 ③~④	2		1						
	国際工学概論	1-2-3-4 ③④	1		1						1
	国際工学事情	1-2-3-4 ③④	1								1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1						
	工場実習	1-2-3-4 ①②③④	2		1						
	工場見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
	特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1							
国際研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4		1							
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目 特設講義			1							
小計 (71科目)	—	31 ⁹⁹⁻¹⁰²	8	7	4		5				
合計 (82科目)	—	39 ⁹⁹⁻¹¹²	22	16	14		6				

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目39単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選自	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	技術英会話	4②	2		1						
	職業指導 (工)	4②	2								1
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2		1						
	創造プロジェクトⅠ	2①~②	2		1						
	創造プロジェクトⅡ	2③~④	2		1						
	創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2		1						
	創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2		1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4 ①~②	2		1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4 ③~④	2		1						
	国際工学概論	1-2-3-4③④	1		5	2		3			
	国際工学事情	1-2-3-4③④	1								1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1						
	工場実習	1-2-3-4 ①②③④	2		1						
	工場見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
	特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1							
国際研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4		1							
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目 特設講義			1							
小計 (71科目)	—	31 ⁹⁹⁻¹⁰²	12	10	6		5				
合計 (82科目)	—	39 ⁹⁹⁻¹¹²	23	19	14		9				

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目39単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても**科目名の後ろに「(未開講)」**として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1②」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「社会基盤工学概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「応用数理B（常微分方程式）」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更
 - ・「複素・フーリエ解析」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「流体工学I」の配当年次を「2①」から「2②」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授5」から「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更
 - ・「機械工学概論」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更
 - ・「英文輪読I」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更
 - ・「英文輪読II」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更
 - ・「先端研究入門」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更

【令和元年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・「社会基盤工学概論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「流体工学II」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「機械工学概論」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
 - ・「機械工学実験I」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「設計製図III」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更
 - ・「設計製図IV」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更
 - ・「機械工学実験IV」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
 - ・「材料力学II」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更
 - ・「英文輪読I」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
 - ・「英文輪読II」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
 - ・「バイオメカニクス」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更
 - ・「先端研究入門」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24	52	0	76	24	58	0	82	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[]			[6]	[6

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{76} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 社会基盤工学プログラム>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学科導入	専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2		10					
			総合技術科学演習	1①②	2		4	3	6				
			技術者の心がまえ	1③④	2		1						
			知的財産概論	1③④	1		1						
			情報セキュリティ概論	1③④	1		1						
	特選科目	リメディアル演習	1①②	1		16	13	5					
	小計 (6科目)			—	8	1	0	23	16	11			
	分野導入	専門基礎科目群	選択必修科目	数物演習	1③	2		1	1			1	
			物理工学実験	1④	1		1	1	1				
			機械工学概論	1③	2		6	7	4		1		
社会基盤工学概論			1④	2		3	4	1		1			
材料力学入門			1④	2		2							
小計 (5科目)			—	0	9	0	9	11	5	2			
社会基盤工学プログラム	専門基礎科目群	選択必修科目	社会基盤応用数理及び演習Ⅰ	2②	2			1			1		
		社会基盤応用数理及び演習Ⅱ	2④	2			1			1			
		応用数理E (確率・統計)	3①	2			1						
		社会基盤数理工学	3②	2			1			1			
		動力学	3①	2			1						
		専門応用科目群	必修科目	応用力学Ⅰ	2①	2			1				
			コンクリート工学Ⅰ	2④	2			1					
			地盤工学Ⅰ	2③	2				1				
			基礎水理学	2①	2			1					
			社会基盤工学実験Ⅰ	3②	2			2	1		1		
	社会基盤工学実験Ⅱ		3③	2			1	1	1				
	社会基盤設計基礎		2①	2			3	4	1	1			
	土木技術者倫理		4①	2						2			
	技術英語Ⅱ		4③	2			3	4	1	1			
	卒業研修		4①~②	2			3	4	1	1			
	卒業研究		4③~④	6			3	4	1	1			
	選択必修科目		応用力学演習Ⅰ	2①	2			1			1		
	応用力学Ⅱ		2③	2			1				1		
	応用力学演習Ⅱ		2③	2			1				1		
	建設材料学		2②	2			1	1					
	コンクリート工学Ⅱ		3①	2			1						
	コンクリート構造工学		3③	2			1						
	地盤工学Ⅱ	2④	2				1						
	地盤工学Ⅲ	3②	2				1	1					
	水理学及び演習Ⅰ	2③	2			1			1				
	水理学及び演習Ⅱ	3①	2				1						
	社会基盤製図	2②	2						1				
社会基盤プロジェクト・マネジメント	3④	4			3	4	1	4					
測量学(工)	2④	2				1							
測量学実習(工)	3①	2				2		1					
都市計画Ⅱ	2④	2			1								
都市環境法	3②	2			1								
技術英語Ⅰ	4②	2				1							
選択科目	河川工学(工)	3②	2			1							
海岸工学	3③	2			1			1					
地形学	3④	2											
土木計画学	2・3①②	2						5					
交通工学	2・3①②	2						1					
不動産法	2④	2				1							
職業指導(工)	4②	2						1					
創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1								
創造プロジェクトⅠ	2①~②	2			1								
創造プロジェクトⅡ	2③~④	2			1								
創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2			1								
創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2			1								

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入	専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2		11	1			
			総合技術科学演習	1①②	2		6	6		6		
			技術者の心がまえ	1②	2							
			知的財産概論	1③	1				1			
			情報セキュリティ概論	1④	1							
	特選科目	リメディアル演習	1①	1		4	6		7			
	小計 (6科目)			—	8	1	0	16	12	10	6	
	分野導入	専門基礎科目群	選択必修科目	数物演習	1③	2		1	1			1
			物理工学実験	1④	1		1	1		1		
			機械工学概論	1③	2		6	6		3	1	
社会基盤工学概論			1④	2		2	4		2	1		
材料力学入門			1④	2		2						
小計 (5科目)			—	0	9	0	8	10	5	2		
社会基盤工学プログラム	専門基礎科目群	選択必修科目	社会基盤応用数理及び演習Ⅰ	2①	2			1			1	
		社会基盤応用数理及び演習Ⅱ	2④	2			1			1		
		応用数理E (確率・統計)	3②	2			1					
		社会基盤数理工学	3①	2			1			1		
		動力学	3③	2			1					
		専門応用科目群	必修科目	応用力学Ⅰ	2②	2			1			
			コンクリート工学Ⅰ	2④	2			1				
			地盤工学Ⅰ	2③	2				1			
			基礎水理学	2①	2					1		
			社会基盤工学実験Ⅰ	3②	2			2	1		1	
	社会基盤工学実験Ⅱ		3③	2			1		2	2		
	社会基盤設計基礎		2①	2			2	4		2		
	土木技術者倫理		4①	2						2		
	技術英語Ⅱ		4③	2			2	4		2		
	卒業研修		4①~②	2			2	4		2		
	卒業研究		4③~④	6			2	4		2		
	選択必修科目		応用力学演習Ⅰ	2②	2			1			1	
	応用力学Ⅱ		2③	2			1				1	
	応用力学演習Ⅱ		2③	2			1				1	
	建設材料学		2②	2			1	1				
	コンクリート工学Ⅱ		3①	2			1					
	コンクリート構造工学		3③	2			1					
	地盤工学Ⅱ	2④	2				1					
	地盤工学Ⅲ	3②	2				1		1			
	水理学及び演習Ⅰ	2③	2						1			
	水理学及び演習Ⅱ	3①	2				1					
	社会基盤製図	2②	2						1			
社会基盤プロジェクト・マネジメント	3③~④	4			2	4		2	4			
測量学(工)	2④	2				1						
測量学実習(工)	3①~②	2				2		1				
都市計画Ⅱ	2④	2			1							
都市環境法	3②	2			1							
技術英語Ⅰ	4②	2				1						
選択科目	河川工学(工)	3④	2			1						
海岸工学	3④	2						1				
地形学	3④	2										
土木計画学	2・3①②	2						5				
交通工学	2・3①②	2						1				
不動産法	2②	2				1						
職業指導(工)	4②	2						1				
創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1							
創造プロジェクトⅠ	2①~②	2			1							
創造プロジェクトⅡ	2③~④	2			1							
創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2			1							
創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2			1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	選択科目 社会基盤工学プログラム	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4 ①~②	2		1						
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4 ③~④	2		1						
	特殊選択科目	インターンシップ	3①②	2		1						
		現場見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
		特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
		海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1						
		海外研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4		1						
	自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1						
		特設講義				1						
	小計 (54科目)			—	26	83-88	5	4		1		14
合計 (65科目)			—	34	83-96	30	24		14		15	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	選択科目 社会基盤工学プログラム	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4 ①~②	2		1						
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4 ③~④	2		1						
		国際工学概論	1-2-3-4 ③④	1		1						
		国際工学事情	1-2-3-4 ③④	1		1						1
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1						
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1						
	特殊選択科目	インターンシップ	3①②	2		1						
		現場見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
		特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1						
		海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1						
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1							
	特設講義				1							
小計 (60科目)			—	26	86-98	6	4		2		15	
合計 (71科目)			—	34	83-100	24	18		13		22	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入	必修科目 専門応用科目群	総合工学概論	1①	2		10			6		
			総合技術科学演習	1②	2		6	5		6		
			技術者の心がまえ	1④	2		1					
			知的財産概論	1③	1		1		1			
		情報セキュリティ概論	1③	1		1						
	選択科目	リメディアル演習	1①	1		6	5		6			
	小計（6科目）			—	8	1	0	18	8		11	
	分野導入	群専門基礎科目	数物演習	1③	2		1	1				1
			物理工学実験	1④	1		1	1		1		
			機械工学概論	1③	2		6	7	4	4	1	1
目専門応用科目群		社会基盤工学概論	1④	2		2	4	1	1	1	1	
		材料力学入門	1④	2		2						
小計（5科目）			—	0	9	0	8	11		5	2	
社会基盤工学プログラム	群専門基礎科目	選択必修科目	社会基盤応用数理及び演習Ⅰ	2②	2		1				1	
		社会基盤応用数理及び演習Ⅱ	2④	2		1					1	
		応用数理E（確率・統計）	3①	2		1						
		社会基盤数理工学動力学	3②	2		1					1	
	目専門応用科目群	必修科目	応用力学Ⅰ	2①	2		1					1
			コンクリート工学Ⅰ	2④	2		1					
			地盤工学Ⅰ	2③	2		1		1			
			基礎水理学	2①	2		1		1			
			社会基盤工学実験Ⅰ	3②	2		2	1				1
			社会基盤工学実験Ⅱ	3③	2		2	1		1		
			社会基盤設計基礎	2①	2		2	4		1		1
			土木技術者倫理	4①	2		2	4		1		2
			技術英語Ⅱ	4③	2		2	4		1		1
			卒業研修	4①～②	2		2	4		1		1
		卒業研究	4③～④	6		2	4		1		1	
		選択必修科目	応用力学演習Ⅰ	2①	2		1					1
			応用力学Ⅱ	2③	2		1					1
			応用力学演習Ⅱ	2③	2		1					1
			建設材料学	2②	2		1	1				
コンクリート工学Ⅱ	3①		2		1							
コンクリート構造工学	3③		2		1							
地盤工学Ⅱ	2④		2		1			1				
地盤工学Ⅲ	3②		2		1		1			1		
水理学及び演習Ⅰ	2③		2		1		1					
水理学及び演習Ⅱ	3①	2		1								
社会基盤製図	2②	2							1			
社会基盤プロジェクト・マネジメント	3④	4		2	4		1		4			
測量学（工）	2④	2		1			1					
測量学実習（工）	3①	2		2			2					
都市計画Ⅱ	2④	2		1			1					
都市環境法	3②	2		1			1					
技術英語Ⅰ	4②	2		1			1					
選択科目	河川工学（工）	3②	2		1							
	海岸工学	3③	2		1							
	地形学	3④	2							1		
	土木計画学	2・3①②	2							5		
	交通工学	2・3①②	2							1		
	不動産法	2④	2		1							
	職業指導（工）	4②	2				1			1		
	創造プロジェクト基礎	1③～④	2		1							
	創造プロジェクトⅠ	2①～②	2		1							
	創造プロジェクトⅡ	2③～④	2		1							
	創造研究プロジェクトⅠ	3①～②	2		1			1				
	創造研究プロジェクトⅡ	3③～④	2		1			1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入	必修科目 専門応用科目群	総合工学概論	1①	2		11	1				
			総合技術科学演習	1②	2		5	2		6		
			技術者の心がまえ	1④	2		1					1
			知的財産概論	1③	1		1					1
		情報セキュリティ概論	1①	1		1						
	選択科目	リメディアル演習	1①	1		4	6		6		1	
	小計（6科目）			—	8	1	0	15	8		9	3
	分野導入	群専門基礎科目	数物演習	1③	2		1	1				1
			物理工学実験	1④	1		1	1		1		
			機械工学概論	1③	2		6	6	4	4	1	1
目専門応用科目群		社会基盤工学概論	1④	2		2	4	1	1	1	1	
		材料力学入門	1④	2		2						
小計（5科目）			—	0	9	0	8	10		5	2	
社会基盤工学プログラム	群専門基礎科目	選択必修科目	社会基盤応用数理及び演習Ⅰ	2①	2		1				1	
		社会基盤応用数理及び演習Ⅱ	2④	2		1					1	
		応用数理E（確率・統計）	3②	2		1						
		社会基盤数理工学動力学	3①	2		1					1	
	目専門応用科目群	必修科目	応用力学Ⅰ	2②	2		1					1
			コンクリート工学Ⅰ	2④	2		1					
			地盤工学Ⅰ	2③	2		1		1			
			基礎水理学	2①	2		1		1			
			社会基盤工学実験Ⅰ	3②	2		2	1				1
			社会基盤工学実験Ⅱ	3③	2		2	1		1		
			社会基盤設計基礎	2①	2		2	4		4	1	1
			土木技術者倫理	4①	2		2	4		1		2
			技術英語Ⅱ	4③	2		2	4		1		1
			卒業研修	4①～②	2		2	4		1		1
		卒業研究	4③～④	6		2	4		1		1	
		選択必修科目	応用力学演習Ⅰ	2②	2		1					1
			応用力学Ⅱ	2③	2		1					1
			応用力学演習Ⅱ	2③	2		1					1
			建設材料学	2②	2		1	1				
コンクリート工学Ⅱ	3①		2		1							
コンクリート構造工学	3③		2		1							
地盤工学Ⅱ	2④		2		1			1				
地盤工学Ⅲ	3②		2		1		1			1		
水理学及び演習Ⅰ	2③		2		1		1					
水理学及び演習Ⅱ	3①	2		1								
社会基盤製図	2②	2							1			
社会基盤プロジェクト・マネジメント	3③～④	4		2	4		1		4			
測量学（工）	2④	2		1			1					
測量学実習（工）	3①～②	2		2			2					
都市計画Ⅱ	2④	2		1			1					
都市環境法	3②	2		1			1					
技術英語Ⅰ	4②	2		1			1					
選択科目	河川工学（工）	3③	2		1							
	海岸工学	3③	2		1							
	地形学	3④	2							1		
	土木計画学	2・3①②	2							5		
	交通工学	2・3①②	2							1		
	不動産法	2④	2		1							
	職業指導（工）	4②	2				1			1		
	創造プロジェクト基礎	1③～④	2		1							
	創造プロジェクトⅠ	2①～②	2		1							
	創造プロジェクトⅡ	2③～④	2		1							
	創造研究プロジェクトⅠ	3①～②	2		1			1				
	創造研究プロジェクトⅡ	3③～④	2		1			1				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育に関する授業科目	社会基盤工学プログラム	選択科目	マーケット・インターンシップ ①~②	2		1						1		
			テクノロジー・インターンシップ ③~④	2		1								
			国際工学概論 ②④	1		1							1	
			国際工学事情 ③④	1									1	
			国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA ①②③④	2		1								
			国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB ①②③④	3		1								
			国際マーケット・グループワーク・インターンシップA ①②③④	2		1								
			国際マーケット・グループワーク・インターンシップB ①②③④	3		1								
			特殊選択科目	インターンシップ 3①②	2		1							
			現場見学 ①②③④	1		1								
特別講義 ①②③④	1		1											
海外英語研修 ①②③④	4		1											
国際研修 ①②③④	1~4		1											
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1									
特設講義					1									
小計 (60科目)			—	26	96-98	6	4	1			15			
合計 (71科目)			—	34	106-108	25	24	14			16			
卒業要件及び履修方法														
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))														

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育に関する授業科目	社会基盤工学プログラム	選択科目	マーケット・インターンシップ ①~②	2		1								
			テクノロジー・インターンシップ ③~④	2		1								
			国際工学概論 ②④	1		1			5	2		3		
			国際工学事情 ③④	1									1	
			国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA ①②③④	2		1								
			国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB ①②③④	3		1								
			国際マーケット・グループワーク・インターンシップA ①②③④	2		1								
			国際マーケット・グループワーク・インターンシップB ①②③④	3		1								
			特殊選択科目	インターンシップ 3①②	2		1							
			現場見学 ①②③④	1		1								
特別講義 ①②③④	1		1											
海外英語研修 ①②③④	4		1											
国際研修 ①②③④	1~4		1											
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1									
特設講義					1									
小計 (60科目)			—	26	96-98	10	6	4			14			
合計 (71科目)			—	34	106-108	26	23	13			17			
卒業要件及び履修方法														
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))														

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなくなったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1②」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「社会基盤工学概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「基礎水理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「社会基盤工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・「社会基盤設計基礎」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「技術英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「水理学及び演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「社会基盤プロジェクト・マネジメント」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「海洋工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「社会基盤応用数理及び演習Ⅰ」の配当年次を「2②」から「2①」に変更
 - ・「応用数理E（確率・統計）」の配当年次を「3①」から「3②」に変更
 - ・「社会基盤数理工学」の配当年次を「3②」から「3①」に変更
 - ・「応用力学Ⅰ」の配当年次を「2①」から「2②」に変更
 - ・「応用力学演習Ⅰ」の配当年次を「2①」から「2②」に変更
 - ・「社会基盤製図」の配当年次を「2②」から「2①」に変更
 - ・「社会基盤プロジェクト・マネジメント」の配当年次を「3④」から「3③～④」に変更
 - ・「測量学実習（工）」の配当年次を「3①」から「3①～②」に変更
 - ・「河川工学（工）」の配当年次を「3②」から「3③」に変更
 - ・「不動産法」の配当年次を「2④」から「2②」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授5」から「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更
 - ・「機械工学概論」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更

【令和元年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・「社会基盤工学概論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「社会基盤工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「社会基盤設計基礎」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「技術英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「水理学及び演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」を「准教授0」へ「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「社会基盤プロジェクト・マネジメント」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「測量学実習（工）」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「海洋工学」の専任教員等の配置を「准教授1」を「准教授0」へ「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「機械工学概論」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教3」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更
 - ・「動力学」の配当年次を「3①」から「3③」に変更
 - ・「河川工学（工）」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
 - ・「海洋工学」の配当年次を「3③」から「3④」に変更

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16	49	0	65	16	55	0	71	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[]	[]	[]	[]	[6]	[]	[]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 電子情報通信プログラム>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2		10						
			総合技術科学演習	1①②	2		4	3		6			
			技術者の心がまえ	1③④	2		1						
			知的財産概論	1③④	1		1						
		択特 科目 目選	情報セキュリティ概論	1③④	1		1						
			リメディアル演習	1①②	1		16	13		5			
小計(6科目)			—	8	1	0	23	16		11			
分野導入	専門応用科目群	選択必修科目	電子情報通信概論	1③	1		7	8		1			
			知能情報システム概論	1③	1		8	7		3			
			コンピュータ基礎	1①	1		1	1		2			
			プログラミング基礎I	1③	2		2	3		1			
			プログラミング基礎II	1④	2		2	3		1			
			小計(5科目)	—	0	7	0	16	16		4		
電子情報通信プログラム	専門基礎科目群	選択必修科目	応用数理B(常微分方程式)	2②	2		1	1					
			応用数理C(線形解析)	2③	2						1		
			応用数理E(確率・統計学)	2①	2								
			電気数理I(ベクトル解析)	2②	2		1						
			電気数理II(フーリエ解析)	2④	2		1			1			
			物理学II(解析力学)	2②	2		1						
			物理学III(量子物理学)	2③	2		1	1					
			物理学IV(熱・統計力学)	2④	2		1						
			専門応用科目群	必修科目	電気回路I	2①	2			1			
					電気回路演習I	2①	1			2			
					電子情報通信実験IA	2③	1		4	4			
					電磁気学演習I	2④	1		1	1			
					電子情報通信実験IB	2④	1		3	4		1	
					電子情報通信実験IIA	3①	1		4	4			
					電子情報通信実験IIB	3②	1		2	4		1	
電子情報通信設計製図	3③	2				7	8		1				
電子情報通信実験IIIA	3③	1				4	4						
電子情報通信実験IIIB	3④	1				2	4		1				
論文輪講I	4①	1				7	8		1				
電子情報通信実験IVA	4①	1				4	4						
卒業研修	4①②	2				7	8		1				
論文輪講II	4②	1				7	8		1				
電子情報通信実験IVB	4②	1				2	4		1				
選択必修科目	選択必修科目	電磁気学I	2③	2			1						
		卒業研究	4③④	6		7	8		1				
		電磁気学II	3①	2			1						
		プログラミングBI	2①	2			1		1				
		プログラミングBII	2②	2			1		1				
		デジタル回路	2②	2		1							
		電気回路II	2③	2			1						
		電気回路演習II	2④	1			1						
		電子回路	2④	2		1							
		電子デバイスI	2④	2		1							
		電気計測	2④	2		1	1						
		デジタル信号処理	3①	2		1							
		電気回路III	3①	2			1						
		電気機器	3①	2		1							
		情報理論	3②	2		1							
電磁気学演習II	3②	1			1								
電子デバイスII	3②	2			1			1					
システム制御工学	3②	2		1									
送配電工学	3②	2		1									
技術英語	3②	2			1		1						
画像情報工学	3③	2			1								
情報システムとセキュリティ	3③	2						1					
電子物性工学I	3③	2			1								
量子電子工学	3③	2			1								

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2				11	1			
			総合技術科学演習	1①②	2			6	6		6		
			技術者の心がまえ	1②	2							5	
			知的財産概論	1③	1					1		1	
		択特 科目 目選	情報セキュリティ概論	1③	1				1				
			リメディアル演習	1①	1		4	6		7			
小計(6科目)			—	8	1	0	16	12		10	6		
分野導入	専門応用科目群	選択必修科目	電子情報通信概論	1③	1		4	3		1			
			知能情報システム概論	1③	1		6	2					
			コンピュータ基礎	1①	1		1				2		
			プログラミング基礎I	1③	2			4			2		
			プログラミング基礎II	1④	2			4			2		
			小計(5科目)	—	0	7	0	10	8		3		
電子情報通信プログラム	専門基礎科目群	選択必修科目	応用数理B(常微分方程式)	2②	2				1				
			応用数理C(線形解析)	2③	2						1		
			応用数理E(確率・統計学)	2①	2								
			電気数理I(ベクトル解析)	2②	2								
			電気数理II(フーリエ解析)	2④	2				1		1		
			物理学II(解析力学)	2②	2					1			
			物理学III(量子物理学)	2③	2					2			
			物理学IV(熱・統計力学)	2④	2				1				
			専門応用科目群	必修科目	電気回路I	2①	2				1		
					電気回路演習I	2①	1					1	
					電子情報通信実験IA	2③	1				4	6	
					電磁気学演習I	2④	1				1	1	
					電子情報通信実験IB	2④	1				4	6	
					電子情報通信実験IIA	3①	1				4	5	
					電子情報通信実験IIB	3②	1				4	5	
電子情報通信設計製図	3③	2						7	8				
電子情報通信実験IIIA	3③	1						4	6				
電子情報通信実験IIIB	3④	1						4	6				
論文輪講I	4①	1						6	6				
電子情報通信実験IVA	4①	1						6	6				
卒業研修	4①②	2						7	7				
論文輪講II	4②	1						7	7				
電子情報通信実験IVB	4②	1						6	6				
選択必修科目	選択必修科目	電磁気学I	2③	2				1					
		卒業研究	4③④	6				7	7				
		電磁気学II	3①	2					1				
		プログラミングBI	2①	2				1		1			
		プログラミングBII	2②	2				1		1			
		デジタル回路	2②	2				1					
		電気回路II	2③	2					1				
		電気回路演習II	2④	1				1					
		電子回路	2④	2				1					
		電子デバイスI	2④	2				1					
		電気計測	2③	2				1	1				
		デジタル信号処理	3①	2				1					
		電気回路III	3①	2					1				
		電気機器	3①	2				1					
		情報理論	3②	2				1					
電磁気学演習II	3②	1					2						
電子デバイスII	3②	2					1						
システム制御工学	3②	2				1							
送配電工学	3②	2				1							
技術英語	3②	2					1						
画像情報工学	3③	2					1						
情報システムとセキュリティ	3③	2						1					
電子物性工学I	3③	2					1						
量子電子工学	3③	2					1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育に関する授業科目	選択必修科目	通信方式基礎	3	4		1							
	電子物性工学II	3	4		1								
	光応用工学	3	4		2			1					
	パワーエレクトロニクス	3	4		2		1						
	発変電工学	4	1		2		1						
	高電圧工学	4	2		2		1						
	選択科目	ネットワーク工学	2	4		1						1	
	電波・電気通信法規	4	1		2							1	
	職業指導(工)	4	2		2							1	
	電気法規・施設管理	4	3		1		1						
	創造プロジェクトI	2	1	2		1							
	創造プロジェクトII	2	3	4		1							
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4	1	2		1							
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4	3	4		2		1					
	創造プロジェクト基礎	1	3	4		2		1					
	創造研究プロジェクトI	3	1	2		2		1					
	創造研究プロジェクトII	3	3	4		2		1					
	国際工学概論	1-2-3-4	3	4		1		1					
	国際工学事情	1-2-3-4	3	4		1						1	
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4	1	2	3	4		2		1			
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4	1	2	3	4		3		1			
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4	1	2	3	4		2		1			
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4	1	2	3	4		3		1			
	特殊選択科目	インターンシップ	1-2-3-4	1	2	3	4		2	7	8	1	
	施設見学	1-2-3-4	1	2	3	4		1		1			
	特別講義	1-2-3-4	1	2	3	4		1		1			
	海外英語研修	1-2-3-4	1	2	3	4		4		1			
海外研修	1-2-3-4	1	2	3	4		1		1				
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目								1				
特設講義									1				
小計(71科目)		—	26	100-103		11	9		2		5		
合計(82科目)		—	34	107-110		30	22		13		5		
卒業要件及び履修方法													
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))													

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育に関する授業科目	選択必修科目	通信方式基礎	3	4		1							
	電子物性工学II	3	4		2						1		
	光応用工学	3	4		2						1		
	パワーエレクトロニクス	3	4		2			1					
	発変電工学	4	1		2			1					
	高電圧工学	4	2		2			1					
	選択科目	ネットワーク工学	2	4		2			1				1
	電波・電気通信法規	4	1		2								1
	職業指導(工)	4	2		2								1
	電気法規・施設管理	4	3		1			1					
	創造プロジェクトI	2	1	2		2		1					
	創造プロジェクトII	2	3	4		2		1					
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4	1	2		2		1					
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4	3	4		2		1					
	創造プロジェクト基礎	1	3	4		2		1					
	創造研究プロジェクトI	3	1	2		2		1					
	創造研究プロジェクトII	3	3	4		2		1					
	国際工学概論	1-2-3-4	3	4		1		1					
	国際工学事情	1-2-3-4	3	4		1							1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4	1	2	3	4		2		1			
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4	1	2	3	4		3		1			
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4	1	2	3	4		2		1			
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4	1	2	3	4		3		1			
	特殊選択科目	インターンシップ	1-2-3-4	1	2	3	4		2	7	6	2	
	施設見学	1-2-3-4	1	2	3	4		1		1			
	特別講義	1-2-3-4	1	2	3	4		1		1			
	海外英語研修	1-2-3-4	1	2	3	4		4		1			
国際研修	1-2-3-4	1	2	3	4		1		1				
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目								1				
特設講義									1				
小計(77科目)		—	26	112-115		10	9		2		6		
合計(88科目)		—	34	118-122		20	16		10		12		
卒業要件及び履修方法													
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))													

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担				
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
教養教育に関する授業科目		別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学科導入	必修科目	総合工学概論	1①	2			10							
			総合技術科学演習	1①	2		6	5	7						
			技術者の心がまえ	1④	2		1								
			知的財産概論	1③	1		1								
	選択科目	必修科目	情報セキュリティ概論	1③	1		1								
リメディアル演習			1①	1		6	5	6							
小計（6科目）			—	8	1	0	18	8	11						
分野導入	専門応用科目群	選択必修科目	電子情報通信概論	1③	1		3	4		1					
			知能情報システム概論	1③	1		5	2							
			コンピュータ基礎	1①	1		1		2						
			プログラミング基礎I	1③	2		4		2						
			プログラミング基礎II	1④	2		4		2						
			小計（5科目）	—	0	7	0	11	12		3				
電子情報通信プログラム	専門基礎科目群	選択必修科目	応用数理B（常微分方程式）	2②	2		1	1							
			応用数理C（複素解析）	2③	2							1			
			応用数理E（確率・統計学）	2①	2							1			
			電気数理I（ベクトル解析）	2②	2		1								
			電気数理II（フーリエ解析）	2④	2		1			1					
			物理学II（解析力学）	2②	2		1								
			物理学III（量子物理学）	2③	2			1							
			物理学IV（熱・統計力学）	2④	2		1								
			専門応用科目群	必修科目	選択必修科目	電気回路I	2①	2		1					
						電気回路演習I	2①	1		2	2				
						電子情報通信実験IA	2③	1		4	4				
						電磁気学演習I	2④	1		1	1				
電子情報通信実験IB	2④	1					3	4		1					
電子情報通信実験IIA	3①	1					4	4							
電子情報通信実験IIB	3②	1					2	4		1					
電子情報通信設計製図	3③	2					7	8		1					
電子情報通信実験IIIA	3③	1					4	4							
電子情報通信実験IIIB	3④	1					2	4		1					
論文輪講I	4①	1					7	8		1					
電子情報通信実験IVA	4①	1					4	4							
卒業研修	4①②	2					7	8		1					
論文輪講II	4②	1					7	8		1					
電子情報通信実験IVB	4②	1					2	4		1					
電磁気学I	2③	2					1								
卒業研究	4③④	6		7	8		1								
選択必修科目	選択必修科目	選択必修科目	電磁気学II	3①	2		1								
			プログラミングBI	2①	2		1		1						
			プログラミングBII	2②	2		1		1						
			デジタル回路	2②	2		1								
			電気回路II	2③	2		1								
			電気回路演習II	2④	1		1								
			電子回路	2④	2		1								
			電子デバイスI	2④	2		1								
			電気計測	2④	2		1	1							
			デジタル信号処理	3①	2		1								
			電気回路III	3①	2		1								
			電気機器	3①	2		1								
			情報理論	3②	2		1								
			電磁気学演習II	3②	1		1								
			電子デバイスII	3②	2		1								
			システム制御工学	3②	2		1								
			送配電工学	3②	2		1								
技術英語	3②	2		1			1								
画像情報工学	3③	2		1											
情報システムとセキュリティ	3③	2		1					1						
電子物性工学I	3③	2		1											
量子電子工学	3③	2		1											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
教養教育に関する授業科目		別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入	必修科目	総合工学概論	1①	2			11	1					
			総合技術科学演習	1①	2		5	2	6					
			技術者の心がまえ	1④	2		1					1		
			知的財産概論	1③	1		1					1		
	選択科目	必修科目	情報セキュリティ概論	1③	1		1							
リメディアル演習			1①	1		4	6	6		1				
小計（6科目）			—	8	1	0	15	8	9	3				
分野導入	専門応用科目群	選択必修科目	電子情報通信概論	1③	1		3	4		1				
			知能情報システム概論	1③	1		5	3						
			コンピュータ基礎	1①	1		1		2					
			プログラミング基礎I	1③	2		4		2					
			プログラミング基礎II	1④	2		4		2					
			小計（5科目）	—	0	7	0	11	14		3			
電子情報通信プログラム	専門基礎科目群	選択必修科目	応用数理B（常微分方程式）	2②	2			1						
			応用数理C（複素解析）	2③	2									
			応用数理E（確率・統計学）	2①	2									
			電気数理I（ベクトル解析）	2②	2		1							
			電気数理II（フーリエ解析）	2④	2		1			1				
			物理学II（解析力学）	2②	2					1				
			物理学III（量子物理学）	2③	2					2				
			物理学IV（熱・統計力学）	2④	2		1							
			専門応用科目群	必修科目	選択必修科目	電気回路I	2①	2		1				
						電気回路演習I	2①	1		2	4			
						電子情報通信実験IA	2③	1				4	4	
						電磁気学演習I	2④	1		1	1			
電子情報通信実験IB	2④	1					3	4		1				
電子情報通信実験IIA	3①	1					4	4						
電子情報通信実験IIB	3②	1					2	4		1				
電子情報通信設計製図	3③	2					7	8		1				
電子情報通信実験IIIA	3③	1					4	4						
電子情報通信実験IIIB	3④	1					2	4		1				
論文輪講I	4①	1					7	8		1				
電子情報通信実験IVA	4①	1					4	4						
卒業研修	4①②	2					7	8		1				
論文輪講II	4②	1					7	8		1				
電子情報通信実験IVB	4②	1					2	4		1				
電磁気学I	2③	2					1							
卒業研究	4③④	6		7	8		1							
選択必修科目	選択必修科目	選択必修科目	電磁気学II	3①	2		1							
			プログラミングBI	2①	2		1		1					
			プログラミングBII	2②	2		1		1					
			デジタル回路	2②	2		1							
			電気回路II	2③	2		1							
			電気回路演習II	2④	1		1							
			電子回路	2④	2		1							
			電子デバイスI	2④	2		1							
			電気計測	2④	2		1	1						
			デジタル信号処理	3①	2		1							
			電気回路III	3①	2		1							
			電気機器	3①	2		1							
			情報理論	3②	2		1							
			電磁気学演習II	3②	1		1							
			電子デバイスII	3②	2		1							
			システム制御工学	3②	2		1							
			送配電工学	3②	2		1							
技術英語	3②	2		1			1							
画像情報工学	3③	2		1										
情報システムとセキュリティ	3③	2		1										
電子物性工学I	3③	2		1										
量子電子工学	3③	2		1										

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	手				
専門教育に関する授業科目	電子情報通信プログラム	通信方式基礎	3④	2	1										
		電子物性工学II	3④	2	1										
		光応用工学	3④	2					1						
		パワーエレクトロニクス	3④	2		1									
		発変電工学	4①	2		1									
		高電圧工学	4②	2		1									
		選択科目	ネットワーク工学	2④	2	1								1	
			電波・電気通信法規	4①	2										1
			職業指導（工）	4②	2										1
			電気法規・施設管理	4③	1		1								
	創造プロジェクトI		2①~②	2	1										
	創造プロジェクトII		2③~④	2	1										
	マーケット・インターンシップ		1-2-3-4 ①~②	2		1									
	テクノロジー・インターンシップ		1-2-3-4 ③~④	2		1									
	創造プロジェクト基礎		1③~④	2	1										
	創造研究プロジェクトI		3①~②	2	1										
	創造研究プロジェクトII		3③~④	2	1										
	国際工学概論		1-2-3-4 ③④	1		1							1		
	国際工学事情	1-2-3-4 ③④	1										1		
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1										
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1										
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1										
国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1											
特殊選択科目	インターンシップ	1-2-3-4 ①②③④	2		7	8		1							
	施設見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1										
	特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1										
	海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1										
	国際研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4		1										
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1										
	特設講義				1										
小計（77科目）		—	26	112-115	12	9		2				6			
合計（88科目）		—	34	118-122	29	20		14				6			
卒業要件及び履修方法															
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：28単位(学期))															

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	手				
専門教育に関する授業科目	電子情報通信プログラム	通信方式基礎	3④	2	1										
		電子物性工学II	3④	2	1										
		光応用工学	3④	2					1						
		パワーエレクトロニクス	3④	2		1									
		発変電工学	4①	2		1									
		高電圧工学	4②	2		1									
		選択科目	ネットワーク工学	2④	2	1									1
			電波・電気通信法規	4①	2										1
			職業指導（工）	4②	2										1
			電気法規・施設管理	4③	1		1								
	創造プロジェクトI		2①~②	2	1										
	創造プロジェクトII		2③~④	2	1										
	マーケット・インターンシップ		1-2-3-4 ①~②	2		1									
	テクノロジー・インターンシップ		1-2-3-4 ③~④	2		1									
	創造プロジェクト基礎		1③~④	2	1										
	創造研究プロジェクトI		3①~②	2	1										
	創造研究プロジェクトII		3③~④	2	1										
	国際工学概論		1-2-3-4 ③④	1			5	2		3					
	国際工学事情	1-2-3-4 ③④	1										1		
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1										
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1										
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2		1										
国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3		1											
特殊選択科目	インターンシップ	1-2-3-4 ①②③④	2		7	8		1							
	施設見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1										
	特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1										
	海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1										
	国際研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4		1										
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1										
	特設講義				1										
小計（77科目）		—	26	112-115	16	11		4				6			
合計（88科目）		—	34	118-122	28	22		14				9			
卒業要件及び履修方法															
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目34単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：28単位(学期))															

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 担当教員見直しのため
 - ・「電子情報通信概論」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授3」へ「准教授8」から「准教授4」に変更
 - ・「知能情報システム概論」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授5」へ「准教授7」から「准教授2」へ「助教3」から「助教0」に変更
 - ・「コンピュータ基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ「准教授3」から「准教授4」へ「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ「准教授3」から「准教授4」へ「助教1」から「助教2」に変更
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「知能情報システム概論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「准教授5」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「准教授5」に変更
 - ・「応用数理B（常微分方程式）」の専任教員等の配置を「教授1」及び「准教授1」から「准教授1」に変更
 - ・「物理学Ⅱ（解析力学）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
 - ・「物理学Ⅲ（量子物理学）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・「電気回路演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「電気計測」の配当年次を「2④」から「2③」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授5」から「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更

【令和元年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・「電子情報通信概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」へ「准教授4」から「准教授3」に変更に変更
 - ・「知能情報システム概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授2」に変更に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅠA」の専任教員等の配置を「教授4」から「准教授6」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅡA」の専任教員等の配置を「教授4」を「准教授5」へ「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅡB」の専任教員等の配置を「教授2」を「教授4」へ「准教授4」から「准教授5」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅢA」の専任教員等の配置を「教授4」を「教授6」へ「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅢB」の専任教員等の配置を「教授2」を「教授4」へ「准教授4」から「准教授6」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅣA」の専任教員等の配置を「教授4」を「教授6」へ「准教授4」を「准教授6」へ「助教0」から「助教2」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅣB」の専任教員等の配置を「教授2」を「教授6」へ「准教授4」から「准教授6」へ「助教1」を「助教2」に変更
 - ・「プログラミングBⅠ」の専任教員等の配置を「教授0」を「教授1」へ「准教授0」に変更
 - ・「プログラミングBⅡ」の専任教員等の配置を「教授0」を「教授1」へ「准教授1」から「准教授0」に変更
 - ・「電気回路演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」を「教授1」へ「准教授1」から「准教授0」に変更
 - ・「電磁気学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授2」に変更
 - ・「電子デバイスⅡ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「画像情報工学」の専任教員等の配置を「教授0」を「教授1」へ「准教授1」から「准教授0」に変更
 - ・「電子物性工学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「電気数理Ⅰ（ベクトル解析）」の専任教員等の配置を「教授1」を「教授0」へ「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更
 - ・「電子情報通信実験ⅠB」の専任教員等の配置を「教授3」を「教授4」へ「准教授4」から「准教授6」に変更
 - ・「電子情報通信設計製図」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「論文輪読Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」を「教授6」へ「准教授8」から「准教授6」へ「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「准教授8」を「准教授7」へ「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「論文輪読Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授7」を「准教授7」へ「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授8」を「准教授7」へ「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「インターンシップ」の専任教員等の配置を「准教授8」を「准教授6」へ「助教1」から「助教2」に変更

(注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	60 科目	0 科目	82 科目	22 科目 []	66 科目 [6]	0 科目 []	88 科目 [6]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 知能情報システムプログラム>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2		10						
			1①②	2		4	3		6			
			1③④	1		1						
			1③④	1		1						
			1③④	1		1						
	分科導入 専門応用科目群	選択必修科目 電子情報通信概論 知能情報システム概論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎Ⅰ プログラミング基礎Ⅱ	1③	1	1	7	8		1			
			1③	1		8	7		3			
			1①	1		1	1		2			
			1③	2		2	3		1			
			1④	2		2	3		1			
小計(6科目)			—	8	1	0	23	16		11		
知能情報システムプログラム 専門基礎科目群	選択必修科目 応用数学E(確率・統計学) 電気数学Ⅰ(ベクトル解析) 応用数学B(常微分方程式) 電磁気学 応用数学C(複素解析) 電気数学Ⅱ(フーリエ解析) 物理工学Ⅱ(解析力学) 物理工学Ⅲ(量子物理学) 物理工学Ⅳ(熱・統計力学)	2①	2								1	
		2②	2			1						
		2②	2		1	1						
		2③	2		1							
		2③	2			1						
		2④	2		1							
		3②	2		1							
		3③	2			1						
		3④	2			1						
		小計(5科目)			—	0	7	0	16	16		4
専門応用科目群	必修科目 プログラミングAⅠ プログラミングAⅡ 情報システム基礎実習 知能情報システム実験Ⅰ 知能情報システム実験Ⅱ 知能情報システム実験Ⅲ 知能情報システム実験Ⅳ 研究室体験実習 卒業研修 卒業研究	2①	2			2						
		2②	2			2						
		2③	1		8	7		3				
		3①	1		8	7		3				
		3②	1		8	7		3				
		3③	1		8	7		3		1		
		3④	1		8	7		3		1		
		3④	1		8	7		3				
		4①~②	2		8	7		3				
		4③~④	6		8	7		3				
選択必修科目	情報数学 データ構造とアルゴリズム 電気回路 離散数学 論理回路 コンピュータネットワーク 形式言語とオートマトン オペレーティングシステム コンピュータアーキテクチャ 人工知能 信号処理 情報理論 技術英語 情報システムとセキュリティ	2①	2		1							
		2①	2			1						
		2①	2			1						
		2①	2			1						
		2②	2			1						
		2②	2		1							
		2③	2			1						
		2④	2			1						
		2④	2								1	
		3①	2		1							
3①	2		1									
3②	2		1									
3②	2		1									
3②	2								1			

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2		11	1					
			1①②	2		6	6		6			
			1②	2								
			1③	1				1				
			1③	1								5
	分科導入 専門応用科目群	選択必修科目 電子情報通信概論 知能情報システム概論 コンピュータ基礎 プログラミング基礎Ⅰ プログラミング基礎Ⅱ	1③	1	1	4	3		1			
			1③	1		6	2					
			1①	1		1			2			
			1③	2		4			2			
			1④	2		4			2			
小計(6科目)			—	8	1	0	16	12		10	6	
知能情報システムプログラム 専門基礎科目群	選択必修科目 応用数学E(確率・統計学) 電気数学Ⅰ(ベクトル解析) 応用数学B(常微分方程式) 電磁気学 応用数学C(複素解析) 電気数学Ⅱ(フーリエ解析) 物理工学Ⅱ(解析力学) 物理工学Ⅲ(量子物理学) 物理工学Ⅳ(熱・統計力学)	2①	2					1				
		2②	2			1						
		2②	2			1						
		2③	2			1						
		2③	2			1						
		2④	2		1							
		3②	2		1							
		3③	2			1				2		
		3④	2			1						
		小計(5科目)			—	0	7	0	10	8		3
専門応用科目群	必修科目 プログラミングAⅠ プログラミングAⅡ 情報システム基礎実習 知能情報システム実験Ⅰ 知能情報システム実験Ⅱ 知能情報システム実験Ⅲ 知能情報システム実験Ⅳ 研究室体験実習 卒業研修 卒業研究	2①	2		1	1						
		2②	2		1	1						
		2③	1		4			2				
		3①	1		2	1		1			1	
		3②	1		2	1		1			1	
		3③	1		2	1		1			1	
		3④	1		2	1		1			1	
		3④	1		7	6		2				
		4①~②	2		7	6		2				
		4③~④	6		7	6		2				
選択必修科目	情報数学 データ構造とアルゴリズム 電気回路 離散数学 論理回路 コンピュータネットワーク 形式言語とオートマトン オペレーティングシステム コンピュータアーキテクチャ 人工知能 信号処理 情報理論 技術英語 情報システムとセキュリティ	2①	2					1				
		2①	2			1						
		2②	2			1						
		2①	2			1						
		2③	2			1						
		2②	2		1							
		2③	2			1						
		2④	2			1						
		2④	2								1	
		3①	2		1							
3①	2		1									
3②	2		1									
3②	2		1									
3②	2								1			

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2		10					
		総合技術科学演習	1①	2		6	5		7			
		技術者の心がまえ	1④	2		1						
		知的財産概論	1③	1			1					
		情報セキュリティ概論	1③	1			1					
		特別選択科目	リメディアル演習	1①		1	6	5		6		
	小計(6科目)			—	8	1	0	18	8		11	
	分野導入 専門応用科目群	選択必修科目	電子情報通信概論	1③		1	3	4		1		
		知能情報システム概論	1③		1	5	2					
		コンピュータ基礎	1①		1	1				2		
プログラミング基礎Ⅰ		1③		2		4		2				
プログラミング基礎Ⅱ		1④		2		4		2				
小計(5科目)			—	0	7	0	11	12		3		
知能情報システムプログラム 専門基礎科目群	選択必修科目	応用数理解E(確率・統計学)	2①		2						1	
	電気数理解Ⅰ(ベクトル解析)	2②		2		1						
	応用数理解B(常微分方程式)	2②		2	1	1						
	電磁気学	2③		2	1							
	応用数理解C(複素解析)	2③		2		1						
	電気数理解Ⅱ(フーリエ解析)	2④		2	1							
	物理工学Ⅱ(解析力学)	3②		2	1							
	物理工学Ⅲ(量子物理学)	3③		2		1						
	物理工学Ⅳ(熱・統計力学)	3④		2	1							
	専門応用科目群	必修科目	プログラミングAⅠ	2①	2			2				
プログラミングAⅡ		2②	2			2						
情報システム基礎実習		2③	1		8	7		3				
知能情報システム実験Ⅰ		3①	1		8	7		3				
知能情報システム実験Ⅱ		3②	1		8	7		3				
知能情報システム実験Ⅲ		3③	1		8	7		3		1		
知能情報システム実験Ⅳ		3④	1		8	7		3		1		
研究室体験実習		3④	1		8	7		3				
卒業研修		4①~②	2		8	7		3				
卒業研究		4③~④	6		8	7		3				
選択必修科目	情報数学	2①		2		1						
	データ構造とアルゴリズム	2①		2		1						
	電気回路	2①		2		1						
	離散数学	2①		2		1						
	論理回路	2②		2		1						
	コンピュータネットワーク	2②		2		1						
	形式言語とオートマトン	2③		2		1						
	オペレーティングシステム	2④		2		1						
	コンピュータアーキテクチャ	2④		2						1		
	人工知能	3①		2		1						
信号処理	3①		2		1							
情報理論	3②		2		1							
技術英語	3②		2		1							
情報システムとセキュリティ	3②		2							1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2		11	1				
		総合技術科学演習	1①	2		5	2		6			
		技術者の心がまえ	1④	2								
		知的財産概論	1③	1							1	
		情報セキュリティ概論	1③	1				1				
		特別選択科目	リメディアル演習	1①		1	4	6		6		1
	小計(6科目)			—	8	1	0	15	8		9	3
	分野導入 専門応用科目群	選択必修科目	電子情報通信概論	1③		1	3	4		1		
		知能情報システム概論	1③		1	5	3					
		コンピュータ基礎	1①		1	1				2		
プログラミング基礎Ⅰ		1③		2		5		2				
プログラミング基礎Ⅱ		1④		2		5		2				
小計(5科目)			—	0	7	0	11	14		3		
知能情報システムプログラム 専門基礎科目群	選択必修科目	応用数理解E(確率・統計学)	2①		2				1			
	電気数理解Ⅰ(ベクトル解析)	2②		2			1					
	応用数理解B(常微分方程式)	2②		2		1						
	電磁気学	2③		2		1						
	応用数理解C(複素解析)	2③		2			1					
	電気数理解Ⅱ(フーリエ解析)	2④		2		1						
	物理工学Ⅱ(解析力学)	3②		2		1						
	物理工学Ⅲ(量子物理学)	3③		2			1					
	物理工学Ⅳ(熱・統計力学)	3④		2		1						
	専門応用科目群	必修科目	プログラミングAⅠ	2①	2			1	1			
プログラミングAⅡ		2②	2			1	1					
情報システム基礎実習		2③	1		8	6		2				
知能情報システム実験Ⅰ		3①	1		8	6		2				
知能情報システム実験Ⅱ		3②	1		8	6		2				
知能情報システム実験Ⅲ		3③	1		8	6		2		1		
知能情報システム実験Ⅳ		3④	1		8	6		2		1		
研究室体験実習		3④	1		8	6		2				
卒業研修		4①~②	2		8	6		2				
卒業研究		4③~④	6		8	6		2				
選択必修科目	情報数学	2①		2		1						
	データ構造とアルゴリズム	2①		2			1					
	電気回路	2①		2		1						
	離散数学	2①		2		1						
	論理回路	2②		2		1						
	コンピュータネットワーク	2②		2		1						
	形式言語とオートマトン	2③		2		1						
	オペレーティングシステム	2④		2			1					
	コンピュータアーキテクチャ	2④		2						1		
	人工知能	3①		2		1						
信号処理	3①		2		1							
情報理論	3②		2		1							
技術英語	3②		2		1							
情報システムとセキュリティ	3②		2							1		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	データ工学	3③	2			1						
	福祉情報工学	2①	2			2	1					4
	機能生理学	2③	2				1					
	数理論理学	2④	2			1						
	ネットワーク工学	2④	2			1						
	基礎電子回路	2④	2			1						
	データベース	3①	2									2
	数値計算プログラミング	3①	2				1					
	人間工学	3①	2			1						
	ロボティクス・メカトロニクス	3①	2			1						
	コンパイラ	3②	2					1				
	制御工学	3②	2			1						
	マルチメディアコンピュータ	3②	2				1					
	生体計測	3③	2			1						
	アシスティブ・テクノロジー	3③	2				1					
	電子デバイス	3④	2			1						
	プログラミングAⅢ	3④	2			1			1			
	バイオメディカル・エンジニアリング	3④	2				1					
	電波・電気通信法規	4①	2									1
	職業指導(工)	4②	2									1
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1						
	創造プロジェクトI	2①~②	2			1						
	創造プロジェクトII	2③~④	2			1						
	創造研究プロジェクトI	3①~②	2			1						
	創造研究プロジェクトII	3③~④	2			1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2			1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2			1						
	国際工学概論	1-2-3-4⑤⑥	1			1						1
	国際工学事情	1-2-3-4⑤⑥	1									1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1						
	特殊選択科目	インターンシップ	1-2-3-4①②③④	2			1					
	施設見学	1-2-3-4①②③④	1			1						
	特別講義	1-2-3-4①②③④	1			1						
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4			1						
	国際研修	1-2-3-4①②③④	1~4			1						
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1						
	特設講義					1						
小計 (73科目)		—	18	121-124		15	11		3			11
合計 (84科目)		—	26	125-132		31	19		12			11
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目26単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育に関する授業科目	データ工学	3③	2			1							
	福祉情報工学	2①	2			2	1					5	
	機能生理学	2④	2				1						
	数理論理学	2④	2			1							
	ネットワーク工学	2④	2			1							
	基礎電子回路	2④	2			1							
	データベース	3①	2									2	
	数値計算プログラミング	3①	2				1						
	人間工学	3①	2			1							
	ロボティクス・メカトロニクス	3①	2			1							
	コンパイラ	3②	2					1					
	制御工学	3②	2			1							
	マルチメディアコンピュータ	3②	2				1						
	生体計測	3③	2			1							
	アシスティブ・テクノロジー	3③	2				1						
	電子デバイス	3④	2			1							
	プログラミングAⅢ	3④	2			1			1				
	バイオメディカル・エンジニアリング	3④	2				1						
	電波・電気通信法規	4①	2									1	
	職業指導(工)	4②	2									1	
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1							
	創造プロジェクトI	2①~②	2			1							
	創造プロジェクトII	2③~④	2			1							
	創造研究プロジェクトI	3①~②	2			1							
	創造研究プロジェクトII	3③~④	2			1							
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2			1							
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2			1							
	国際工学概論	1-2-3-4⑤⑥	1			1			5	2		3	
	国際工学事情	1-2-3-4⑤⑥	1										1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1							
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1							
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1							
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1							
	特殊選択科目	インターンシップ	1-2-3-4①②③④	2			1						
	施設見学	1-2-3-4①②③④	1			1							
	特別講義	1-2-3-4①②③④	1			1							
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4			1							
	国際研修	1-2-3-4①②③④	1~4			1							
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1							
	特設講義					1							
小計 (73科目)		—	18	121-124		18	12		5			12	
合計 (84科目)		—	26	125-132		30	18		12			15	
卒業要件及び履修方法													
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目26単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 担当教員変更のため
 - ・「電子情報通信概論」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授3」へ「准教授8」から「准教授4」に変更
 - ・「知能情報システム概論」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授5」へ「准教授7」から「准教授2」へ「助教3」から「助教0」に変更
 - ・「コンピュータ基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ「准教授3」から「准教授4」へ「助教1」から「助教2」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ「准教授3」から「准教授4」へ「助教1」から「助教2」に変更
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼担1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼担1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「知能情報システム概論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に変更
 - ・「応用数理E（確率・統計学）」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更
 - ・「応用数理B（常微分方程式）」の専任教員等の配置において「教授1」及び「准教授1」から「准教授1」に変更
 - ・「応用数理C（複素解析）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 時間割見直し及び所属変更のため
 - ・「機能生理学」の配当年次を「2③」から「2④」及び専任教員等の配置を「准教授1」及び「兼4」から「准教授0」及び「兼5」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授5」から「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更
 - ・「プログラミングAⅠ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」及び「准教授1」に変更
 - ・「プログラミングAⅡ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」及び「准教授1」に変更
 - ・「情報システム基礎実習」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「知能情報システム実験Ⅰ」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「知能情報システム実験Ⅱ」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「知能情報システム実験Ⅲ」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「知能情報システム実験Ⅳ」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「研究室体験実習」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「マルチメディアコンピューティング」の専任教員等の配置において「准教授1」から「教授1」に変更

【令和元年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担5」に変更
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更
 - ・「電子情報通信概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」へ「准教授4」から「准教授3」に変更
 - ・「知能情報システム概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授2」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更
 - ・「物理学Ⅲ（量子物理学）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・「福祉情報工学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」へ「准教授1」を「准教授2」に変更
 - ・「機能生理学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担6」に変更
 - ・「プログラミングAⅢ」の専任教員等の配置を「助教1」を「助教0」に変更
 - ・「バイオメディカル・エンジニアリング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」へ「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更
 - ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更
 - ・「電気回路」の配当年次を「2①」から「2②」に変更
 - ・「論理回路」の配当年次を「2②」から「2③」に変更
 - ・「データ工学」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
 - ・「アシティブ・テクノロジー」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
 - ・「プログラミングAⅢ」の配当年次を「3④」から「3②」に変更
 - ・「バイオメディカル・エンジニアリング」の配当年次を「3④」から「3①」に変更

○担当教員退職のため

- ・「電磁気学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・「情報システム基礎実習」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」へ「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・「知能情報システム実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授2」へ「准教授6」から「准教授1」へ「助教2」を「助教1」へ「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更
- ・「知能情報システム実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授2」へ「准教授6」から「准教授1」へ「助教2」を「助教1」へ「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更
- ・「知能情報システム実験Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授2」へ「准教授6」から「准教授1」へ「助教2」を「助教1」に変更
- ・「知能情報システム実験Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授2」へ「准教授6」から「准教授1」へ「助教2」を「助教1」に変更
- ・「研究室体験実習」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更
- ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更
- ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更
- ・「情報数学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「兼任・兼担0」を「兼任・兼担1」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	63 科目	0 科目	78 科目	15 科目 []	69 科目 [6]	0 科目 []	84 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

＜工学部 工学科 化学システム工学プログラム＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学科導入	総合工学概論	1①	2		10							
	専門応用科目群	総合技術科学演習	1①②	2		4	3		6				
		技術者の心がまえ	1③④	2		1					5		
		知的財産概論	1③④	1		1					1		
		情報セキュリティ概論	1③④	1		1							
	特選科目	リメディアル演習	1①②		1	16	13		5				
	小計(6科目)			8	1	0	23	16		11			
	分野選	基礎無機化学	1④		2	1	1						
		基礎有機化学	1③		2	2							
		化学工学基礎	1③		2	2							
	小計(3科目)			0	6	0	4	1					
	化学システム工学プログラム	専門基礎科目群	化学プロセス概論	2①		2	1						
高分子化学概論			2①		2	1							
基礎物理化学			2②		2	1							
化学システム応用数理			2②		2	1							
応用数理B(常微分方程式)			2③		2	1							
基礎物理工学		3①		2						1			
専門応用科目群		技術文献リサーチA	4①	1		9	5		5				
		技術文献リサーチB	4②	1		9	5		5				
		技術文献リサーチC	4③	1		9	5		5				
		技術文献リサーチD	4④	1		9	5		5				
		卒業研修	4①~②	2		9	5		5				
		卒業研究	4③~④	6		9	5		5				
		選択科目	有機化学(工)	2①		2					1		
			反応工学I	2①		2		1					
			拡散操作I	2①		2		1					
分析化学(工)			2②		2		1						
無機化学			2②		2		1					1	
無機化学実験(工)			2③		2		1		1				
分析化学実験(工)			2③		2		1						
拡散操作II			2③		2		1						
化学工学計算演習			2③		1		1		1				
反応工学演習			2③		1		1						
物理化学I	2③			2		1							
移動論基礎	2③			2		1							
物理化学実験(工)	2④			2		1							
有機化学実験(工)	2④		2		1		1						
プロセス伝熱工学	2④		2		1								
移動現象演習	2④		1				1						
化学実験1	2④		1		1		2						
計測化学I	2④		2		1								
高分子化学I	2④		2		1								
反応速度論	3①		2		1			1					
高分子化学実験	3①		2		2		1		1				
化学技術英語	3①		2		1	2		2					
反応工学II	3①		2		1								
粉体工学	3①		2		1								
化学実験2	3①		1		1		2						
設計製図	3①		1		2								
計測化学II	3①		2		1								
有機反応化学	3②		2		1								
化学工学実験	3②~③	4	4	3			2						
物理化学II	3②		2		1			1					
高分子化学III	3②		2		1								
無機工業化学	3②		2		1			1					
固体化学	3③		2		1					1			
応用化学演習I	3③		1		1			1					
応用化学演習II	3③		1		1			1					
応用化学演習III	3③		1		1			1					
分離工学演習	3③		1		1								
プロセス制御	3③		2		1			1					
移動現象論	3③		2		1			1					
有機合成化学	3④		2		1			1					
応用化学演習IV	3④		1						1				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学科導入	総合工学概論	1①	2				11	1				
		総合技術科学演習	1①②	2				6	6		6		
		技術者の心がまえ	1②	2								5	
		知的財産概論	1③	1					1			1	
		情報セキュリティ概論	1④	1					1				
	特選科目	リメディアル演習	1①		1			4	6		7		
	小計(6科目)			8	1	0	16	12		10		6	
	分野選	基礎無機化学	1④		2		1	1					
		基礎有機化学	1③		2		2						
		化学工学基礎	1③		2		2	1					
	小計(3科目)			0	6	0	4	1					
	化学システム工学プログラム	専門基礎科目群	化学プロセス概論	2①		2	1						
高分子化学概論			2①		2	1							
基礎物理化学			2②		2	1							
化学システム応用数理			2②		2	1							
応用数理B(常微分方程式)			2③		2	1			1				
基礎物理工学		3①		2							1		
専門応用科目群		技術文献リサーチA	4①	1		9	5		8	6		4	
		技術文献リサーチB	4②	1		9	5		8	6		4	
		技術文献リサーチC	4③	1		9	5		8	6		4	
		技術文献リサーチD	4④	1		9	5		8	6		4	
		卒業研修	4①~②	2		9	5		8	6		4	
		卒業研究	4③~④	6		9	5		8	6		4	
		選択科目	有機化学(工)	2①		2							1
			反応工学I	2①		2		1					
			拡散操作I	2②		2		1					
分析化学(工)			2②		2		1						
無機化学			2②		2		1					1	
無機化学実験(工)			2③		2		1		1				
分析化学実験(工)			2③		2		1						
拡散操作II			2③		2		1						
化学工学計算演習			2③		1		1		1		1		
反応工学演習			2③		1		1			1			
物理化学I	2③			2		1							
移動論基礎	2③			2		1							
物理化学実験(工)	3②			2		1		1					
有機化学実験(工)	3②		2		1		1			1			
プロセス伝熱工学	2④		2		1								
移動現象演習	2④		1						1				
化学実験1	2④		1		1		1			2			
計測化学I	2④		2		1								
高分子化学I	2④		2		1								
反応速度論	3①		2		1			1					
高分子化学実験	3①		2		2		2			1			
化学技術英語	2④		2		1	2	4	3		2			
反応工学II	3①		2		1								
粉体工学	3①		2		1								
化学実験2	3①		1		1			1		2			
設計製図	3①		1		2								
計測化学II	3①		2		1								
有機反応化学	3①		2		1								
化学工学実験	3②~③	4	4	3			4	3		2			
物理化学II	2④		2		1			1					
高分子化学III	3②		2		1								
無機工業化学	3①		2		1								
固体化学	3③		2		1					1			
応用化学演習I	3③		1		1			1					
応用化学演習II	3③		1		1			1					
応用化学演習III	3③		1		1			1					
分離工学演習	3③		1		1								
プロセス制御	3③		2		1			1					
移動現象論	3③		2		1			1					
有機合成化学	3④		2		1			1					
応用化学演習IV	3④		1						1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	選択科目	応用化学演習Ⅴ	3④	1		1				1		
	機械的分離工学	3④	2			1						
	化学工学英語	3④	1			1						
	安全工学	3④	2			1						
	無機合成化学	2③	2				1					
	分子設計化学	2③	2						1			
	品質管理	2③	2			1						
	反応工学Ⅲ	3②	2				1					
	拡散操作Ⅲ	3②	2			1						
	放射化学(工)	3③	2				1					
	高分子化学Ⅱ	3③	2			1						
	物理化学Ⅲ	3③	2			1						
	職業指導(工)	4集中	2									1
	物理化学Ⅳ	3④	2			1						
	反応装置工学	3④	2				1					
	プロセス設計	4①	2			1						
	環境化学工学	4①	2			1						
	工程解析	3集中	2									1
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1						
	創造プロジェクトⅠ	2①~②	2			1						
	創造プロジェクトⅡ	2③~④	2			1						
	創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2			1						
	創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2			1						
	マーケット・インターンシップ	2②	2			1						
	テクノロジー・インターンシップ	3④	2			1						
	特殊選択科目	工場見学	1・2・3・4 ①②③④	1		1						
	工場実習	1・2・3・4 ①②③④	2			1						
特別講義	1・2・3・4 ①②③④	1			1							
海外英語研修	1・2・3・4 ①②③④	4			1							
海外研修	1・2・3・4 ①②③④	1~4			1							
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大開設科目					1						
特設講義						1						
小計(85科目)			—	12	142-145	11	5		5		3	
合計(94科目)			—	20	143-152	31	21		15		3	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目20単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	選択科目	応用化学演習Ⅴ	3④	1		2				1		
	機械的分離工学	3④	2			1						
	化学工学英語	3④	1			1						
	安全工学	3④	2			1						
	無機合成化学	2③	2				1					
	分子設計化学	2③	2						1			
	品質管理	2③	2			1						
	反応工学Ⅲ	3②	2				1					
	拡散操作Ⅲ	3②	2			1						
	放射化学(工)	3③	2				1					1
	高分子化学Ⅱ	3③	2			1						
	物理化学Ⅲ	3③	2			1						
	職業指導(工)	4集中	2									1
	物理化学Ⅳ	3④	2			1						
	反応装置工学	3④	2				1					
	プロセス設計	4①	2			1						
	環境化学工学	4①	2			1						
	工程解析	3集中	2						1			1
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1						
	創造プロジェクトⅠ	2①~②	2			1						
	創造プロジェクトⅡ	2③~④	2			1						
	創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2			1						
	創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2			1						
	マーケット・インターンシップ	1・2・3・4 ①~②	2			1						
	テクノロジー・インターンシップ	1・2・3・4 ③~④	2			1						
	国際工学概論	1・2・3・4 ③④	1			1						
	国際工学事情	1・2・3・4 ③④	1			1						1
国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1・2・3・4 ①②③④	2			1							
国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1・2・3・4 ①②③④	3			1							
国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1・2・3・4 ①②③④	2			1							
国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1・2・3・4 ①②③④	3			1							
特殊選択科目	工場見学	1・2・3・4 ①②③④	1		1							
工場実習	1・2・3・4 ①②③④	2			1							
特別講義	1・2・3・4 ①②③④	1			1							
海外英語研修	1・2・3・4 ①②③④	4			1							
国際研修	1・2・3・4 ①②③④	1~4			1							
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大開設科目					1						
特設講義						1						
小計(91科目)			—	12	144-147	9	7		4		5	
合計(100科目)			—	20	145-154	22	18		12		11	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目20単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	化学システム工学プログラム	専攻科目	1									
	選択科目	2										
	自由科目	1										
	応用化学演習Ⅴ	3④	1						1			
	機械的分離工学	3④	2			1						
	化学工学英語	3④	1			1						
	安全工学	3④	2			1						
	無機合成化学	2③	2			1						
	分子設計化学	2③	2						1			
	品質管理	2④	2			1						
	反応工学Ⅲ	3②	2			1						
	拡散操作Ⅲ	3②	2			1						
	放射化学(工)	3③	2			1						
	高分子化学Ⅱ	3③	2			1						
	物理化学Ⅲ	3③	2			1						
	職業指導(工)	4集中	2								1	
	物理化学Ⅳ	3④	2			1						
	反応装置工学	3④	2			1						
	プロセス設計	4①	2			1						
	環境化学工学	4①	2			1						
	工程解析	3集中	2								1	
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1						
	創造プロジェクトⅠ	2①~②	2			1						
	創造プロジェクトⅡ	2③~④	2			1						
	創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2			1						
	創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2			1						
	マーケット・インターンシップ	2②	2			1						
	テクノロジー・インターンシップ	3④	2			1						
	国際工学概論	1-2-3-4 ③④	1			1					1	
	国際工学事情	1-2-3-4 ③④	1								1	
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2			1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3			1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2			1						
国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3			1							
工場見学	1-2-3-4 ①②③④	1			1							
工場実習	1-2-3-4 ①②③④	2			1							
特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1			1							
海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4			1							
国際研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4			1							
単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1							
特設講義					1							
小計(91科目)			12	104-107	12	5	4	4				
合計(100科目)			20	101-104	26	14	14	4				

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目20単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	化学システム工学プログラム	専攻科目	1									
	選択科目	2										
	自由科目	1										
	応用化学演習Ⅴ	3④	1									
	機械的分離工学	3④	2			1						
	化学工学英語	3④	1			1						
	安全工学	3④	2			1						
	無機合成化学	2③	2			1						
	分子設計化学	2③	2						1			
	品質管理	2③	2			1						
	反応工学Ⅲ	3②	2			1						
	拡散操作Ⅲ	3②	2			1						
	放射化学(工)	3③	2			1						
	高分子化学Ⅱ	3③	2			1						
	物理化学Ⅲ	3③	2			1						
	職業指導(工)	4集中	2								1	
	物理化学Ⅳ	3④	2			1						
	反応装置工学	3④	2			1						
	プロセス設計	4①	2			1						
	環境化学工学	4①	2			1						
	工程解析	3集中	2								1	
	創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1						
	創造プロジェクトⅠ	2①~②	2			1						
	創造プロジェクトⅡ	2③~④	2			1						
	創造研究プロジェクトⅠ	3①~②	2			1						
	創造研究プロジェクトⅡ	3③~④	2			1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4 ①~②	2			1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4 ③~④	2			1						
	国際工学概論	1-2-3-4 ③④	1						5	2	3	
	国際工学事情	1-2-3-4 ③④	1									1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2			1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3			1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4 ①②③④	2			1						
国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 ①②③④	3			1							
工場見学	1-2-3-4 ①②③④	1			1							
工場実習	1-2-3-4 ①②③④	2			1							
特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1			1							
海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4			1							
国際研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4			1							
単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1							
特設講義					1							
小計(91科目)			12	104-107	15	7	7	7				
合計(100科目)			20	101-104	22	14	14	7				

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目20単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1②」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「学術文献リサーチA」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教4」に変更。
 - ・「学術文献リサーチB」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教4」に変更。
 - ・「学術文献リサーチC」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教4」に変更。
 - ・「学術文献リサーチD」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教4」に変更。
 - ・「無機化学実験(工)」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」に「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「応用数理B(常微分方程式)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
 - ・「無機化学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「無機化学実験(工)」の配当年次を「2③」から「2④」に変更
 - ・「物理化学実験(工)」の配当年次を「2④」から「3②」に変更
 - ・「有機化学実験(工)」の配当年次を「2④」から「3②」に変更
 - ・「化学技術英語」の配当年次を「3①」から「2④」に変更
 - ・「有機反応化学」の配当年次を「3②」から「3①」に変更
 - ・「物理化学Ⅱ」の配当年次を「3②」から「2④」に変更
 - ・「無機工業化学」の配当年次を「3②」から「3①」に変更
 - ・「品質管理」の配当年次を「2④」から「2③」に変更
 - ・「物理化学Ⅲ」の配当年次を「3③」から「3①」に変更
 - ・「マーケット・インターンシップ」の配当年次を「2②」から「1・2・3・4①～②」に変更
 - ・「テクノロジー・インターンシップ」の配当年次を「3④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授5」へ「准教授5」から「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更
 - ・「学術文献リサーチA」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更
 - ・「学術文献リサーチB」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更
 - ・「学術文献リサーチC」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更
 - ・「学術文献リサーチD」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更

【令和元年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・「学術文献リサーチA」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更。
 - ・「学術文献リサーチB」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更。
 - ・「学術文献リサーチC」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更。
 - ・「学術文献リサーチD」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更。
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更。
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更。
 - ・「物理化学実験(工)」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 - ・「反応速度論」の専任教員等の配置を「教授1」を「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「化学技術英語」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授4」へ「准教授2」から「准教授3」に変更
 - ・「物理化学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」を「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「固体化学」の専任教員等の配置を「准教授1」を「准教授0」へ「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更
 - ・「応用化学演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」を「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「応用化学演習Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授1」を「教授2」に変更
 - ・「放射化学(工)」の専任教員等の配置を「准教授1」を「准教授0」へ「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更
 - ・「工程解析」の専任教員等の配置を「教授0」を「教授1」に変更
 - ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更
 - ・「拡散操作Ⅰ」の配当年次を「2①」から「2②」に変更

(注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11	83	0	94	11	89	0	100	
科目	科目	科目	科目	[]	[6]	[]	[6]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{94} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 材料科学プログラム>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

Table for '認可時又は届出時' showing course details for Engineering and Materials Science programs, including course names, credits, and faculty assignments.

【令和元年度】

Table for '令和元年度' showing course details for the 2019 fiscal year, including course names, credits, and faculty assignments.

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	工場見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1							
	特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1							
	海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1							
	海外研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4		1							
	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1						
	特設講義					1						
小計 (51科目)			—	14	87~90	9	5		3		1	
合計 (60科目)			—	22	94~97	29	22		12		1	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目22単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	工場見学	1-2-3-4 ①②③④	1		1							
	特別講義	1-2-3-4 ①②③④	1		1							
	海外英語研修	1-2-3-4 ①②③④	4		1							
	海外研修	1-2-3-4 ①②③④	1~4		1							
	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1						
	特設講義					1						
小計 (57科目)			—	14	88~102	10	6		2		2	
合計 (66科目)			—	22	100~108	22	18		10		8	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目22単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入	必修科目	総合工学概論	1①	2		10					
			総合技術科学演習	1②	2		6	5	7			
			技術者の心がまえ	1④	2		1					
			知的財産概論	1③	1		1					
			情報セキュリティ概論	1⑤	1		1					
	選択科目	リメディアル演習	1①		1	6	5	6				
		小計(6科目)	—	8	1	0	18	8	11			
	分野導入	専門基礎	選択必修	基礎無機化学	1④	2		1	1			
				基礎有機化学	1③	2		2				
				化学工学基礎	1③	2		1				
小計(3科目)	—	0	6	0	4	1						
材料科学プログラム	専門基礎科目群	選択必修	応用数理E(確率・統計)	2②	2		1					
			物理数学	2③	2		1					
			基礎電磁気学	2①	2		1	1				
			基礎解析力学	2①	2		1					
			基礎量子力学(工)	2③	2		1					
			基礎統計物理	2④	2		1					
			基礎材料物理化学	2①	2		1					
	基礎材料組織学	2①	2		2							
	専門応用科目群	必修	材料科学実験 I	3①②	2		2	2	2	2		
			材料科学実験 II	3①②	2		3	2	1			
材料科学PBL			3③	2		2	2					
卒業研修	4①~②	2		6	5	3						
卒業研究	4③~④	6		6	5	3						
選択必修	受動電気回路素子論	2④	2		1							
	応用電磁気学	3①	2		1							
	応用量子力学	3②	2		1							
	応用統計物理	3③	2		1							
	物質構造論	3④	2		1							
	磁性・超伝導	3③	2		1							
	半導体物性・デバイス	3④	2		1							
	量子物性論	3③	2		1							
	材料分析化学	2③	2		1							
	電気化学	3②	2		1							
	光化学	3④	2		1							
	高分子科学	2③	2		1							
	高分子材料化学	3①	2		1							
	機能性高分子材料	3③	2		1							
	工業生化学	2④	2		1			1				
	生体分子工学	3①	2		1			1				
	生物材料工学	3②	2		1							
	材料評価学	3①	2		1							
	計測工学	3②	2		1	1						
	技術英語 I	4①	2		6	5	3		3			
技術英語 II	4②	2		6	5	3		3				
論文輪講 I	4③	2		6	5	3		3				
論文輪講 II	4④	2		6	5	3		3				
職業指導(工)	4②	2						1				
インターンシップ	2②	2		1								
創造プロジェクト基礎	1③~④	2		1								
創造プロジェクト I	2①~②	2		1								
創造プロジェクト II	2③~④	2		1								
創造研究プロジェクト I	3①~②	2		1								
創造研究プロジェクト II	3③~④	2		1								
マーケット・インターンシップ	2②	2		1								
テクノロジー・インターンシップ	3④	2		1								
国際工学概論	1-2-3-4 ②④	1		1				1				
国際工学事情	1-2-3-4 ②④	1		1				1				
国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップ A	1-2-3-4 ②③④	2		1								
国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップ B	1-2-3-4 ②③④	3		1								
国際マーケット・グループワーク・インターンシップ A	1-2-3-4 ②③④	2		1								
国際マーケット・グループワーク・インターンシップ B	1-2-3-4 ②③④	3		1								

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目											
別紙のとおり											
専門教育に関する授業科目	工学科導入	必修科目	総合工学概論	1①	2		11	1			
			総合技術科学演習	1②	2		5	2	6		
			技術者の心がまえ	1④	2		1			1	
			知的財産概論	1③	1		1				
			情報セキュリティ概論	1⑤	1		1				
	選択科目	リメディアル演習	1①		1	4	6	6	1		
		小計(6科目)	—	8	1	0	15	8	9	3	
	分野導入	専門基礎	選択必修	基礎無機化学	1④	2		1	1		
				基礎有機化学	1③	2		2			
				化学工学基礎	1③	2		1			
小計(3科目)	—	0	6	0	4	1					
材料科学プログラム	専門基礎科目群	選択必修	応用数理E(確率・統計)	2②	2		1				
			物理数学	2③	2		1				
			基礎電磁気学	2①	2		1	1			
			基礎解析力学	2①	2		1				
			基礎量子力学(工)	2③	2		1				
			基礎統計物理	2④	2		1				
			基礎材料物理化学	2②	2		1				
	基礎材料組織学	2②	2		2						
	専門応用科目群	必修	材料科学実験 I	3①②	2		2	2	2	2	
			材料科学実験 II	3①②	2		3	3	1		
材料科学PBL			3③	2		2	2				
卒業研修	4①~②	2		6	6	3					
卒業研究	4③~④	6		6	6	3					
選択必修	受動電気回路素子論	2④	2		1						
	応用電磁気学	3①	2		1						
	応用量子力学	3②	2		1						
	応用統計物理	3③	2		1						
	物質構造論	3④	2		1						
	磁性・超伝導	3③	2		1						
	半導体物性・デバイス	3④	2		1						
	量子物性論	3③	2		1						
	材料分析化学	2③	2		1						
	電気化学	3②	2		1	1					
	光化学	3④	2		1						
	高分子科学	2③	2		1						
	高分子材料化学	3①	2		1						
	機能性高分子材料	3③	2		1						
	工業生化学	2④	2		1			1			
	生体分子工学	3①	2		1			1			
	生物材料工学	3②	2		1						
	材料評価学	3①	2		1						
	計測工学	3②	2		1	1					
	技術英語 I	4①	2		6	6	3		3		
技術英語 II	4②	2		6	6	3		3			
論文輪講 I	4③	2		6	6	3		3			
論文輪講 II	4④	2		6	6	3		3			
職業指導(工)	4②	2						1			
インターンシップ	2②	2		1							
創造プロジェクト基礎	1③~④	2		1							
創造プロジェクト I	2①~②	2		1							
創造プロジェクト II	2③~④	2		1							
創造研究プロジェクト I	3①~②	2		1							
創造研究プロジェクト II	3③~④	2		1							
マーケット・インターンシップ	1-2-3-4 ②-④	2		1							
テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4 ②-④	2		1							
国際工学概論	1-2-3-4 ②④	1		5	2	3					
国際工学事情	1-2-3-4 ②④	1		1				1			
国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップ A	1-2-3-4 ②③④	2		1							
国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップ B	1-2-3-4 ②③④	3		1							
国際マーケット・グループワーク・インターンシップ A	1-2-3-4 ②③④	2		1							
国際マーケット・グループワーク・インターンシップ B	1-2-3-4 ②③④	3		1							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	工場見学	1・2・3・4 ①②③④	1		1							
	特別講義	1・2・3・4 ①②③④	1		1							
	海外英語研修	1・2・3・4 ①②③④	4		1							
	国際研修	1・2・3・4 ①②③④	1~4		1							
	自由科目 単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1						
	特設講義					1						
	小計 (57科目)	—	14	99-102	10	5		3			2	
	合計 (66科目)	—	22	99-100	25	17		12			2	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目22単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	工場見学	1・2・3・4 ①②③④	1		1							
	特別講義	1・2・3・4 ①②③④	1		1							
	海外英語研修	1・2・3・4 ①②③④	4		1							
	国際研修	1・2・3・4 ①②③④	1~4		1							
	自由科目 単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目					1						
	特設講義					1						
	小計 (57科目)	—	14	99-102	13	8		6			2	
	合計 (66科目)	—	22	99-100	21	20		13			5	
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目22単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1②」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「材料科学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更
 - ・「電気化学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「技術英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更
 - ・「技術英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更
 - ・「論文購読Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更
 - ・「論文購読Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「基礎材料物理化学」の配当年次を「2①」から「2②」に変更
 - ・「基礎材料組織学」の配当年次を「2①」から「2②」に変更
 - ・「高分子科学」の配当年次を「2③」から「2④」に変更
 - ・「マーケット・インターンシップ」の配当年次を「2②」から「1・2・3・4①～②」に変更
 - ・「テクノロジー・インターンシップ」の配当年次を「3④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授9」から「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更

【令和元年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「材料科学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更
 - ・「卒業研修」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「卒業研究」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「技術英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「技術英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「論文購読Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「論文購読Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	50 科目	0 科目	60 科目	10 科目	56 科目	0 科目	66 科目	
				[]	[6]	[]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{60} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 建築学プログラム>

(1) ①-① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
教養教育に関する授業科目												
	別紙のとおり											
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2			10				
		総合技術科学演習	1①②	2		4	3		6			
		技術者の心がまえ	1③④	2		1						
		知的財産概論	1③④	1		1						
		情報セキュリティ概論	1③④	1		1						
		択特科目	リメディアル演習	1①②	1		16	13		5		
	小計(6科目)		—	8	1	0	23	16		11		
	分野導入 専門応用科目群	科目選択	建築学概論	1③		2		5	4		2	1
		建築図学 I	1③		1		1			1		
		建築図学 II	1④		1		1			1		
目選択		建築材料・構造概論	1④		2		1					
小計(4科目)		—	0	6	0	5	4		2	1		
建築学プログラム	必修科目	卒業研修又は基礎設計	4①~②	2			5	4		2	1	
		卒業研究又は設計	4③~④	6			5	4		2	1	
	選択必修科目	建築製図基礎 I	2①		1		1			1		
		建築製図基礎 II	2②		1		1			1		
		建築設計製図 I	2③		2		5	4		2	1	
		建築設計製図 II	2④		2		5	4		2	1	
		建築設計製図 III	3①		2		5	4		2	1	
		建築設計製図 IV	3②		2		5	4		2	1	
		建築設計製図 V	3③		2		5	4		2	1	
		建築計画学 I	2③		2		1					
		建築計画演習 I	3①		1		1			1		
		建築計画演習 II	3②		1		1			1		
		設計方法論	3③		2		1			1		
		建築構造解析学・演習 I	2①		2		1					
		建築構造解析学・演習 II	2②		2		1					
		建築構造解析学・演習 III	2③		2		1					
		建築構造設計 I	3①		2		1					
		建築構造設計 II	3②		2		1					
		建築構造設計演習 I	3③		1		1					
		建築構造設計演習 II	3④		1		1					
		建築材料・構造実験 I	3③		2		2	1				
		建築材料・構造実験 II	3④		2		2	1				
		建築材料	2②		2		1	1				
		建築環境工学 I	2③		2		1					
		建築環境工学 II	3①		2		1					
		建築環境工学演習 I	3①		1		1	1			1	
	建築環境工学演習 II	3②		1		1	1			1		
	建築環境制御学演習 I	3③		1		1	1			1		
	建築環境制御学演習 II	3④		1		1	1			1		
	都市計画学 I	2②		2		1						
	都市計画学 II	2④		2		1						
	都市デザイン論	3①		2		1						
	都市計画・デザイン演習	3③		2					1			
	都市環境法	3②		2			1					
選択科目	建築設計製図 VI	3④		2		5	4		2	1		
	建築設計製図 VII	4①		2		5	4		2	1		
	建築計画学 II	3①		2		1			1			
	日本建築史	2①		2		1						
	西洋建築史	3②		2		1			1			
	建築構造解析学・演習 IV	2④		2		1						
	建築構造設計演習 III	3③		1		1						
	建築構造設計演習 IV	3④		1		1						
	建築施工	4①		2						1		
	建築法規	2③		2			1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
教養教育に関する授業科目											
	別紙のとおり										
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2			11	1		
		総合技術科学演習	1①②	2			6	6		6	
		技術者の心がまえ	1②	2							5
		知的財産概論	1③	1					1		1
		情報セキュリティ概論	1③	1							
		択特科目	リメディアル演習	1①		1		4	6		7
	小計(6科目)		—	8	1	0	16	12		10	6
	分野導入 専門応用科目群	科目選択	建築学概論	1③		2		5	4		3
		建築図学 I	1③		1		1			1	
		建築図学 II	1④		1		1			1	
目選択		建築材料・構造概論	1④		2		1				
小計(4科目)		—	0	6	0	5	4		3		
建築学プログラム	必修科目	卒業研修又は基礎設計	4①~②	2			5	4		3	
		卒業研究又は設計	4③~④	6			5	4		3	
	選択必修科目	建築製図基礎 I	2①		1		1			1	
		建築製図基礎 II	2②		1		1			1	
		建築設計製図 I	2③		2		5	4		3	
		建築設計製図 II	2④		2		5	4		3	
		建築設計製図 III	3①		2		5	4		3	
		建築設計製図 IV	3②		2		5	4		3	
		建築設計製図 V	3③		2		5	4		3	
		建築計画学 I	2③		2		1				
		建築計画演習 I	3①		1		1			1	
		建築計画演習 II	3②		1		1			1	
		設計方法論	3③		2		1			1	
		建築構造解析学・演習 I	2①		2		1				
		建築構造解析学・演習 II	2②		2		1				
		建築構造解析学・演習 III	2③		2		1				
		建築構造設計 I	3①		2		1				
		建築構造設計 II	3②		2		1				
		建築構造設計演習 I	3③		1		1				
		建築構造設計演習 II	3④		1		1				
		建築材料・構造実験 I	3③		2		2	1			
		建築材料・構造実験 II	3④		2		2	1			
		建築材料	2②		2		1	1			
		建築環境工学 I	2③		2		1				
		建築環境工学 II	3①		2		1				
		建築環境工学演習 I	3①		1		1	1			1
	建築環境工学演習 II	3②		1		1	1			1	
	建築環境制御学演習 I	3③		1		1	1			1	
	建築環境制御学演習 II	3④		1		1	1			1	
	都市計画学 I	2②		2		1					
	都市計画学 II	2④		2		1					
	都市デザイン論	3①		2		1					
	都市計画・デザイン演習	3③		2					1		
	都市環境法	3②		2			1				
選択科目	建築設計製図 VI	3④		2		5	4		3		
	建築設計製図 VII	4①		2		5	4		3		
	建築計画学 II	3①		2		1			1		
	日本建築史	2①		2		1					
	西洋建築史	3②		2		1			1		
	建築構造解析学・演習 IV	2④		2		1					
	建築構造設計演習 III	3③		1		1					
	建築構造設計演習 IV	3④		1		1					
	建築施工	4①		2						1	
	建築法規	2③		2			1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	建築学プログラム 専門応用科目群	職業指導(工)	4②	2								1
		創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1					
		創造プロジェクトI	2①~②	2			1					
		創造プロジェクトII	2③~④	2			1					
		創造研究プロジェクトI	3①~②	2			1					
		創造研究プロジェクトII	3③~④	2			1					
		マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2			1					
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2			1					
		施設見学	1-2-3-4①②③④	1			1					
		特別講義	1-2-3-4①②③④	1			1					
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4			1						
	海外研修	1-2-3-4①②③④	1~4			1						
	自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大 学開設科目					1					
	特設講義					1						
小計(61科目)		—	8	100~103	6	4		2		3		
合計(71科目)		—	16	107~110	27	20		11		3		
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目16単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	建築学プログラム 専門応用科目群	職業指導(工)	4②	2								1
		創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1					
		創造プロジェクトI	2①~②	2			1					
		創造プロジェクトII	2③~④	2			1					
		創造研究プロジェクトI	3①~②	2			1					
		創造研究プロジェクトII	3③~④	2			1					
		マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2			1					
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2			1					
		国際工学概論	1-2-3-4③④	1			1					
		国際工学事情	1-2-3-4③④	1								1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1						
国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1							
特殊選択科目	施設見学	1-2-3-4①②③④	1			1						
	特別講義	1-2-3-4①②③④	1			1						
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4			1						
	国際研修	1-2-3-4①②③④	1~4			1						
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大 学開設科目									1		
	特設講義									1		
小計(67科目)		—	8	112~116	7	4		3		3		
合計(77科目)		—	16	118~122	21	15		12		9		
卒業要件及び履修方法												
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目16単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養教育に関する授業科目													
	別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2		10						
		科目 特殊 選択	総合技術科学演習	1①	2		6	5	7				
			技術者の心がまえ	1④	2		1						1
			知的財産概論	1③	1		1						1
			情報セキュリティ概論	1③	1		1						1
科目 特殊 選択	リメディアル演習	1①	1		6	5	6						
	小計(6科目)	—	8	1	0	18	8	11					
分野導入	専門応用科目群	科目 必修	建築学概論	1③	2		5	4	3				
		科目 選択	建築図学Ⅰ	1③	1		1		1				
			建築図学Ⅱ	1④	1		1		1				
			建築材料・構造概論	1④	2		1						
		小計(4科目)	—	0	6	0	5	4	3				
建築学プログラム	専門応用科目群	必修科目	卒業研修又は基礎設計	4①~②	2		5	4	2	1			
		卒業研究又は設計	4③~④	6		5	4	2	1				
		選択 必修 科目	建築製図基礎Ⅰ	2①	1		1		1				
			建築製図基礎Ⅱ	2②	1		1		1				
			建築設計製図Ⅰ	2③	2		5	4	2	1			
			建築設計製図Ⅱ	2④	2		5	4	2	1			
			建築設計製図Ⅲ	3①	2		5	4	2	1			
			建築設計製図Ⅳ	3②	2		5	4	2	1			
			建築設計製図Ⅴ	3③	2		5	4	2	1			
			建築計画学Ⅰ	2③	2		1						
			建築計画演習Ⅰ	3①	1		1		1				
			建築計画演習Ⅱ	3②	1		1		1				
			設計方法論	3③	2		1		1				
			建築構造解析学・演習Ⅰ	2①	2		1						
			建築構造解析学・演習Ⅱ	2②	2		1						
			建築構造解析学・演習Ⅲ	2③	2		1						
			建築構造設計Ⅰ	3①	2		1						
			建築構造設計Ⅱ	3②	2		1						
			建築構造設計演習Ⅰ	3③	1		1		1				
			建築構造設計演習Ⅱ	3④	1		1		1				
			建築材料・構造実験Ⅰ	3③	2		2	1					
			建築材料・構造実験Ⅱ	3④	2		2	1					
			建築材料	2②	2		1	1					
			建築環境工学Ⅰ	2③	2		1						
			建築環境工学Ⅱ	3①	2		1						
			建築環境工学演習Ⅰ	3①	1		1	1				1	
			建築環境工学演習Ⅱ	3②	1		1	1				1	
			建築環境制御学演習Ⅰ	3③	1		1	1				1	
			建築環境制御学演習Ⅱ	3④	1		1	1				1	
			都市計画学Ⅰ	2②	2		1						
			都市計画学Ⅱ	2④	2		1						
			都市デザイン論	3①	2		1						
			都市計画・デザイン演習	3③	2					1			
			都市環境法	3②	2		1						
			選択科目	建築設計製図Ⅵ	3④	2		5	4	2	1		
		建築設計製図Ⅶ		4①	2		5	4	2	1			
		建築計画学Ⅱ		3①	2		1		1				
		日本建築史		2①	2		1						
		西洋建築史		3②	2		1		1				
		建築構造解析学・演習Ⅳ		2④	2		1						
		建築構造設計演習Ⅲ		3③	1		1		1				
		建築構造設計演習Ⅳ		3④	1		1		1				
建築施工	4①	2								1			
建築法規	2③	2			1								
建築環境制御学Ⅰ	3①	2			1								
建築環境制御学Ⅱ	3③	2			1								
不動産法	2④	2			1								

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教養教育に関する授業科目												
	別紙のとおり											
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2		11	1				
		科目 特殊 選択	総合技術科学演習	1①	2		5	2	6			
			技術者の心がまえ	1④	2		1					1
			知的財産概論	1③	1		1					1
			情報セキュリティ概論	1③	1		1					1
科目 特殊 選択	リメディアル演習	1①	1		4	6	6			1		
	小計(6科目)	—	8	1	0	15	8	9			3	
分野導入	専門応用科目群	科目 必修	建築学概論	1③	2		5	4	3			
		科目 選択	建築図学Ⅰ	1③	1		1		1			
			建築図学Ⅱ	1④	1		1		1			
			建築材料・構造概論	1④	2		1					
		小計(4科目)	—	0	6	0	5	4	3			
建築学プログラム	専門応用科目群	必修科目	卒業研修又は基礎設計	4①~②	2		5	4	3			
		卒業研究又は設計	4③~④	6		5	4	3				
		選択 必修 科目	建築製図基礎Ⅰ	2①	1		1		1			
			建築製図基礎Ⅱ	2②	1		1		1			
			建築設計製図Ⅰ	2③	2		5	4	2	3		
			建築設計製図Ⅱ	2④	2		5	4	2	3		
			建築設計製図Ⅲ	3①	2		5	4	2	3		
			建築設計製図Ⅳ	3②	2		5	4	2	3		
			建築設計製図Ⅴ	3③	2		5	4	2	3		
			建築計画学Ⅰ	2③	2		1					
			建築計画演習Ⅰ	3①	1		1		1			1
			建築計画演習Ⅱ	3②	1		1		1			1
			設計方法論	3③	2		1		1			1
			建築構造解析学・演習Ⅰ	2①	2		1					
			建築構造解析学・演習Ⅱ	2②	2		1					
			建築構造解析学・演習Ⅲ	2③	2		1					
			建築構造設計Ⅰ	3①	2		1					
			建築構造設計Ⅱ	3②	2		1					
			建築構造設計演習Ⅰ	3③	1		1		1			
			建築構造設計演習Ⅱ	3④	1		1		1			
			建築材料・構造実験Ⅰ	3③	2		2	1				
			建築材料・構造実験Ⅱ	3④	2		2	1				
			建築材料	2②	2		1	1				
			建築環境工学Ⅰ	2③	2		1					
			建築環境工学Ⅱ	3①	2		1					
			建築環境工学演習Ⅰ	3①	1		1	1				1
			建築環境工学演習Ⅱ	3②	1		1	1				1
			建築環境制御学演習Ⅰ	3③	1		1	1				1
			建築環境制御学演習Ⅱ	3④	1		1	1				1
			都市計画学Ⅰ	2②	2		1					
			都市計画学Ⅱ	2④	2		1					
			都市デザイン論	3①	2		1					
			都市計画・デザイン演習	3③	2							1
			都市環境法	3②	2		1					
			選択科目	建築設計製図Ⅵ	3④	2		5	4	2	3	
		建築設計製図Ⅶ		4①	2		5	4	2	3		
		建築計画学Ⅱ		3①	2		1		1			1
		日本建築史		2①	2		1					
		西洋建築史		3②	2		1		1			1
		建築構造解析学・演習Ⅳ		2④	2		1					
		建築構造設計演習Ⅲ		3③	1		1		1			
		建築構造設計演習Ⅳ		3④	1		1		1			
建築施工	4①	2								1		
建築法規	2③	2			1							
建築環境制御学Ⅰ	3①	2			1							
建築環境制御学Ⅱ	3③	2			1							
不動産法	2④	2			1							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	職業指導(工)	4②		2								1
	創造プロジェクト基礎	1③~④		2		1						
	創造プロジェクトI	2①~②		2		1						
	創造プロジェクトII	2③~④		2		1						
	創造研究プロジェクトI	3①~②		2		1						
	創造研究プロジェクトII	3③~④		2		1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②		2		1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④		2		1						
	国際工学概論	1-2-3-4③④		1		1						1
	国際工学事情	1-2-3-4③④		1								1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④		2		1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④		3		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④		2		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④		3		1						
	施設見学	1-2-3-4①②③④		1		1						
	特別講義	1-2-3-4①②③④		1		1						
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④		4		1						
	国際研修	1-2-3-4①②③④		1~4		1						
	自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大開設科目					1					
		特設講義					1					
小計(67科目)				8	112-118	7	4		3		4	
合計(77科目)				16	118-122	24	12		11		4	

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目16単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	職業指導(工)	4②		2								1
	創造プロジェクト基礎	1③~④		2		1						
	創造プロジェクトI	2①~②		2		1						
	創造プロジェクトII	2③~④		2		1						
	創造研究プロジェクトI	3①~②		2		1						
	創造研究プロジェクトII	3③~④		2		1						
	マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②		2		1						
	テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④		2		1						
	国際工学概論	1-2-3-4③④		1		1	5	2		3		
	国際工学事情	1-2-3-4③④		1								1
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④		2		1						
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④		3		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④		2		1						
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④		3		1						
	施設見学	1-2-3-4①②③④		1		1						
	特別講義	1-2-3-4①②③④		1		1						
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④		4		1						
	国際研修	1-2-3-4①②③④		1~4		1						
	自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大開設科目					1					
		特設講義					1					
小計(67科目)				8	112-118	11	6		5		3	
合計(77科目)				16	118-122	24	12		13		6	

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目16単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 助教採用のため
 - ・「建築学概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「建築施工」の専任教員等の配置において「兼1」を変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 助教採用のため
 - ・「卒業研修又は基礎設計」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「卒業研究又は設計」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅴ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築環境工学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更
 - ・「建築環境工学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更
 - ・「建築環境制御学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更
 - ・「建築環境制御学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅵ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅶ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更

【令和元年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	64 科目	0 科目	71 科目	7 科目	70 科目	0 科目	77 科目	
				[]	[6]	[]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{71} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 人間支援感性科学プログラム>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	その他	教授	准教授	講師	助教		
教養教育に関する授業科目												
工学部 専門教育に関する授業科目	別紙のとおり											
	必修科目	総合工学概論	1①	2			10					
	専門応用科目群	総合技術科学演習	1①②	2			4	3		6		
		技術者の心がまえ	1③④	2			1					
		知的財産概論	1③④	1			1					
		情報セキュリティ概論	1③④	1			1					
	選択科目	リメディアル演習	1①②	1			16	13		5		
	小計(6科目)			—	8	1	0	23	16		11	
	分野導入	選択必修科目	人間支援感性科学概論	1③	2			4	2			
		協創経営概論	1④	2			3	3				
ビジネス統計学		1④	2							1		
アントレプレナーシップI		1①	2			1	1					
芸術コミュニケーション概論		1③	2			3	3					
プログラミング基礎I		1④	2			1	1					
プログラミング基礎II		1④	2			1	1					
コンピュータ基礎		1①	1									
キャリアデザイン・インターンシップI		1②	2			1	1		1			
小計(9科目)			—	0	17	0	9	7		1		
人間支援感性科学プログラム	選択必修科目	フィジカルコンピューティング	2①	2			1					
	応用数理(確率・統計学)	2①	2							1		
	電算数理II(フーリエ解析)	2④	2			1						
	音楽理論基礎講座	2①~②	2			1						
	コミュニケーションツールとしての視覚造形	2③	2			1	1					
	健康スポーツシステム論	2③	2							1		
	必修科目	実践プログラミングI	2①	2			1		1			
	実践プログラミングII	2②	2			1		1				
	人間支援感性科学実験I	2①	1			7	6		1	1		
	人間支援感性科学実験II	2②	1			7	6		1	1		
人間支援感性科学実験III	3③	1			7	6		1	1			
人間支援感性科学実験IV	3④	1			7	6		1	1			
卒業研修I	3①~②	2			7	6		1	1			
卒業研修II	3③~④	2			7	6		1	1			
卒業研究I	4①~②	2			7	6		1	1			
卒業研究II	4③~④	6			7	6		1	1			
研究課題調査I	4①	1			7	6		1	1			
研究課題調査II	4②	1			7	6		1	1			
選択必修科目	デザイン基礎	2①	2			1						
フィジカルコンディショニング	2①	2				1						
ラケットスポーツ実習	2①	1			1							
人間工学	2①	2			1							
社会福祉論	2①	2			1							
表現素材演習I	2①	2				1						
音創造演習I	2①~②	2			1	1						
空間造形演習	2①~②	2			1							
現代絵画表現	2①~②	2								1		
パフォーマンスコミュニケーション	2①~②	2								3		
コンピュータネットワーク	2②	2			1							
スポーツ生理学I	2②	2								1		
福祉情報工学	2②	2			2	1						
表現素材演習II	2②	2			1							
電子回路	2③	2			1							
生体計測	2③	2			1							
機械システム論	2③	2			1							
スポーツ生理学II	2③	2								1		
実験計画法	2③	2			1			1				
表現素材演習III	2③	2			1							
ポピュラー音楽概論	2③	2								1		
パフォーマンスリテラシー	2③~④	2								3		
音創造演習II	2③~④	2			1	1						
デジタルサイネージ	2③~④	2			1	1						
機能生理学	2③~④	2			1					4		
日本絵画表現	2③~④	2								1		
表現素材演習IV	2④	2			1							
バイオメディカル・エンジニアリング	2④	2			1					1		
ゴール型スポーツ実習	2④	1			1							
ウィンタースポーツサイエンス	2④	2			1	1				2		
ネットワーク工学	2④	2			1							
コンピュータアーキテクチャ	2④	2						1	1			
芸術プロジェクト概論	3①	2			2	2		2	2			

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	その他	教授	准教授	講師	助教		
教養教育に関する授業科目												
工学部 専門教育に関する授業科目	別紙のとおり											
	必修科目	総合工学概論	1①	2			11	1				
	専門応用科目群	総合技術科学演習	1①②	2			6	6		6		
		技術者の心がまえ	1②	2							5	
		知的財産概論	1③	1					1		1	
		情報セキュリティ概論	1③	1								
	選択科目	リメディアル演習	1①	1			4	6		7		
	小計(6科目)			—	8	1	0	16	12		10	6
	分野導入	選択必修科目	人間支援感性科学概論	1③	2			5	1			1
		協創経営概論	1④	2			2	3		1		
ビジネス統計学		1④	2									
アントレプレナーシップI		1①	2			1	1					
芸術コミュニケーション概論		1③	2			3	2			1		
プログラミング基礎I		1③	2			1	1					
プログラミング基礎II		1④	2			1	1					
コンピュータ基礎		1①	1						1			
キャリアデザイン・インターンシップI		1②	2			3	3		2	1		
小計(9科目)			—	0	17	0	9	6		2	1	
人間支援感性科学プログラム	選択必修科目	フィジカルコンピューティング	2②	2			1					
	応用数理(確率・統計学)	2①	2					1				
	電算数理II(フーリエ解析)	2④	2			1						
	音楽理論基礎講座	2①~②	2			1						
	コミュニケーションツールとしての視覚造形	2③	2			1	1					
	健康スポーツシステム論	2③	2							1		
	必修科目	実践プログラミングI	2①	2			1		1			
	実践プログラミングII	2②	2			1		1				
	人間支援感性科学実験I	2③	1			8	5		1	1		
	人間支援感性科学実験II	2④	1			8	5		1	1		
人間支援感性科学実験III	3①	1			8	5		1	1			
人間支援感性科学実験IV	3②	1			8	5		1	1			
卒業研修I	3①~②	2			8	5		1	1			
卒業研修II	3③~④	2			8	5		1	1			
卒業研究I	4①~②	2			7	5		1	1			
卒業研究II	4③~④	6			7	5		1	1			
研究課題調査I	4①	1			7	5		1	1			
研究課題調査II	4②	1			7	5		1	1			
選択必修科目	デザイン基礎	2①	2			1						
フィジカルコンディショニング	2①	2				1						
ラケットスポーツ実習	2①~②	1			1							
人間工学	2①	2			1							
社会福祉論	2③	2			1							
表現素材演習I	2①	2				1						
音創造演習I	2①~②	2			1	1						
空間造形演習	2①~②	2			1							
現代絵画表現	2①~②	2								1		
パフォーマンスコミュニケーション	2②	2								3		
コンピュータネットワーク	2②	2			1							
スポーツ生理学I	2①	2								1		
福祉情報工学	2②	2			2	1						
表現素材演習II	2②	2			1							
電子回路	2③	2			1							
生体計測	2③	2			1							
機械システム論	2③	2			1							
スポーツ生理学II	2③	2								1		
実験計画法	2③	2			1			1				
表現素材演習III	2③	2			1							
ポピュラー音楽概論	2③	2								1		
パフォーマンスリテラシー	2③~④	2								3		
音創造演習II	2③~④	2			1	1						
デジタルサイネージ	2③~④	2			1	1						
機能生理学	2③~④	2			1					6		
日本絵画表現	2③~④	2								1		
表現素材演習IV	2④	2			1							
バイオメディカル・エンジニアリング	2④	2			1					1		
ゴール型スポーツ実習	2④	1			1							
ウィンタースポーツサイエンス	2④	2			1	1				2		
ネットワーク工学	2④	2			1							
コンピュータアーキテクチャ	2④	2						1	1			
芸術プロジェクト概論	3①	2			2	2		2	2			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
専門教育に関する授業科目	データベース	3①	2								2
	人工知能	3①	2			1					
	数値計算	3①	2				1				
	看護工学	3①	2								1
	スポーツ社会学	3①	2								1
	スポーツバイオメカニクス	3①	2			1					
	環境造形演習	3①~②	2			1					
	音楽応用演習I	3①~②	2			1	1				
	地域芸術資源開発	3②	2			1					1
	制御工学	3②	2			1					
	発育発達論	3②	2								1
	技術英語	3②	2			1	1				
	芸術プロジェクト表現実習I	3③	1			2	2				
	データ工学	3③	2				1				
	アシスティブ・テクノロジ	3③	2				1				
	診断支援工学	3③	2								1
	マルチメディアコンピュータ	3③	2				1				
	情報システムとセキュリティ	3③	2								1
	ベースボールスポーツ	3③	2								1
	スポーツ心理学	3③	2								1
	音楽応用演習II	3③~④	2			1	1				
	機能造形演習	3③~④	2				1				
	芸術プロジェクト表現実習II	3④	1			2	2				
	バイオメカニクス	3④	2			1					
	バイオメカニクス	3④	2			1					
	ゴルフサイエンス	3④	2			1	1				2
	選択科目	創造研究プロジェクトI	3①~②	2		1					
		創造研究プロジェクトII	3③~④	2		1					
		マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2		1					
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2		1					
		職業指導(工)	4①	2							1
		創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1				
		創造プロジェクトI	2①~②	2			1				
		創造プロジェクトII	2③~④	2			1				
	国際工学概論	1-2-3-4③④	1			1					
	国際工学事情	1-2-3-4③④	1							1	
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1					
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1					
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1					
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1					
特殊選択科目	インターンシップ	3①②	2		1						
	施設見学	1-2-3-4①②③④	1		1						
	特別講義I	1-2-3-4①②③④	1		1						
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4		1						
	海外研修	1-2-3-4①②③④	1~4		1						
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1						
	特設講義				1						
小計(89科目)		—	22	143~146	12	10	1			22	
合計(104科目)		—	30	101~104	31	24	11			23	
卒業要件及び履修方法											
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目30単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること(履修科目の登録の上限:28単位(学期))											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
専門教育に関する授業科目	データベース	3①	2								2
	人工知能	3①	2			1					
	数値計算	3①	2				1				
	看護工学	3①	2								6
	スポーツ社会学	3③~④	2								1
	スポーツバイオメカニクス	3③~④	2			1					
	環境造形演習	3③~④	2			1					
	音楽応用演習I	3③~④	2			1	1				
	地域芸術資源開発	3②	2			1					1
	制御工学	3②	2			1					
	発育発達論	3③~④	2								1
	技術英語	3③	2			1	1				
	芸術プロジェクト表現実習I	3③	1			2	2				
	データ工学	3④	2				1				
	アシスティブ・テクノロジ	3④	2				1				
	診断支援工学	3④	2								1
	マルチメディアコンピュータ	3②	2				1				
	情報システムとセキュリティ	3②	2								1
	ベースボールスポーツ	3①~②	2								1
	スポーツ心理学	3③~④	2								1
	音楽応用演習II	3③~④	2			1	1				
	機能造形演習	3③~④	2				1				
	芸術プロジェクト表現実習II	3④	1			2	2				
	バイオメカニクス	3④	2			1					
	バイオメカニクス	3④	2			1					1
	ゴルフサイエンス	3④	2			1	1				2
	選択科目	創造研究プロジェクトI	3①~②	2		1					
		創造研究プロジェクトII	3③~④	2		1					
		マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2		1					
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2		1					
		職業指導(工)	4①	2							1
		創造プロジェクト基礎	1③~④	2			1				
		創造プロジェクトI	2①~②	2			1				
		創造プロジェクトII	2③~④	2			1				
	国際工学概論	1-2-3-4③④	1			1					
	国際工学事情	1-2-3-4③④	1							1	
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1					
	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1					
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2			1					
	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3			1					
特殊選択科目	インターンシップ	3①②	2		1						
	施設見学	1-2-3-4①②③④	1		1						
	特別講義	1-2-3-4①②③④	1		1						
	海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4		1						
	国際研修	1-2-3-4①②③④	1~4		1						
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1						
	特設講義				1						
小計(99科目)		—	22	103~106	13	7	1			34	
合計(114科目)		—	30	101~104	27	20	11			38	
卒業要件及び履修方法											
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目30単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること(履修科目の登録の上限:28単位(学期))											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2		10						
			1①	2		6	5		7			
			1④	2		1						
			1③	1			1					
			1③	1			1					
			1③	1			1					
	科目 選択	リメディアル演習	1①	1		6	5		6			
	小計(6科目)			—	8	1	0	18	8		11	
	分野導入 専門応用科目群	選択必修科目	人間支援感性科学概論	1③	2		4	2				
			協創経営概論	1④	2		3	3				
ビジネス統計学			1④	2								
アントレプレナーシップI			1①	2		1	1					
芸術コミュニケーション概論			1③	2		3	3					
プログラミング基礎I			1③	2		1	1					
プログラミング基礎II			1④	2		1	1					
コンピュータ基礎			1①	1			1					
キャリアデザイン・インターンシップI			1②	2		1	1		1			
小計(9科目)			—	0	17	0	9	7		1	1	
人間支援感性科学プログラム 専門応用科目群	選択必修科目	フィジカルコンピューティング	2①	2			1					
		応用数理(簿記・統計学)	2①	2								
		電気数理II(フーリエ解析)	2④	2		1						
		音楽理論基礎講座	2①~②	2		1						
		コミュニケーションツールとしての視覚造形	2③	2		1	1					
		健康スポーツシステム論	2③	2			1					
		必修科目	実践プログラミングI	2①	2		1			1		
			実践プログラミングII	2②	2		1			1		
			人間支援感性科学実験I	2①	1		7	6		1		
			人間支援感性科学実験II	2②	1		7	6		1		
			人間支援感性科学実験III	3③	1		7	6		1		
			人間支援感性科学実験IV	3④	1		7	6		1		
			卒業研修I	3①~②	2		7	6		1		
			卒業研修II	3③~④	2		7	6		1		
			卒業研究I	4①~②	2		7	6		1		
	卒業研究II		4③~④	6		7	6		1			
	研究課題調査I		4①	1		7	6		1			
	研究課題調査II		4②	1		7	6		1			
	選択必修科目		デザイン基礎	2①	2			1				
			フィジカルコンディショニング	2①	2			1				
			ラケットスポーツ実習	2①	1		1					
		人間工学	2①	2		1						
		社会福祉論	2①	2		1						
		表現素材演習I	2①	2			1					
		音創造演習I	2①~②	2		1	1					
		空間造形演習	2①~②	2		1						
		現代絵画表現	2①~②	2							1	
		パフォーマンスコミュニケーション	2①~②	2							3	
		コンピュータネットワーク	2②	2		1						
		スポーツ生理学I	2②	2							1	
福祉情報工学		2②	2		2	1						
表現素材演習II		2②	2		1							
電子回路		2③	2		1							
生体計測	2③	2		1								
機械システム論	2③	2		1								
スポーツ生理学II	2③	2							1			
実験計画法	2③	2			1		1					
表現素材演習III	2③	2		1								
ポピュラー音楽概論	2③	2							1			
パフォーマンスリテラシー	2③~④	2							3			
音創造演習II	2③~④	2		1	1							
デジタルサイネージ	2③~④	2		1	1							
機能生理学	2③~④	2		1					4			
日本絵画表現	2③~④	2							1			
表現素材演習IV	2④	2			1							
バイオメディカル・エンジニアリング	2④	2		1					1			
ゴール型スポーツ実習	2④	1		1								
ウィンタースポーツサイエンス	2④	2		1	1				2			
ネットワーク工学	2④	2		1								
コンピュータアーキテクチャ	2④	2							1			
芸術プロジェクト概論	3①	2		2	2							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
教養教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入 専門応用科目群	必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2		11	1					
			1①	2		5	2		6			
			1④	2								1
			1③	1								1
			1③	1			1					
			1③	1			1					
	科目 選択	リメディアル演習	1①	1		4	6		6		1	
	小計(6科目)			—	8	1	0	15	8		9	3
	分野導入 専門応用科目群	選択必修科目	人間支援感性科学概論	1③	2		3	2				1
			協創経営概論	1④	2		2	3				1
ビジネス統計学			1④	2							1	
アントレプレナーシップI			1①	2		1	1					
芸術コミュニケーション概論			1③	2		3	2				1	
プログラミング基礎I			1③	2		1	1					
プログラミング基礎II			1④	2		1	1					
コンピュータ基礎			1①	1			1					
キャリアデザイン・インターンシップI			1②	2		3	3		2		2	
小計(9科目)			—	0	17	0	9	6		2	2	
人間支援感性科学プログラム 専門応用科目群	選択必修科目	フィジカルコンピューティング	2①	2			1					
		応用数理(簿記・統計学)	2①	2				1				
		電気数理II(フーリエ解析)	2④	2		1						
		音楽理論基礎講座	2①~②	2		1						
		コミュニケーションツールとしての視覚造形	2③	2		1	1					
		健康スポーツシステム論	2③	2			1					
		必修科目	実践プログラミングI	2①	2		1			1		
			実践プログラミングII	2②	2		1			1		
			人間支援感性科学実験I	2①	1		8	5		1		1
			人間支援感性科学実験II	2②	1		8	5		1		1
			人間支援感性科学実験III	3③	1		7	5		1		1
			人間支援感性科学実験IV	3④	1		7	5		1		1
			卒業研修I	3①~②	2		7	5		1		1
			卒業研修II	3③~④	2		7	5		1		1
			卒業研究I	4①~②	2		7	5		1		1
	卒業研究II		4③~④	6		7	5		1		1	
	研究課題調査I		4①	1		7	5		1		1	
	研究課題調査II		4②	1		7	5		1		1	
	選択必修科目		デザイン基礎	2①	2			1				
			フィジカルコンディショニング	2①	2			1				
			ラケットスポーツ実習	2①~②	1		1					
		人間工学	2①	2		1						
		社会福祉論	2①	2		1						
		表現素材演習I	2①	2			1					
		音創造演習I	2①~②	2		1	1					
		空間造形演習	2①~②	2		1						
		現代絵画表現	2①~②	2							1	
		パフォーマンスコミュニケーション	2②	2							3	
		コンピュータネットワーク	2②	2		1						
		スポーツ生理学I	2②	2							1	
福祉情報工学		2②	2		2	1						
表現素材演習II		2②	2		1							
電子回路		2③	2		1							
生体計測	2③	2		1								
機械システム論	2③	2		1								
スポーツ生理学II	2③	2							1			
実験計画法	2③	2			1		1					
表現素材演習III	2③	2		1								
ポピュラー音楽概論	2③	2							1			
パフォーマンスリテラシー	2③~④	2							3			
音創造演習II	2③~④	2		1	1							
デジタルサイネージ	2③~④	2		1	1							
機能生理学	2③~④	2		2					5			
日本絵画表現	2③~④	2							1			
表現素材演習IV	2④	2			1							
バイオメディカル・エンジニアリング	2④	2		1					1			
ゴール型スポーツ実習	2④	1		1								
ウィンタースポーツサイエンス	2④	2		1	1				2			
ネットワーク工学	2④	2		1								
コンピュータアーキテクチャ	2④	2							1			
芸術プロジェクト概論	3①	2		2	2							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間支援感性科学プログラム 専門教育に関する授業科目	データベース	3①	2								2	
	人工知能	3①	2		1							
	数値計算	3①	2			1						
	看護工学	3①	2								1	
	スポーツ社会学	3①	2								1	
	スポーツバイオメカニクス	3①	2		1							
	環境造形演習	3①~②	2		1							
	音楽応用演習I	3①~②	2		1	1						
	地域芸術資源開発	3②	2		1						1	
	制御工学	3②	2		1							
	発育発達論	3②	2								1	
	技術英語	3②	2		1	1						
	芸術プロジェクト表現実習I	3③	1		2	2						
	データ工学	3③	2			1						
	アシスティブ・テクノロジ	3③	2			1						
	診断支援工学	3③	2								1	
	マルチメディアコンピュータ	3③	2			1						
	情報システムとセキュリティ	3③	2								1	
	ベースボールスポーツ	3③	2								1	
	スポーツ心理学	3③	2								1	
	音楽応用演習II	3③~④	2		1	1						
	機能造形演習	3③~④	2			1						
	芸術プロジェクト表現実習II	3④	1		2	2						
	バイオメカニクス	3④	2		1							
	バイオンガナルプロセッシング	3④	2		1							
	ゴルフサイエンス	3④	2		1	1					2	
	選択科目	創造研究プロジェクトI	3①~②	2		1						
		創造研究プロジェクトII	3③~④	2		1						
		マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2		1						
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2		1						
		職業指導(工)	4①	2								1
		創造プロジェクト基礎	1③~④	2		1						
		創造プロジェクトI	2①~②	2		1						
		創造プロジェクトII	2③~④	2		1						
		国際工学概論	1-2-3-4③④	1		1						1
		国際工学事情	1-2-3-4③④	1								1
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2		1						
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3		1						
		国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2		1						
		国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3		1						
		インターンシップ	3①②	2		1						
		施設見学	1-2-3-4①②③④	1		1						
		特別講義	1-2-3-4①②③④	1		1						
		海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4		1						
		国際研修	1-2-3-4①②③④	1~4		1						
自由科目		単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1						
自由科目	特設講義				1							
小計(99科目)		—	22	108~110	13	10	1				24	
合計(114科目)		—	30	111~114	28	18	11				25	

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目30単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間支援感性科学プログラム 専門教育に関する授業科目	データベース	3①	2								2	
	人工知能	3①	2		1							
	数値計算	3①	2			1						
	看護工学	3①	2								1	
	スポーツ社会学	3①	2								1	
	スポーツバイオメカニクス	3①	2		1							
	環境造形演習	3①~②	2		1							
	音楽応用演習I	3①~②	2		1	1						
	地域芸術資源開発	3②	2		1						1	
	制御工学	3②	2		1							
	発育発達論	3②	2								1	
	技術英語	3②	2		1	1						
	芸術プロジェクト表現実習I	3③	1		2	2						
	データ工学	3③	2			1						
	アシスティブ・テクノロジ	3③	2			1						
	診断支援工学	3③	2								1	
	マルチメディアコンピュータ	3③	2			1						
	情報システムとセキュリティ	3③	2								1	
	ベースボールスポーツ	3③	2								1	
	スポーツ心理学	3③	2								1	
	音楽応用演習II	3③~④	2		1	1						
	機能造形演習	3③~④	2			1						
	芸術プロジェクト表現実習II	3④	1		2	2						
	バイオメカニクス	3④	2		1							
	バイオンガナルプロセッシング	3④	2		1						1	
	ゴルフサイエンス	3④	2		1	1					2	
	選択科目	創造研究プロジェクトI	3①~②	2		1						
		創造研究プロジェクトII	3③~④	2		1						
		マーケット・インターンシップ	1-2-3-4①~②	2		1						
		テクノロジー・インターンシップ	1-2-3-4③~④	2		1						
		職業指導(工)	4①	2								1
		創造プロジェクト基礎	1③~④	2		1						
		創造プロジェクトI	2①~②	2		1						
		創造プロジェクトII	2③~④	2		1						
		国際工学概論	1-2-3-4③④	1		1						5
		国際工学事情	1-2-3-4③④	1								2
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2		1						
		国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3		1						
		国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	1-2-3-4①②③④	2		1						
		国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4①②③④	3		1						
		インターンシップ	3①②	2		1						
		施設見学	1-2-3-4①②③④	1		1						
		特別講義	1-2-3-4①②③④	1		1						
		海外英語研修	1-2-3-4①②③④	4		1						
		国際研修	1-2-3-4①②③④	1~4		1						
自由科目		単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目				1						
自由科目	特設講義				1							
小計(99科目)		—	22	109~111	15	12	4				26	
合計(114科目)		—	30	111~114	27	17	13				30	

卒業要件及び履修方法

必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目30単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:28単位(学期))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
- 教育課程の充実のため
 - ・「職業指導(工)」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「創造プロジェクト基礎」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「創造プロジェクトI」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「創造プロジェクトII」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グループワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「特別講義I」を「特別講義」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「協創経営概論」の担当教員を「教授3」から「教授2」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「コンピュータ基礎」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更
 - ・「応用数理E(確率・統計学)」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 担当教員所属変更のため
 - ・「芸術コミュニケーション概論」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」及び「兼1」に変更
 - ・「キャリアデザインインターンシップ1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」へ「准教授1」から「准教授3」へ「助教1」から「助教2」へ「兼2」を追加に変更
 - ・「人間支援感性科学実験Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
 - ・「人間支援感性科学実験Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
 - ・「卒業研修Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
 - ・「卒業研修Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
 - ・「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
 - ・「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
 - ・「研究課題調査Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
 - ・「研究課題調査Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」及び「兼1」に変更
- 担当教員追加及び所属変更のため
 - ・「人間支援感性科学概論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「人間支援感性科学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」へ「准教授6」から「准教授5」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「人間支援感性科学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」へ「准教授6」から「准教授5」へ「兼0」から「兼1」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「ラケットスポーツ実習」の配当年次を「2①」から「2①～②」に変更
 - ・「パフォーマンスコミュニケーション」の配当年次を「2①～②」から「2②」に変更
 - ・「スポーツ生理学Ⅰ」の配当年次を「2②」から「2①」に変更
 - ・「デジタルサイネージ」の配当年次を「2③～④」から「2④」に変更
- 時間割見直し及び所属変更のため
 - ・「機能生理学」の配当年次を「2③～④」から「2④」及び専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「兼5」に変更
 - ・「バイオメディカル・エンジニアリング」の配当年次を「2④」から「2③」及び専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」及び「兼1」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授5」から「准教授2」へ「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更
 - ・「バイオシグナルプロセッシング」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更

【令和元年度】

○担当教員見直しのため

- ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」に変更
- ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担5」に変更
- ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更
- ・「人間支援感性科学概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授5」へ「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・「協創経営概論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」へ「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更
- ・「ビジネス統計学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更
- ・「キャリアデザイン・インターンシップ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更
- ・「人間支援感性科学実験Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更
- ・「人間支援感性科学実験Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更
- ・「卒業研修Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更
- ・「卒業研修Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更
- ・「機能生理学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担6」に変更
- ・「コンピュータアーキテクチャ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「准教授」から「准教授1」へ「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更
- ・「看護工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「兼任・兼担1」から「兼任・兼担6」に変更
- ・「マルチメディア・コンピューティング」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更

○時間割見直しのため

- ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
- ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更
- ・「フィジカルコンピューターテイング」の配当年次を「2①」から「2②」に変更
- ・「人間支援感性科学実験Ⅰ」の配当年次を「2①」から「2③」に変更
- ・「人間支援感性科学実験Ⅱ」の配当年次を「2②」から「2④」に変更
- ・「人間支援感性科学実験Ⅲ」の配当年次を「3③」から「3①」に変更
- ・「人間支援感性科学実験Ⅳ」の配当年次を「3④」から「3②」に変更
- ・「社会福祉論」の配当年次を「2①」から「2③」に変更
- ・「バイオメディカル・エンジニアリング」の配当年次を「2③」から「2①」に変更
- ・「スポーツ社会学」の配当年次を「3①」から「3③～④」に変更
- ・「スポーツバイオメカニクス」の配当年次を「3①」から「3③～④」に変更
- ・「環境造形演習」の配当年次を「3①～②」から「3③～④」に変更
- ・「発育発達論」の配当年次を「3②」から「3③～④」に変更
- ・「技術英語」の配当年次を「3②」から「3③」に変更
- ・「データ工学」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
- ・「アシスティブ・テクノロジー」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
- ・「診断支援工学」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
- ・「マルチメディアコンピューティング」の配当年次を「3③」から「3②」に変更
- ・「情報システムとセキュリティ」の配当年次を「3③」から「3②」に変更
- ・「ベースボールスポーツ」の配当年次を「3③」から「3①～②」に変更
- ・「スポーツ心理学」の配当年次を「3③」から「3③～④」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	87 科目	0 科目	104 科目	17 科目	97 科目	0 科目	114 科目	
				[]	[10]	[]	[10]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{104} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科 協創経営プログラム>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
授業教育に関する授業科目													
別紙のとおり													
専門教育に関する授業科目	工学科導入	専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2			10				
				総合技術科学演習	1①②	2		4	3	6			
				技術者の心がまえ	1③④	2		1					
				知的財産概論	1③④	1		1					
				情報セキュリティ概論	1③④	1		1					
	択特科目選	リメディアル演習	1①②	1		16	13	5					
	小計(6科目)				—	8	1	0	23	16	11		
	分野導入	専門応用科目群	選択必修科目	キャリアデザイン・インターンシップI	1②	2		4	4	1			
				コンピュータ基礎	1①	1		1	1	2			
				プログラミング基礎I	1③	2		2	3	1			
プログラミング基礎II				1④	2		2	3	1				
人間支援感性科学概論				1③	2		4	2					
協創経営概論				1④	2		3	3					
ビジネス統計学				1④	2		2				1		
芸術コミュニケーション概論				1③	2		3	3					
アントレプレナーシップI				1①	2		1	1					
小計(9科目)				—	0	17	0	11	10	3	1		
協創経営プログラム	専門応用科目群	必修科目	キャリアデザイン・インターンシップII	2②	2		3	3					
			課題解決インターンシップI	3①	2		3	3					
			課題解決インターンシップII	4①	2		3	3					
			課題解決インターンシップIII	4②	2		3	3					
			ディベートI	2④	2		2	2					
			ディベートII	3④	2		2	2					
			ディベートIII	4③	2		2	2					
			アントレプレナーシップII	2③	2		1	1					
			経営管理と社会的責任	2③	2						1		
			プロジェクト・マネジメント基礎	3②	2		1						
			ロジカルライティング	3②	2		1						
			ロジカルスピーキング	3③	2		1						
			マーケティング基礎	3③	2		1						
			リーダーシップ基礎	4③	2		1						
			技術評価	4③	2		1						
	技術英語	3③	2		1								
	企業会計基礎	2③	2						1				
	選択必修科目	機械システム工学	機械工学概論	2③	2		6	7	4	1			
			材料力学入門	2④	2		2						
			材料力学I	3①	2		1						
			流体工学I	3①	2		1	1		1			
			工業力学	3①	2		1	1					
			熱工学I	2④	2		1	1					
			機械力学I	2④	2		1	1					
			機械工学実験I	3①	1		1	1	3		1		
			機械工学実験II	3②	1		2	1	1		1		
			機械工学実験III	3③	1		1	4					
			機械工学実験IV	3④	1		5	2	4		1		
			機械設計I	3①	2		1						
			機構学	3②	2		1						
加工学I			3②	2		1							
材料力学II			3③	2		1		1					
流体工学II	3③	2						1					
機械設計II	3③	2		1									
熱工学II	3①	2		1	1								
機械力学II	3①	2		1									
システム制御I	3③	2		1									
システム制御II	3④	2		1									
加工学II	3④	2		1									
エネルギー変換工学	3②	2		1									
トライボロジー	3②	2		1		1							
マイクロマシン	3②	2		1									
機械音響工学	3③	2		1									
伝熱工学	3③	2		1	1								
メカトロニクス	3③	2		1		1							
ロボット工学	3④	2		1	1								
連続体力学	3④	2		2									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
授業教育に関する授業科目												
別紙のとおり												
専門教育に関する授業科目	工学科導入	専門応用科目群	必修科目	総合工学概論	1①	2			11	1		
				総合技術科学演習	1①②	2		6	6	6		
				技術者の心がまえ	1②	2						5
				知的財産概論	1③	1				1		1
				情報セキュリティ概論	1④	1		1				
	択特科目選	リメディアル演習	1①	1		4	6	7				
	小計(6科目)				—	8	1	0	16	12	10	6
	分野導入	専門応用科目群	選択必修科目	キャリアデザイン・インターンシップI	1②	2		3	3	2		1
				コンピュータ基礎	1①	1		1	1			
				プログラミング基礎I	1③	2		1	1			
プログラミング基礎II				1④	2		1	1				
人間支援感性科学概論				1③	2		5	1			1	
協創経営概論				1④	2		2	3		1		
ビジネス統計学				1④	2		1	1				
芸術コミュニケーション概論				1③	2		3	2			1	
アントレプレナーシップI				1①	2		1	1				
小計(9科目)				—	0	17	0	9	6	2	1	
協創経営プログラム	専門応用科目群	必修科目	キャリアデザイン・インターンシップII	2②	2		2	3	1			
			課題解決インターンシップI	3④	2		2	3	1			
			課題解決インターンシップII	4③	2		2	3	1			
			課題解決インターンシップIII	4④	2		2	3	1			
			ディベートI	2①	2		1	1			1	
			ディベートII	3①	2		1	1			1	
			ディベートIII	4①	2		1	1			1	
			アントレプレナーシップII	2③	2		3	3				
			経営管理と社会的責任	2②	2		1					
			プロジェクト・マネジメント基礎	3②	2		1					
			ロジカルライティング	3②	2		1					
			ロジカルスピーキング	3③	2						1	
			マーケティング基礎	3③	2							
			リーダーシップ基礎	4②	2		1					
			技術評価	4①	2		1					
	技術英語	3③	2				1					
	企業会計基礎	2③	2						1			
	選択必修科目	機械システム工学	機械工学概論	2③	2		6	6	3		1	
			材料力学入門	2④	2		2					
			材料力学I	3①	2		1					
			流体工学I	3②	2		1	1		1		
			工業力学	3①	2		1	1				
			熱工学I	2④	2		1	1				
			機械力学I	2④	2		1	1				
			機械工学実験I	3①	1		1	1	2		1	
			機械工学実験II	3②	1		2	1	1		1	
			機械工学実験III	3③	1		1	4				
			機械工学実験IV	3④	1		5	2	3		1	
			機械設計I	3①	2		1					
			機構学	3②	2		1					
加工学I			3②	2		1						
材料力学II			3③	2		1						
流体工学II	3③	2						1				
機械設計II	3③	2		1								
熱工学II	3①	2		1	1							
機械力学II	3①	2		1								
システム制御I	3③	2		1								
システム制御II	3④	2		1								
加工学II	3④	2		1								
エネルギー変換工学	3②	2		1								
トライボロジー	3②	2		1				1				
マイクロマシン	3②	2		1								
機械音響工学	3③	2		1								
伝熱工学	3③	2		1	1							
メカトロニクス	3③	2		1				1				
ロボット工学	3④	2		1	1							
連続体力学	3④	2		2								

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	社会基盤工学概論	2④	2			3	4	1		1	
	材料力学入門	2④	2			2					
	社会基盤応用数値及び演習Ⅰ	3②	2			1				1	
	社会基盤応用数値及び演習Ⅱ	3④	2			1				1	
	社会基盤数理工学	3②	2			1				1	
	動力学	3①	2			1					
	応用力学Ⅰ	3①	2			1					
	コンクリート工学Ⅰ	3④	2			1					
	地盤工学Ⅰ	2③	2			1					
	基礎水理学	3①	2			1					
	社会基盤工学実験Ⅰ	4②	2			2	1			1	
	社会基盤工学実験Ⅱ	3③	2			1	1				
	社会基盤設計基礎	3①	2			3	4		1	1	
	応用力学演習Ⅰ	3①	2			1				1	
	応用力学Ⅱ	3③	2			1				1	
	応用力学演習Ⅱ	3③	2			1				1	
	建設材料学	3②	2			1	1				
	コンクリート工学Ⅱ	4①	2			1					
	コンクリート構造工学	4③	2			1					
	地盤工学Ⅱ	2④	2			1					
	地盤工学Ⅲ	3②	2			1		1			
	水理学及び演習Ⅰ	3③	2			1				1	
	水理学及び演習Ⅱ	4①	2			1					
	社会基盤製図	3②	2							1	
	測量学(工)	2④	2			1					
	測量学実習(工)	3①	2				2				
	都市計画学Ⅱ	2④	2			1					
	都市環境法	3②	2			1					
	電子情報通信	電気数理Ⅰ(ベクトル解析)	3②	2			1				
		電気数理Ⅱ(フーリエ解析)	2④	2			1		1		
		物理工学Ⅰ(解析力学)	3②	2			1				
		物理工学ⅠⅠ(量子物理学)	3③	2			1				
		電気回路Ⅰ	3①	2			1				
		電子情報通信実験ⅠVA	4①	1		4	4				
電子情報通信実験ⅠVB		4②	1		2	4		1			
電磁気学Ⅰ		3③	2			1					
電磁気学Ⅱ		4①	2			1					
プログラミングBⅠ		3①	2			1		1			
プログラミングBⅡ		3②	2			1		1			
デジタル回路		3②	2			1				1	
電気回路Ⅱ		3③	2			1					
電子回路		3④	2			1					
電子デバイスⅠ		3④	2			1					
電気計測		3④	2			1	1				
デジタル信号処理		4①	2			1					
電気回路ⅢⅠ		4①	2			1					
電子デバイスⅡ		4②	2			1				1	
システム制御工学		4②	2			1					
送配電工学		4②	2			1					
画像情報工学		4③	2			1					
電子物性工学Ⅰ		4③	2			1					
光子電子工学		4③	2			1					
通信方式基礎		3④	2			1					
電子物性工学Ⅱ	4④	2			1				1		
光応用工学	4④	2				1					
パワーエレクトロニクス	4④	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手		
専門教育に関する授業科目	社会基盤工学概論	2④	2			2	4			1	
	材料力学入門	2④	2			2					
	社会基盤応用数値及び演習Ⅰ	3①	2			1				1	
	社会基盤応用数値及び演習Ⅱ	3④	2			1				1	
	社会基盤数理工学	3①	2			1				1	
	動力学	3③	2			1					
	応用力学Ⅰ	3②	2			1					
	コンクリート工学Ⅰ	3④	2			1					
	地盤工学Ⅰ	2③	2			1					
	基礎水理学	3①	2			1					
	社会基盤工学実験Ⅰ	4②	2			2	1			1	
	社会基盤工学実験Ⅱ	3③	2			2	2		2		
	社会基盤設計基礎	3①	2			2	4		2	1	
	応用力学演習Ⅰ	3②	2			1				1	
	応用力学Ⅱ	3③	2			1				1	
	応用力学演習Ⅱ	3③	2			1				1	
	建設材料学	3②	2			1	1				
	コンクリート工学Ⅱ	4①	2			1					
	コンクリート構造工学	4③	2			1					
	地盤工学Ⅱ	2④	2			1					
	地盤工学Ⅲ	3②	2			1					
	水理学及び演習Ⅰ	3③	2			1				1	
	水理学及び演習Ⅱ	4①	2			1					
	社会基盤製図	3②	2							1	
	測量学(工)	2④	2			1					
	測量学実習(工)	3①~②	2				2		1		
	都市計画学Ⅱ	2④	2			1					
	都市環境法	3②	2			1					
	電子情報通信	電子情報通信概論	2③	1			4	3		1	
		知能情報システム概論	2④	1			6	2			1
		電気数理Ⅰ(ベクトル解析)	3②	2							
		電気数理Ⅱ(フーリエ解析)	2④	2			1				
		物理工学Ⅰ(解析力学)	3②	2			1				
		物理工学ⅠⅠ(量子物理学)	3③	2			2				
数理工学Ⅳ(数・統計力学)		3④	2			1					
電気回路Ⅰ		3①	2			1					
電気回路演習Ⅰ		3①	1			1					
電子情報通信実験ⅠVA		4①	1		6	6		2			
電子情報通信実験ⅠVB		4②	1		6	6		2			
電磁気学Ⅰ		3③	2			1					
電磁気学Ⅱ		4①	2			1					
電磁気学演習Ⅰ		3④	1		1	1					
電磁気学演習Ⅱ		4②	1		1	2					
プログラミングBⅠ		3①	2		1				1		
プログラミングBⅡ		3②	2		1					1	
デジタル回路		3②	2		1						
電気回路Ⅱ		3③	2			1					
電気回路演習Ⅱ	3④	1		1	1						
電子回路	3④	2		1							
電子デバイスⅠ	3④	2		1							
電気計測	3③	2		1	1						
デジタル信号処理	4①	2		1							
電気回路ⅢⅠ	4①	2		1							
電子デバイスⅡ	4②	2		1				1			
システム制御工学	4②	2		1							
送配電工学	4②	2		1							
画像情報工学	4③	2		1							
電子物性工学Ⅰ	4③	2		1							
光子電子工学	4③	2		1							
電気機器	4①	2		1							
通信方式基礎	3④	2		1							
電子物性工学Ⅱ	4④	2		1				1			
光応用工学	4④	2		1					1		
パワーエレクトロニクス	4④	2		1							
電波・電気通信法規	4①~②	2							1		
発変電工学	4①~②	2				1					
高電圧工学	4②	2			1						
電気法規・施設管理	4③~④	1				1					

【認可時又は届出時】

Table with columns for subject division, course name, credit units, and staff configuration for the recognition period. Includes courses like '知能情報システム' and '化学システム工学'.

【令和元年度】

Table with columns for subject division, course name, credit units, and staff configuration for the Heisei 21 fiscal year. Includes courses like '電子情報通信概論' and '基礎無機化学'.

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育に関する授業科目	選択科目 マーケット・インターンシップ	1・2・3・4 ①②③④	2		1						
		1・2・3・4 ①②③④	2		1						
	特殊選択科目	工場実習	1・2・3・4 ①②③④	2		1					
		工場見学	1・2・3・4 ①②③④	1		1					
		特別講義	1・2・3・4 ①②③④	1		1					
		海外英語研修	1・2・3・4 ①②③④	4		1					
		海外研修	1・2・3・4 ①②③④	1~4		1					
	自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目 特設講義				1					
	小計 (247科目)		—	34	442-445	48	43	19	7		
	合計 (262科目)		—	42	440-443	55	47	20	7		
卒業要件及び履修方法											
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目42単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育に関する授業科目	選択科目 マーケット・インターンシップ	1・2・3・4 ①②③④	2		1						
		1・2・3・4 ①②③④	2		1						
		1・2・3・4 ①②③④	1		1						1
		1・2・3・4 ①②③④	1		1						
		1・2・3・4 ①②③④	2		1						
		1・2・3・4 ①②③④	3		1						
	特殊選択科目	工場実習	1・2・3・4 ①②③④	2		1					
		工場見学	1・2・3・4 ①②③④	1		1					
		特別講義	1・2・3・4 ①②③④	1		1					
		海外英語研修	1・2・3・4 ①②③④	4		1					
自由科目	単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目 特設講義				1						
小計 (270科目)		—	34	442-445	38	40	15	13			
合計 (285科目)		—	42	440-443	42	42	15	19			
卒業要件及び履修方法											
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目42単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目											
専門教育に関する授業科目	別紙のとおり										
	工学科導入 専門応用科目群 必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2		10						
		1①	2		6	5	7				
		1④	2		1						
		1⑬	1		1						
		1⑬	1		1						
	選択科目 リメディアル演習	1⑩	1		6	5	6				
	小計(6科目)		—	8	1	0	18	8	11		
	分野導入 専門応用科目群 選択必修科目 キャリアデザイン・インターンシップI コンピュータ基礎 プログラミング基礎I プログラミング基礎II 人間支援感性科学概論 協創経営概論 ビジネス統計学 芸術コミュニケーション概論 アントレプレナーシップI	1②	2		4	4	1				
		1①	1		1	1	2				
		1③	2		2	3	1				
		1④	2		2	3	1				
		1③	2		4	2					
		1④	2		3	3					
1④		2		2				1			
1③		2		3	3						
1①		2		1	1						
小計(9科目)		—	0	17	0	11	10	3		1	
協創経営プログラム 専門応用科目群 必修科目 キャリアデザイン・インターンシップII 課題解決インターンシップI 課題解決インターンシップII 課題解決インターンシップIII ディベートI ディベートII ディベートIII アントレプレナーシップII 経営管理と社会的責任 プロジェクト・マネジメント基礎 ロジカルライティング ロジカルスピーキング マーケティング基礎 リーダーシップ基礎 技術評価 技術英語 企業会計基礎	2②	2		3	3						
	3①	2		3	3						
	4①	2		3	3						
	4②	2		3	3						
	2④	2		2	2						
	3④	2		2	2						
	4③	2		2	2						
	2③	2		1	1						
	2③	2		2	2						
	3②	2		1							
	3②	2		1							
	3③	2		1							
	3③	2		1							
	4③	2		1							
	4③	2		1							
	3③	2		1							
	2③	2		2	2						
	小計(21科目)		—	0	17	0	11	10	3		1
	学社会基盤工学 選択必修科目 機械工学概論 材料力学入門 材料力学I 流体力学I 工業力学 熱工学I 機械力学I 機械工学実験I 機械工学実験II 機械工学実験III 機械工学実験IV 機械設計I 機構学 加工学I 材料力学II 流体力学II 機械設計II 熱工学II 機械力学II システム制御I システム制御II 加工学II エネルギー変換工学 トライボロジー マイクロマシン 機械音響工学 伝熱工学 メカトロニクス ロボット工学 連続体力学	2③	2		6	7	4		1		
		2④	2		2	2					
		3①	2		1						
3②		2		1		1		1			
3①		2		1	1						
2④		2		1	1						
2④		2		1							
3①		1		1	1		3		1		
3②		1		2	1		1		1		
3③		1		1	4						
3④		1		5	2		4		1		
3①		2		1							
3②		2		1							
3②		2		1							
3③		2		1		1					
3③		2		1							
3③		2		1							
3③		2		1							
3④		2		1							
3④		2		1							
3④		2		1							
3②		2		1							
3②		2		1		1					
3②		2		1							
3②		2		1							
3③		2		1							
3③		2		1							
3④		2		1		1					
3④		2		1							
3④		2		1		1					
小計(34科目)		—	0	17	0	11	10	3		1	
学社会基盤工学 必修科目 社会基盤工学概論 材料力学入門 社会基盤応用数理及び演習I 社会基盤応用数理及び演習II		2④	2		2	4	1			1	
		2④	2		2					1	
		3②	2		1					1	
		3④	2		1					1	
小計(4科目)		—	0	17	0	11	10	3		2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目											
専門教育に関する授業科目	別紙のとおり										
	工学科導入 専門応用科目群 必修科目 総合工学概論 総合技術科学演習 技術者の心がまえ 知的財産概論 情報セキュリティ概論	1①	2		11	1					
		1①	2		5	2	6				
		1④	2		1					1	
		1⑬	1		1						
		1⑬	1		1						
	選択科目 リメディアル演習	1⑩	1		4	6	6				1
	小計(6科目)		—	8	1	0	15	8	9		3
	分野導入 専門応用科目群 選択必修科目 キャリアデザイン・インターンシップI コンピュータ基礎 プログラミング基礎I プログラミング基礎II 人間支援感性科学概論 協創経営概論 ビジネス統計学 芸術コミュニケーション概論 アントレプレナーシップI	1②	2		3	3	2				2
		1①	1		1	1	2				
		1③	2		1	1					
		1④	2		1	1					
		1③	2		3	2					1
		1④	2		2	3					1
1④		2		2						1	
1③		2		3	2					1	
1①		2		1	1						
小計(9科目)		—	0	17	0	9	6	2		2	
学社会基盤工学 専門応用科目群 必修科目 キャリアデザイン・インターンシップII 課題解決インターンシップI 課題解決インターンシップII 課題解決インターンシップIII ディベートI ディベートII ディベートIII アントレプレナーシップII 経営管理と社会的責任 プロジェクト・マネジメント基礎 ロジカルライティング ロジカルスピーキング マーケティング基礎 リーダーシップ基礎 技術評価 技術英語 企業会計基礎	2②	2		2	3	1				1	
	3①	2		2	3	1				1	
	4①	2		2	3	1				1	
	4②	2		2	3	1				1	
	2④	2		2	2						
	3④	2		2	2						
	4③	2		2	2						
	2③	2		1	1					1	
	2③	2		2	2					1	
	3②	2		1							
	3②	2		1							
	3③	2		1			1				
	3③	2		1			1				
	4③	2		1			1				
	4③	2		1			1				
	3③	2		1			1				
	2③	2		2	2						
	小計(34科目)		—	0	17	0	9	6	2		2
	学社会基盤工学 選択必修科目 社会基盤工学概論 材料力学入門 社会基盤応用数理及び演習I 社会基盤応用数理及び演習II		2④	2		2	4	1			1
			2④	2		2					1
			3②	2		1					1
			3④	2		1					1
	小計(4科目)		—	0	17	0	9	6	2		2

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育に関する授業科目	社会基盤数理工学	3②	2	1					1	
	力学	3①	2	1						
	応用力学 I	3①	2	1						
	コンクリート工学 I	3④	2	1						
	地盤工学 I	2③	2		1					
	基礎水理学	3①	2		1					
	社会基盤工学実験 I	4②	2	2	1				1	
	社会基盤工学実験 II	3③	2		2		1			
	社会基盤設計基礎	3①	2	2	4		1		1	
	応用力学演習 I	3①	2	1					1	
	応用力学 II	3③	2	1					1	
	応用力学演習 II	3③	2	1					1	
	建設材料学	3②	2	1	1					
	コンクリート工学 II	4①	2	1						
	コンクリート構造工学	4③	2	1						
	地盤工学 II	2④	2		1					
	地盤工学 III	3②	2		1		1			
	水理学及び演習 I	3③	2		1					
	水理学及び演習 II	4①	2		1					
	社会基盤製図	3②	2						1	
	測量学 (工)	2④	2		1					
	測量学実習 (工)	3①	2		2					
	都市計画学 II	2④	2		1					
	都市環境法	3②	2		1					
	電子情報通信	電気数理 I (ベクトル解析)	3②	2	1					
		電気数理 II (フーリエ解析)	2④	2	1			1		
		物理学 I (解析力学)	3②	2	1				1	
		物理学 III (量子物理学)	3③	2		1			2	
		電気回路 I	3①	2		1			1	
		電子情報通信実験 IVA	4①	1	4	4				
		電子情報通信実験 IVB	4②	1	2	4		1		
		電磁気学 I	3③	2		1				
		電磁気学 II	4①	2		1				
		プログラミング BI	3①	2		1		1		
		プログラミング BII	3②	2		1		1		
		デジタル回路	3②	2	1					
電気回路 II		3③	2		1			1		
電子回路		3④	2		1					
電子デバイス I		3④	2		1					
電気計測		3④	2		1			1		
デジタル信号処理		4①	2		1					
電気回路 III		4①	2		1					
電子デバイス II		4②	2		1					
システム制御工学		4②	2		1					
送配電工学		4②	2		1					
画像情報工学		4③	2		1					
電子物性工学 I		4③	2		1					
光子電子工学		4③	2		1					
通信方式基礎		3④	2		1					
電子物性工学 II		4④	2		1					
光応用工学		4④	2				1			
パワーエレクトロニクス		4④	2				1			
知能情報システム	電気数理 II (フーリエ解析)	2④	2		1					
	プログラミング A I	3①	2		2			1		
	プログラミング A II	3②	2		2			1		
	知能情報システム実験 I	3①	1	8	7		3		2	
	知能情報システム実験 II	3②	1	8	7		3		2	
	データ構造とアルゴリズム	3①	2		1					
	電気回路	3①	2		1					
	離散数学	3①	2		1					
	論理回路	3②	2		1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育に関する授業科目	社会基盤数理工学	3①	2	1					1	
	力学	3①	2	1						
	応用力学 I	3②	2	1						
	コンクリート工学 I	3④	2	1						
	地盤工学 I	2③	2		1					
	基礎水理学	3①	2		1					
	社会基盤工学実験 I	4②	2	2	1				1	
	社会基盤工学実験 II	3③	2		2		1			
	社会基盤設計基礎	3①	2	2	4		1		1	
	応用力学演習 I	3②	2	1					1	
	応用力学 II	3③	2	1					1	
	応用力学演習 II	3③	2	1					1	
	建設材料学	3②	2	1	1					
	コンクリート工学 II	4①	2	1						
	コンクリート構造工学	4③	2	1						
	地盤工学 II	2④	2		1					
	地盤工学 III	3②	2		1		1			
	水理学及び演習 I	3③	2		1					
	水理学及び演習 II	4①	2		1					
	社会基盤製図	3②	2						1	
	測量学 (工)	2④	2		1					
	測量学実習 (工)	3①~②	2		2					
	都市計画学 II	2④	2		1					
	都市環境法	3②	2		1					
	電子情報通信	電気数理 I (ベクトル解析)	3②	2	1					
		電気数理 II (フーリエ解析)	2④	2	1			1		
		物理学 I (解析力学)	3②	2		1			1	
		物理学 III (量子物理学)	3③	2		1			2	
		電気回路 I	3①	2		1			1	
		電子情報通信実験 IVA	4①	1	4	4				
		電子情報通信実験 IVB	4②	1	2	4		1		
		電磁気学 I	3③	2		1				
		電磁気学 II	4①	2		1				
		プログラミング BI	3①	2		1		1		
		プログラミング BII	3②	2		1		1		
		デジタル回路	3②	2	1					
電気回路 II		3③	2		1			1		
電子回路		3④	2		1					
電子デバイス I		3④	2		1					
電気計測		3③	2		1			1		
デジタル信号処理		4①	2		1					
電気回路 III		4①	2		1					
電子デバイス II		4②	2		1					
システム制御工学		4②	2		1					
送配電工学		4②	2		1					
画像情報工学		4③	2		1					
電子物性工学 I		4③	2		1					
光子電子工学		4③	2		1					
通信方式基礎		3④	2		1					
電子物性工学 II		4④	2		1					
光応用工学		4④	2				1			
パワーエレクトロニクス		4④	2				1			
知能情報システム	電気数理 II (フーリエ解析)	2④	2		1					
	プログラミング A I	3①	2		2			1		
	プログラミング A II	3②	2		2			1		
	知能情報システム実験 I	3①	1	8	7		3		2	
	知能情報システム実験 II	3②	1	8	7		3		2	
	データ構造とアルゴリズム	3①	2		1					
	電気回路	3①	2		1					
	離散数学	3①	2		1					
	論理回路	3②	2		1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手			
専門教育に関する授業科目	知能情報システム	コンピュータネットワーク	3②	2	1						1	
		形式言語とオートマトン	2③	2	1							
		コンピュータアーキテクチャ	2④	2								
		人工知能	3①	2	1							
		信号処理	3①	2	1							
		情報理論	3②	2	1							
		データ工学	3③	2		1						
		数理論理学	2④	2	1							
		ネットワーク工学	2④	2	1							
		基礎電子回路	2④	2	1							
		数値計算プログラミング	3①	2		1						
		コンパイラ	3②	2				1				
		制御工学	3②	2	1							
		マルチメディアコンピュータ	3②	2		1						
		フシスティブ・テクノロジー	3③	2		1						
		電子デバイス	3④	2	1							
		プログラミングAⅢ	3④	2	1			1				
		バイオメディカル・エンジニアリング	3④	2		1						
		化学システム工学	化学工学基礎	2③	2	1						1
			化学プロセス概論	3①	2	1						
			高分子化学概論	3①	2	1						
			有機化学(工)	3①	2			1				
			反応工学 I	3①	2		1					
			拡散操作 I	3①	2	1						
			分析化学(工)	3②	2		1					
		無機化学	3②	2		1						
		無機化学実験(工)	3③	2		1						
		分析化学実験(工)	3③	2		1						
		拡散操作 II	3③	2	1							
		物理化学 I	2③	2	1							
		移動論基礎	2③	2	1							
		物理化学実験(工)	3④	2	1							
		有機化学実験(工)	3④	2	1		1					
		プロセス伝熱工学	2④	2	1							
		化学実験 I	3④	1	1		2					
		計測化学 I	2④	2	1							
		高分子化学 I	2④	2	1							
		反応速度論	3①	2	1							
		高分子化学実験	4①	2	2		1					
		反応工学 II	4①	2		1						
		粉体工学	3①	2		1						
		化学実験2	4①	1	1		2					
		設計製図	3①	1		2						
		計測化学 II	3①	2	1							
		有機反応化学	3②	2	1							
		物理化学 II	3②	2	1							
		高分子化学 III	3②	2	1							
		無機工業化学	3②	2		1						
		固体化学	3③	2		1						
		プロセス制御	3③	2	1							
		移動現象論	3③	2	1							
		有機合成化学	3④	2	1							
		機械的分離工学	3④	2	1							
		安全工学	3④	2	1							
		無機合成化学	2③	2		1						
		分子設計化学	2③	2			1					
		品質管理	2④	2	1							
		反応工学 III	4②	2		1						
		拡散操作 III	4②	2	1							
		放射化学(工)	3③	2		1						
		高分子化学 II	3③	2	1							
		物理化学 III	3③	2	1							
		反応装置工学	3④	2		1						
		プロセス設計	4①	2	1							
		環境化学工学	4①	2	1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手			
専門教育に関する授業科目	知能情報システム	コンピュータネットワーク	3②	2	1						1	
		形式言語とオートマトン	2③	2	1							
		コンピュータアーキテクチャ	2④	2								
		人工知能	3①	2	1							
		信号処理	3①	2	1							
		情報理論	3②	2	1							
		データ工学	3③	2		1						
		数理論理学	2④	2	1							
		ネットワーク工学	2④	2	1							
		基礎電子回路	2④	2	1							
		数値計算プログラミング	3①	2		1						
		コンパイラ	3②	2				1				
		制御工学	3②	2	1							
		マルチメディアコンピュータ	3②	2		1						
		フシスティブ・テクノロジー	3③	2		1						
		電子デバイス	3④	2	1							
		プログラミングAⅢ	3④	2	1			1				
		バイオメディカル・エンジニアリング	3④	2		1						
		化学システム工学	化学工学基礎	2③	2	1						1
			化学プロセス概論	3①	2	1						
			高分子化学概論	3①	2	1						
			有機化学(工)	3①	2			1				
			反応工学 I	3①	2		1					
			拡散操作 I	3①	2	1						
			分析化学(工)	3②	2		1					
		無機化学	3②	2		1						
		無機化学実験(工)	3③	2		1						
		分析化学実験(工)	3③	2		1						
		拡散操作 II	3③	2	1							
		物理化学 I	2③	2	1							
		移動論基礎	2③	2	1							
		物理化学実験(工)	3④	2	1							
		有機化学実験(工)	3④	2	1		1					
		プロセス伝熱工学	2④	2	1							
		化学実験 I	3④	1	1		2					
		計測化学 I	2④	2	1							
		高分子化学 I	2④	2	1							
		反応速度論	3①	2	1							
		高分子化学実験	4①	2	2		1					
		反応工学 II	4①	2		1						
		粉体工学	3①	2		1						
		化学実験2	4①	1	1		2					
		設計製図	3①	1		2						
		計測化学 II	3①	2	1							
		有機反応化学	3①	2	1							
		物理化学 II	3②	2	1							
		高分子化学 III	3②	2	1							
		無機工業化学	3②	2		1						
		固体化学	3③	2		1						
		プロセス制御	3③	2	1							
		移動現象論	3③	2	1							
		有機合成化学	3④	2	1							
		機械的分離工学	3④	2	1							
		安全工学	3④	2	1							
		無機合成化学	2③	2		1						
		分子設計化学	2③	2			1					
		品質管理	2⑤	2	1							
		反応工学 III	4②	2		1						
		拡散操作 III	4②	2	1							
		放射化学(工)	3③	2		1						
		高分子化学 II	3③	2	1							
		物理化学 III	3③	2	1							
		反応装置工学	3④	2		1						
		プロセス設計	4①	2	1							
		環境化学工学	4①	2	1							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門教育に関する授業科目	選択科目 国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA 国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB 国際マーケット・グループワーク・インターンシップA 国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 0222	2	1						
		1-2-3-4 0222	3	1						
		1-2-3-4 0222	2	1						
		1-2-3-4 0222	3	1						
	特殊選択科目 工場実習 工場見学 特別講義 海外英語研修 国際研修	1-2-3-4 ①②③④	2		1					
		1-2-3-4 ①②③④	1		1					
		1-2-3-4 ①②③④	1		1					
		1-2-3-4 ①②③④	4		1					
		1-2-3-4 ①②③④	1~4		1					
	自由科目 単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目特設講義				1					
小計 (253科目)	—	34	44-47	47	42		19		8	
合計 (268科目)	—	42	45-49	54	46		20		8	
卒業要件及び履修方法										
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目42単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))										

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門教育に関する授業科目	選択科目 国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA 国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB 国際マーケット・グループワーク・インターンシップA 国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	1-2-3-4 0222	2	1						
		1-2-3-4 0222	3	1						
		1-2-3-4 0222	2	1						
		1-2-3-4 0222	3	1						
	特殊選択科目 工場実習 工場見学 特別講義 海外英語研修 国際研修	1-2-3-4 ①②③④	2		1					
		1-2-3-4 ①②③④	1		1					
		1-2-3-4 ①②③④	1		1					
		1-2-3-4 ①②③④	4		1					
		1-2-3-4 ①②③④	1~4		1					
	自由科目 単位互換協定に基づき修得した他大学開設科目特設講義				1					
小計 (253科目)	—	34	44-47	45	40		19		10	
合計 (268科目)	—	42	45-49	52	44		20		13	
卒業要件及び履修方法										
必修科目13単位を含む教養系科目36単位以上、及び必修科目42単位を含む学部専門系科目82単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:28単位(学期))										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- 時間割及び担当教員見直しのため
 - ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授3」から「准教授5」へ「助教6」から「助教7」に変更
 - ・「リメディアル演習」の配当年次を「1①②」から「1①」に、専任教員等の配置を「教授16」から「教授6」へ「准教授13」から「准教授5」へ「助教5」から「助教6」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1③④」から「1④」に変更
 - ・「知的財産概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「情報セキュリティ概論」の配当年次を「1③④」から「1③」に変更
 - ・「流体工学Ⅰ」の配当年次を「3①」から「3②」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「社会基盤工学概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「基礎水理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」に変更
 - ・「社会基盤工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・「社会基盤設計基礎」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更
 - ・「水理学及び演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「無機化学実験(工)」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更
- 教育課程の充実のため
 - ・「国際工学概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「兼任1」を配置
 - ・「国際工学事情」を追加し、専任教員等の配置に「兼任1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グローバルワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際テクノロジー・グローバルワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グローバルワーク・インターンシップA」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「国際マーケット・グローバルワーク・インターンシップB」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
- 科目名を見直し
 - ・「海外研修」を「国際研修」に変更
- プログラム長の交代のため
 - ・「工場実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「工場見学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「特別講義」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「海外英語研修」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「単位互換協定に基づき習得した他大学開設科目」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「特設講義」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更

【平成30年度】

- 担当教員見直しのため
 - ・「知的財産概論」の担当教員を「准教授1」から「兼1」に変更
 - ・「リメディアル演習」の担当教員を「教授6」から「教授4」へ「准教授5」から「准教授6」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「コンピュータ基礎」の担当教員を「助教2」から「助教0」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅰ」の担当教員を「教授2」から「教授1」へ「准教授3」から「准教授1」へ「助教1」から「助教0」に変更
 - ・「プログラミング基礎Ⅱ」の担当教員を「教授2」から「教授1」へ「准教授3」から「准教授1」へ「助教1」から「助教0」に変更
 - ・「人間支援感性科学概論」の担当教員を「教授4」から「教授3」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「芸術コミュニケーション概論」の担当教員を「准教授3」から「准教授2」へ「兼0」から「兼1」に変更
 - ・「物理工学Ⅱ(解析力学)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
 - ・「物理工学Ⅲ(量子物理学)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授2」に変更
 - ・「材料科学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更
 - ・「電気化学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
 - ・「国際工学概論」の担当教員を「教授1」から「教授5」へ「准教授0」から「准教授2」へ「助教0」から「助教3」へ「兼1」から「兼0」に変更
- 助教採用のため
 - ・「建築学概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
 - ・「建築設計製図Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ「助教2」から「助教3」に変更
- 時間割見直しのため
 - ・「社会基盤応用数理及び演習Ⅰ」の配当年次を「3②」から「3①」に変更
 - ・「社会基盤数理工学」の配当年次を「3②」から「3①」に変更
 - ・「応用力学Ⅰ」の配当年次を「3①」から「3②」に変更
 - ・「応用力学演習Ⅰ」の配当年次を「3①」から「3②」に変更
 - ・「測量実習(工)」の配当年次を「3①」から「3①～②」に変更
 - ・「電計測」の配当年次を「3④」から「3③」に変更
 - ・「無機化学実験(工)」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
 - ・「物理化学実験(工)」の配当年次を「3④」から「3②」に変更
 - ・「有機化学実験(工)」の配当年次を「3④」から「3②」に変更
 - ・「有機反応化学」の配当年次を「3②」から「3①」に変更
 - ・「物理化学Ⅱ」の配当年次を「3②」から「3④」に変更
 - ・「無機工業化学」の配当年次を「3②」から「3①」に変更
 - ・「品質管理」の配当年次を「2④」から「2③」に変更
 - ・「物理化学Ⅲ」の配当年次を「3③」から「3①」に変更
 - ・「基礎材料物理学」の配当年次を「3①」から「3②」に変更
 - ・「基礎材料組織学」の配当年次を「3①」から「3②」に変更
 - ・「高分子科学」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
 - ・「ディベートⅠ」の配当年次を「2④」から「2①」に変更
 - ・「ディベートⅡ」の配当年次を「3④」から「3①」に変更
 - ・「ディベートⅢ」の配当年次を「4③」から「4①」に変更
 - ・「経営管理と社会的責任」の配当年次を「2③」から「2④」に変更
- 担当教員退職のため
 - ・「総合工学概論」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」へ「准教授1」を追加に変更
 - ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」へ「准教授2」から「助教7」から「助教6」に変更
 - ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更
 - ・「キャリアデザイン・インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」へ「准教授4」から「准教授3」へ「助教1」から「助教2」へ「兼2」を追加に変更
 - ・「協創経営概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」へ「兼1」を追加に変更
 - ・「課題解決インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」へ「助教1」と「兼1」を追加に変更
 - ・「課題解決インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」へ「助教1」と「兼1」を追加に変更
 - ・「課題解決インターンシップⅢ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」へ「助教1」と「兼1」を追加に変更
 - ・「アントレプレナーシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授1」から「准教授2」へ「兼1」を追加に変更
 - ・「ロジカルライティング」の専任教員等の配置の「教授1」を変更
 - ・「ロジカルスピーキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
 - ・「技術英語」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
 - ・「機械工学概論」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授0」に変更
 - ・「プログラミングAⅠ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」及び「准教授1」に変更
 - ・「プログラミングAⅡ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」及び「准教授1」に変更
 - ・「知能情報システム実験Ⅰ」の専任教員等の配置において「教授1」を変更し、「准教授7」から「准教授6」、「助教3」から「助教2」に変更
 - ・「マルチメディアコンピューティング」の専任教員等の配置において「准教授1」から「教授1」に変更

【令和元年度】

○担当教員見直しのため

- ・「総合技術科学演習」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」へ「准教授2」から「准教授6」に変更
- ・「技術者の心がまえ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
- ・「知的財産概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・「リメディアル演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教7」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
- ・「人間支援感性科学概論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授5」へ「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・「ビジネス統計学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
- ・「アントレプレナーシップⅡ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
- ・「経営管理と社会的責任」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」へ「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
- ・「ロジカルスピーキング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」へ「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「流体工学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・「社会基盤工学概論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
- ・「社会基盤工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
- ・「社会基盤設計基礎」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更
- ・「水理学及び演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」を「准教授0」へ「助教0」から「助教1」に変更
- ・「測量学実習(工)」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・「電子情報通信実験ⅣA」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」へ「准教授4」を「准教授6」へ「助教0」から「助教2」に変更
- ・「電子情報通信実験ⅣB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授6」へ「准教授4」を「准教授6」へ「助教1」から「助教2」に変更
- ・「プログラミングBⅠ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・「プログラミングBⅡ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」へ「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・「電子デバイスⅡ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・「画像情報工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」を「准教授0」に変更
- ・「電子物性工学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・「バイオメディカル・エンジニアリング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」へ「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「プログラミングAⅢ」の専任教員等の配置を「助教1」を「助教0」に変更
- ・「物理化学実験(工)」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・「反応速度論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・「物理化学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」へ「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・「固体化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」へ「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「放射化学(工)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」へ「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「国際工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授1」へ「准教授2」を「准教授0」へ「助教3」を「助教0」に変更

○時間割見直しのため

- ・「総合技術科学演習」の配当年次を「1②」から「1①②」に変更
- ・「技術者の心がまえ」の配当年次を「1④」から「1②」に変更
- ・「課題解決インターンシップⅠ」の配当年次を「3①」から「3④」に変更
- ・「課題解決インターンシップⅡ」の配当年次を「4①」から「4③」に変更
- ・「課題解決インターンシップⅢ」の配当年次を「4②」から「4④」に変更
- ・「経営管理と社会的責任」の配当年次を「2④」から「2②」に変更
- ・「リーダーシップ基礎」の配当年次を「4③」から「4②」に変更
- ・「技術評価」の配当年次を「4③」から「4①」に変更
- ・「動力学」の配当年次を「3①」から「3③」に変更
- ・「電気回路」の配当年次を「3①」から「3②」に変更
- ・「工業生化学」の配当年次を「3④」から「2④」に変更
- ・「生体分子工学」の配当年次を「4①」から「3①」に変更
- ・「生物材料工学」の配当年次を「4②」から「3②」に変更
- ・「高分子科学」の配当年次を「3③」から「2④」に変更
- ・「高分子材料化学」の配当年次を「4①」から「3①」に変更
- ・「機能性高分子材料」の配当年次を「4③」から「3③」に変更
- ・「論理回路」の配当年次を「3②」から「3③」に変更
- ・「データ工学」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
- ・「アシティブ・テクノロジー」の配当年次を「3③」から「3④」に変更
- ・「プログラミングAⅢ」の配当年次を「3④」から「3②」に変更
- ・「バイオメディカル・エンジニアリング」の配当年次を「3④」から「3①」に変更
- ・「拡散操作Ⅰ」の配当年次を「3①」から「3②」に変更

○教育課程の充実のため

- ①選択必修科目の電子情報通信パッケージに
- ・「電子情報通信概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授4」、「准教授3」及び「助教1」を配置
 - ・「知能情報システム概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授6」及び「准教授2」を配置
 - ・「物理工学Ⅳ(熱・統計力学)」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「電気回路演習Ⅰ」を追加し、専任教員等の配置に「准教授1」を配置
 - ・「電磁気学演習Ⅰ」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「准教授1」を配置
 - ・「電磁気学演習Ⅱ」を追加し、専任教員等の配置に「准教授2」を配置
 - ・「電気回路演習Ⅱ」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「電気機器」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「電波・電気通信法規」を追加し、専任教員等の配置に「兼任・兼任1」を配置
 - ・「発光電工学」を追加し、専任教員等の配置に「准教授1」を配置
 - ・「高電圧工学」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置
 - ・「電気法規・施設管理」を追加し、専任教員等の配置に「准教授1」を配置
- ②選択必修科目の知能情報システムパッケージに
- ・「電子情報通信概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授4」、「准教授3」及び「助教1」を配置
 - ・「知能情報システム概論」を追加し、専任教員等の配置に「教授6」及び「准教授2」を配置
- ③選択必修科目の化学システム工学パッケージに
- ・「基礎無機化学」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」及び「准教授1」を配置
 - ・「基礎有機化学」を追加し、専任教員等の配置に「教授2」を配置
- ④選択必修科目の材料科学パッケージに
- ・「物理数学」を追加し、専任教員等の配置に「教授1」を配置

- (注) ・ 2(1)①-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	240 科目	0 科目	262 科目	22 科目	263 科目	0 科目	285 科目	
				[]	[23]	[]	[23]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{262} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科> (各プログラム共通)

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自修	准教授	講師	助教		
英語 教養教育に関する科目	アカデミック英語 (リーディング)	1①~②	1						2	
	アカデミック英語 (リスニング)	1①~②	1						12	
	基礎英語	1・2③~④	1						13	
	アカデミック英語 (ライティング)	1・2③~④	1						2	
	理工英語読解	1・2・3・4①~④		1					12	
	応用英語	1・2・3・4①~④		2					3	
	入門医療英語	1・2・3・4①~④		1					2	
	発展英語	1・2・3・4①~④		2					1	
	英語表現セミナーA	1・2・3・4①~④		2					1	
	実践英語	1・2・3・4①~④		1					3	
	Combination Class : Content & Skills 1	1・2・3・4①~④		1					2	
	Topic Based Presentation Skills	1・2・3・4①~④		1					2	
	Combination Class : Content & Skills 2	1・2・3・4①~④		1					2	
	Intercultural Communication 1	1・2・3・4①~④		1					1	
	Intercultural Communication 2	1・2・3・4①~④		1					1	
	Content Lecture	1・2・3・4①~④		1					1	
	Language Lab 2	1・2・3・4①~④		1					1	
	Topic Based Research Project Class	1・2・3・4①~④		1					2	
	小計 (18科目)		-	4	17					46

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自修	准教授	講師	助教	
英語 教養教育に関する科目	アカデミック英語 R 1	1・2①	0.6						31
	アカデミック英語 R 2	1・2②	0.6						31
	アカデミック英語 L 1	1・2①	0.6						20
	アカデミック英語 L 2	1・2②	0.6						20
	基礎英語	1・2③~④	1						24
	アカデミック英語 W	1・2①~②	1						26
	理工英語読解	1・2・3・4①~④		1					4
	応用英語	1・2・3・4①~④		2					6
	医療英語ベーシック	1・2・3・4①~④		2					13
	医療英語	1・2・3・4①~④		2					29
	発展英語	1・2・3・4①~④		2					25
	英語表現セミナーA	1・2・3・4①~④		2					1
	実践英語	1・2・3・4①~④		1					3
	iStep (Level 1) Academic Reading	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 1) Academic Writing	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 1) Academic Listening & Speaking	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 1) Presentations	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 2) Academic Reading	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 2) Academic Writing	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 2) Academic Listening & Speaking	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 2) Presentations	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 3) Academic Reading	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 3) Academic Writing	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 3) Academic Listening & Speaking	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep (Level 3) Presentations	1・2・3・4②		0.5					1
	iStep Continuation:Academic Listening&Speaking	1・2・3・4②		1					1
	iStep Continuation:Academic Reading	1・2・3・4②		1					1
	iStep Continuation:Academic Writing	1・2・3・4②		1					1
	iStepContinuation:InterculturalCommunication	1・2・3・4②		1					1
	iStepContinuation:OralCommunication	1・2・3・4②		1					1
	iStepContinuation:Presentation	1・2・3・4②		1					1
	英語表現セミナーB	1・2・3・4②		2					1
	英語表現セミナーC	1・2・3・4②		2					1
	共通英語	1・2・3・4②		1					1
	P. A. C. E. (Academic Listening & Speaking)	2①		0.5					4
	P. A. C. E. (Academic Reading I)	2①		0.5					4
	P. A. C. E. (Academic Reading II)	2②		0.5					4
	P. A. C. E. (Academic Writing I)	2①		0.5					4
	P. A. C. E. (Academic Writing II)	2②		0.5					4
	P. A. C. E. (Oral Communication)	2①		0.5					4
	P. A. C. E. (Presentation Skills)	2③~④		1					4
	P. A. C. E. (Research Skills)	2③~④		1					4
	P. A. C. E. (Research Writing Skills)	2③~④		1					4
	EAP: Academic Debate	1・2・3・4②		1					1
	EAP: Academic Listening	1・2・3・4②		0.5					1
	EAP: Academic Listening & Speaking	1・2・3・4②		0.5					1
	EAP: Academic Listening Skills	1・2・3・4②		1					1
	EAP: Academic Oral Communication	1・2・3・4②		1					1
	EAP: Academic Presentation Skills	1・2・3・4②		1					1
小計 (49科目)		-	4	40					82

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自修	准教授	講師	助教	助手	
初修外国語 教養教育に関する科目	外国語ベーシック I (1) 独語仏語伊語	1・2①~②		2						3
	外国語ベーシック I (2) 独語西語露語	1・2①~②		2						3
	外国語ベーシック I (3) 独語仏語中語	1・2①~②		2						3
	外国語ベーシック I (4) 中語朝語(ハ) 中語	1・2①~②		2						3
	外国語ベーシック I (5) (文字論)	1・2①~②		2						1
	ドイツ語インテンシブ I	1・2①~②		4						3
	ドイツ語インテンシブ II	1・2③~④		4						3
	ドイツ語スタンダード I	1・2①~②		3						4
	ドイツ語スタンダード II	1・2③~④		3						4

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自修	准教授	講師	助教	助手		
初修外国語 教養教育に関する科目	EAP: Academic Reading Skills	1・2・3・4①~②		1							1
	EAP: Academic Writing	1・2・3・4③		0.5							2
	EAP: Academic Writing Skills	1・2・3・4③④		1							2
	EAP: Creative Writing	1・2・3・4④		0.5							2
	EAP: Cultural Studies	1・2・3・4①~②		1							2
	EAP: Culture and Society	1・2・3・4②③		0.5							2
	EAP: Data Science for Research Writing	1・2・3・4④		1							1
	EAP: Intercultural Communication	1・2・3・4①~②		1							1
	EAP: Law & Society	1・2・3・4①~②		1							1
	EAP: Oral Communication	1・2・3・4②③		0.5							2
	EAP: Presentation	1・2・3・4②③		0.5							2
	EAP: Pronunciation A	1・2・3・4④		1							1
	EAP: Pronunciation B	1・2・3・4②		1							1
	EAP: Reading Skills	1・2・3・4②③		0.5							1
	EAP: Research Report Writing Skills	1・2・3・4③④		1							2
	EAP: Research Writing	1・2・3・4②③		0.5							1
	EAP: Speaking Practicum	1・2・3・4②③		0.5							1
	EAP: Topic Based Speaking	1・2・3・4②③		0.5							1
	実践英語セミナー	1・2・3・4①~②		2							1
	外国語ベーシック I-1a (ドイツ語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-1b (フランス語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-2a (フランス語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-2b (ドイツ語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-3a (中国語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-3b (インドネシア語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-3b (朝鮮語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-4a (朝鮮語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-4a (インドネシア語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-4a (朝鮮語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-4b (中国語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-5a (ドイツ語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-5b (スペイン語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-6a (スペイン語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-6b (ドイツ語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-7a (ドイツ語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-7b (イタリア語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-8a (イタリア語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-8b (ドイツ語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-9a (フランス語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-9b (ロシア語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-10a (ロシア語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-10b (フランス語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-11a (中国語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-11b (インドネシア語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-12a (インドネシア語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-12b (中国語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-14a (古代ローマ帝国ラテン語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-14b (古典古代ギリシア語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-15a (ドイツ語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-15b (中国語)	1・2②		1							1
	外国語ベーシック I-16a (中国語)	1・2①		1							1
	外国語ベーシック I-16b (ドイツ語)	1・2②		1							1
	ドイツ語インテンシブ IA	1・2①		2							4
	ドイツ語インテンシブ IB	1・2②		2							4
	ドイツ語インテンシブ II	1・2③~④		4							4
	ドイツ語スタンダード IA	1・2①		1.5							8
	ドイツ語スタンダード IB	1・2②		1.5							8
	ドイツ語スタンダード II	1・2③~④		3							8

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
教養教育に関する科目	初修外国語	ドイツ語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							6
	コミュニケーション・ドイツ語A	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語B	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語C	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語D	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語F	1・2③~④	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語H	1・2③~④	2							1	
	ドイツ語セミナーA	1・2①~②	2							1	
	ドイツ語セミナーB	1・2①~②	2							1	
	ドイツ語セミナーC	1・2③~④	2							1	
	ドイツ語セミナーD	1・2③~④	2							1	
	フランス語インテンシブⅠ	1・2①~②	4							1	
	フランス語インテンシブⅡ	1・2③~④	4							1	
	フランス語スタンダードⅠ	1・2①~②	3							3	
	フランス語スタンダードⅡ	1・2③~④	3							3	
	フランス語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							2	
	コミュニケーション・フランス語C	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・フランス語H	1・2③~④	2							1	
	ロシア語インテンシブⅠ	1・2①~②	4							1	
	ロシア語インテンシブⅡ	1・2③~④	4							1	
	ロシア語スタンダードⅠ	1・2①~②	3							1	
	ロシア語スタンダードⅡ	1・2③~④	3							1	
	ロシア語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							1	
	コミュニケーション・ロシア語B	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ロシア語C	1・2③~④	2							1	
	ロシア語セミナーA	1・2①~②	2							1	
	中国語インテンシブⅠ	1・2①~②	4							2	
	中国語インテンシブⅡ	1・2③~④	4							2	
	中国語スタンダードⅠ	1・2①~②	3							5	
	中国語スタンダードⅡ	1・2③~④	3							5	
中国語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							1		
コミュニケーション・中国語A	1・2①~②	2							1		
コミュニケーション・中国語B	1・2①~②	2							1		
コミュニケーション・中国語D	1・2③~④	2							1		
コミュニケーション・中国語F	1・2③~④	2							1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
教養教育に関する科目	初修外国語	ドイツ語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							6
	ドイツ語ベーシックプラスA	1・2①~②	2							1	
	ドイツ語ベーシックプラスB	1・2③~④	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語A	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語B	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語C	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語E	1・2③~④	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語F	1・2③~④	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語G	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・ドイツ語H	1・2③~④	2							1	
	ドイツ語セミナーA	1・2①~②	2							1	
	ドイツ語セミナーB	1・2①~②	2							1	
	ドイツ語セミナーC	1・2③~④	2							1	
	ドイツ語セミナーD	1・2③~④	2							1	
	フランス語インテンシブⅠA	1・2①	2							3	
	フランス語インテンシブⅠB	1・2②	2							3	
	フランス語インテンシブⅡ	1・2③~④	4							3	
	フランス語スタンダードⅠA	1・2①	1.5							6	
	フランス語スタンダードⅠB	1・2②	1.5							6	
	フランス語スタンダードⅡ	1・2③~④	3							6	
	フランス語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							4	
	フランス語ベーシックプラスA	1・2①~②	2							1	
	フランス語ベーシックプラスB	1・2③~④	2							1	
	コミュニケーション・フランス語A	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・フランス語B	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・フランス語C	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・フランス語D	1・2①~②	2							1	
	コミュニケーション・フランス語E	1・2③~④	2							1	
	コミュニケーション・フランス語F	1・2③~④	2							1	
	コミュニケーション・フランス語G	1・2③~④	2							1	
コミュニケーション・フランス語H	1・2③~④	2							1		
フランス語セミナーA	1・2①~②	2							2		
フランス語セミナーB	1・2①~②	2							2		
ロシア語インテンシブⅠA	1・2①	2							2		
ロシア語インテンシブⅠB	1・2②	2							2		
ロシア語インテンシブⅡ	1・2③~④	4							2		
ロシア語スタンダードⅠA	1・2①	1.5							2		
ロシア語スタンダードⅠB	1・2②	1.5							2		
ロシア語スタンダードⅡ	1・2③~④	3							2		
ロシア語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							1		
ロシア語ベーシックプラスA	1・2①~②	2							1		
ロシア語ベーシックプラスB	1・2③~④	2							1		
コミュニケーション・ロシア語A	1・2①~②	2							1		
コミュニケーション・ロシア語B	1・2①~②	2							1		
コミュニケーション・ロシア語C	1・2③~④	2							1		
ロシア語セミナーA	1・2①~②	2							1		
ロシア語セミナーB	1・2③~④	2							1		
中国語インテンシブⅠA	1・2①	2							3		
中国語インテンシブⅠB	1・2②	2							3		
中国語インテンシブⅡ	1・2③~④	4							3		
中国語スタンダードⅠA	1・2①	1.5							11		
中国語スタンダードⅠB	1・2②	1.5							11		
中国語スタンダードⅡ	1・2③~④	3							12		
中国語ベーシックⅡ	1・2③~④	3							2		
中国語ベーシックプラスA	1・2①~②	2							1		
中国語ベーシックプラスB	1・2③~④	2							1		
コミュニケーション・中国語A	1・2①~②	2							1		
コミュニケーション・中国語B	1・2①~②	2							1		
コミュニケーション・中国語C	1・2①~②	2							1		
コミュニケーション・中国語D	1・2③~④	2							1		
コミュニケーション・中国語E	1・2③~④	2							1		
コミュニケーション・中国語F	1・2③~④	2							1		
コミュニケーション・中国語J	1・2③~④	2							1		
コミュニケーション・中国語K	1・2③~④	2							1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
新潟大学個性化学科 授業教育に関する科目	地理情報システム (GIS) 概論・応用演習	1・2・3・4(3)	2			1				2	
	森・里・海フィールド実習	1・2・3・4(3)	1							8	
	中国語学特殊講義	1・2・3・4(3)	2							1	
	日本文化入門1	1・2・3・4(3)	2							7	
	日本文化入門2	1・2・3・4(2)	2							2	
	ピアサポート入門	1・2・3・4(3)	2							1	
	ダブルホーム活動入門	1・2・3・4(2)	2							1	
	ICT活用と価値の情報化A	1・2・3・4(2)	1							1	
	ICT活用と価値の情報化B	1・2・3・4(2)	1							1	
	アクティブラーニングI	1・2・3・4(2)(3)	2							1	
	アクティブラーニングII	1・2・3・4(2)(3)	2							1	
	アクティブラーニングIII	1・2・3・4(2)(3)	2							1	
	小計 (70科目)	—	—	133	4	5					93
	留学生基本科目	日本語A	1・2・3・4(2)	1							1
		日本語B	1・2・3・4(2)	1							1
		日本語C	1・2・3・4(2)	1							1
		日本語D	1・2・3・4(2)	1							1
		日本語E	1・2・3・4(3)	1							1
		日本語F	1・2・3・4(3)	1							1
		日本語G	1・2・3・4(3)	1							1
日本語H		1・2・3・4(3)	1							1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
新潟大学個性化学科 授業教育に関する科目	地理情報システム (GIS) 概論・応用演習	1・2・3・4(2)	2			1				4	
	中国語発音特講演習	1・2・3・4(2)	1							1	
	中国語文法特講A	1・2・3・4(2)	2							1	
	中国語文法特講B	1・2・3・4(2)	2							1	
	森・里・海フィールド実習	1・2・3・4(2)	1							9	
	日本文化入門1	1・2・3・4(2)	2							8	
	日本文化入門2	1・2・3・4(2)	2							5	
	ピアサポート入門	1・2・3・4(2)	2							2	
	ダブルホーム活動入門I	1・2・3・4(2)	1							4	
	ダブルホーム活動入門II	1・2・3・4(2)	1							4	
	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムI	1・2・3・4(2)	2							2	
	1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムII	1・2・3・4(2)	4							2	
	Chinese Politics and Diplomacy	1・2・3・4(2)	2							1	
	Japanese Experiences from Various Perspectives	1・2・3・4(2)	2							1	
	P.F. ドラッカー理論とそこから学ぶキャリアデザイン	1・2・3・4(2)	2							2	
	Regionalism in the Asia-Pacific Region	1・2・3・4(2)	2							1	
	アクティブラーニングA	1・2・3・4(2)(3)	1							1	
	アクティブラーニングB	1・2・3・4(2)(3)	1							1	
	アクティブラーニングC	1・2・3・4(2)(3)	1							1	
	オックスフォード大学英語研修	1・2・3・4(2)	2							1	
	パフォーマンスの外国語	1・2・3・4(2)	2							1	
	フィリピンALLC英語研修	1・2・3・4(2)	4							1	
	フランス言語文化海外研修	1・2・3・4(2)	2							1	
	メンタルヘルスを考えよう	1・2・3・4(2)	1							1	
	新聞を体験する—新潟日報との連携授業—	1・2・3・4(2)	2							2	
	西洋カリグラフィーA	1・2・3・4(2)	1							1	
	税のしくみから社会を考える	1・2・3・4(2)	2							8	
	中東イスラーム言語文化入門	1・2・3・4(2)	2							1	
	日本と外国人	1・2・3・4(2)(3)	1							1	
	変遷する社会課題と私たち～科学技術と地球環境	1・2・3・4(2)	2							3	
	留学生と考える日台交流史	1・2・3・4(2)	2							1	
	留学生と考える日中交流史	1・2・3・4(2)	2							1	
	日本漢学A-1	1・2・3・4(2)	1							2	
	日本漢学A-2	1・2・3・4(2)	1							2	
	日本漢学B	1・2・3・4(2)	1							2	
	小計 (123科目)	—	—	235	6	7					176
	留学生基本科目	JLPT-NI A	1・2・3・4(2)	1							3
		JLPT-NI B	1・2・3・4(2)	1							3
		JLPT-NI C	1・2・3・4(2)	1							3
		JLPT-NI D	1・2・3・4(2)	1							3
N 2 作文A		1・2・3・4(2)	1							2	
N 2 作文B		1・2・3・4(2)	1							2	
N 2 作文C		1・2・3・4(2)	1							2	
N 2 作文D		1・2・3・4(2)	1							2	
N 2 読解A		1・2・3・4(2)	1							2	
N 2 読解B		1・2・3・4(2)	1							3	
N 2 読解C		1・2・3・4(2)	1							2	
N 2 読解D		1・2・3・4(2)	1							3	
N 2 読解A		1・2・3・4(2)	1							1	
N 2 読解B		1・2・3・4(2)	1							2	
N 2 読解C		1・2・3・4(2)	1							1	
N 2 読解D		1・2・3・4(2)	1							2	
N 3 作文A		1・2・3・4(2)	1							2	
N 3 作文B		1・2・3・4(2)	1							2	
N 3 作文C		1・2・3・4(2)	1							2	
N 3 作文D		1・2・3・4(2)	1							2	
N 3 読解A		1・2・3・4(2)	1							1	
N 3 読解B		1・2・3・4(2)	1							1	
N 3 読解C		1・2・3・4(2)	1							1	
N 3 読解D		1・2・3・4(2)	1							1	
N 3 読解A		1・2・3・4(2)	1							1	
N 3 読解B		1・2・3・4(2)	1							1	
N 3 読解C		1・2・3・4(2)	1							1	
N 3 読解D		1・2・3・4(2)	1							1	
N 4 作文A		1・2・3・4(2)	1							2	
N 4 作文B		1・2・3・4(2)	1							2	
N 4 作文C		1・2・3・4(2)	1							2	
N 4 作文D		1・2・3・4(2)	1							2	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教		助手	
												修
教養教育に関する科目	対人行動の心理学	1-2-3-43(4)		2							1	
	知識のバルナツス論	1-2-3-43(2)		2							1	
	哲学への招待	1-2-3-43(4)		2							1	
	哲学演習	1-2-3-43(4)		2							1	
	日本近代文学D	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本古典文学K	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本古典文学N	1-2-3-43(4)		2							2	
	日本語教育I-A	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本語教育I-B	1-2-3-43(4)		2							1	
	日本語教育II-A	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本語教育II-B	1-2-3-43(4)		2							1	
	日本文化論	1-2-3-43(4)		2							2	
	日本文化論演習B	1-2-3-43(4)		2							1	
	乳幼児心理学	1-2-3-43(4)		2							1	
	認知と行動	1-2-3-43(2)		2							1	
	紛争の心理学	1-2-3-43(4)		2							1	
	文学D	1-2-3-43(4)		2							1	
	領域融合・超域科目A	1-2-3-43(2)		2							9	
	領域融合・超域科目B	1-2-3-43(4)		2							9	
	領域融合・超域科目E	1-2-3-43(4)		2							1	
	領域融合・超域科目G	1-2-3-43(4)		2							5	
	領域融合・超域科目I	1-2-3-43(4)		2							1	
	領域融合・超域科目P	1-2-3-43(2)		2							2	
	臨床心理学入門	1-2-3-43(4)		2							1	
	歴史学G	1-2-3-43(4)		2							1	
	歴史学I	1-2-3-43(2)		2							1	
	歴史学K	1-2-3-43(4)		2							1	
	歴史学Q	1-2-3-43(4)		2							1	
	歴史学S	1-2-3-43(4)		2							1	
	歴史学W	1-2-3-43(2)		2							1	
	美術史	1-2-3-43(4)		2							1	
	芸術論入門	1-2-3-43(2)		2							1	
	リーガル・システムA	1-2-3-43(2)		2							9	
	リーガル・システムB	1-2-3-43(2)		2							9	
	日本国憲法B	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本国憲法D	1-2-3-43(4)		2							1	
	特殊講義(戦後政治)	1-2-3-43(4)		2							1	
	税法入門	1-2-3-43(2)		2							1	
	まちづくり論入門	1-2-3-43(4)		2							1	
	アジア経済入門	1-2-3-43(2)		2							1	
	ロシア政治経済入門	1-2-3-43(4)		2							1	
	小計(70科目)			140		1	1					74

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教		助手	
												修
教養教育に関する科目	西洋文学L II	1-2-3-43(4)		2							1	
	哲学入門	1-2-3-43(2)		2							2	
	日本近代文学H	1-2-3-43(4)		2							1	
	日本古典文学N	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本語教育I-A	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本語教育I-B	1-2-3-43(4)		2							1	
	日本文化史	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本文化論	1-2-3-43(2)		2							1	
	乳幼児心理学	1-2-3-43(4)		2							1	
	認知と行動	1-2-3-43(2)		2							1	
	文学D	1-2-3-43(4)		2							1	
	文学E	1-2-3-43(2)		2							1	
	領域融合・超域科目A	1-2-3-43(4)		2							1	
	領域融合・超域科目J	1-2-3-43(2)		2							8	
	領域融合・超域科目N	1-2-3-43(4)		2							11	
	領域融合・超域科目Q	1-2-3-43(4)		2							1	
	領域融合・超域科目R	1-2-3-43(2)		2							1	
	領域融合・超域科目S	1-2-3-43(2)		2							6	
	倫理学入門	1-2-3-43(4)		2							1	
	臨床心理学概論	1-2-3-43(2)		2							1	
	歴史学H	1-2-3-43(2)		2							1	
	歴史学I	1-2-3-43(4)		2							1	
	歴史学Q	1-2-3-43(4)		2							1	
	歴史学S	1-2-3-43(2)		2							1	
	歴史学V	1-2-3-43(4)		2							1	
	教養を考える	1-2-3-43(2)		2							3	
	教養教育としての教育学入門	1-2-3-43(4)		2							1	
	美術史	1-2-3-43(2)		2							1	
	リーガル・システム	1-2-3-43(2)		2							1	
	リーガル・システムA	1-2-3-43(4)		2							1	
	リーガル・システムB	1-2-3-43(2)		2							1	
	日本国憲法	1-2-3-43(2)		2							2	
	特殊講義(コンプライアンス)	1-2-3-43(2)		2							1	
	特殊講義(政策過程論)	1-2-3-43(2)		2							1	
	英語で学ぶアジア経済	1-2-3-43(4)		1							1	
	英語で学ぶ企業分析入門	1-2-3-43(4)		1							1	
	英語による応用ミクロ経済学	1-2-3-43(4)		2							1	
	組織マネジメント論	1-2-3-43(4)		2							1	
	知的財産法II(産業財産法)	1-2-3-43(2)		2							1	
	地域学を身に着け教員を目指そう	1-2-3-43(2)		2							1	
	地域芸術開発論	1-2-3-43(4)		2							7	
	水形面表現入門	1-2-3-43(2)		2							1	
	生涯学習概論	1-2-3-43(4)		2							1	
	小計(88科目)			176		2	1					86

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
医学教育に関する科目	医学序説Ⅰ	1・2・3・4(2)	2							1
	医学序説Ⅱ	1・2・3・4(3/4)	2							1
	健康と医学	1・2・3・4(3/4)	2							4
	メディカルサイエンス	1・2・3・4(3/4)	1							1
	生命倫理	1・2・3・4(3/4)	1							1
	医事法制	1・2・3・4(3/4)	1							1
	社会保険	1・2・3・4(3/4)	1							1
	病院管理学	1・2・3・4(3/4)	1							1
	医療と画像技術	1・2・3・4(3/4)	2							7
	医学と医療の歴史	1・2・3・4(3/4)	2							7
	ケアの基本理念と実際	1・2・3・4(3/4)	2							11
	先端医学研究概説	1・2・3・4(2)	2							1
	医療と放射線	1・2・3・4(2)	2							6
	医療と法	1・2・3・4(2)	2							7
	医療ボランティア論	1・2・3・4(3/4)	1							2
	顔	1・2・3・4(3/4)	2							3
	健康福祉学入門	1・2・3・4(2)	2							14
	新潟免福祉学	1・2・3・4(3/4)	2							7
	「食べる」	1・2・3・4(2)	2							1
小計 (19科目)			32							70
合計 (348科目)			6	679	50	33	7			389

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
医学教育に関する科目	医学序説Ⅰ	1・2・3・4(2)	2							15
	医学序説Ⅱ	1・2・3・4(3/4)	2							15
	健康と医学	1・2・3・4(3)	2							6
	医療と画像技術	1・2・3・4(3)	2							6
	医学と医療の歴史	1・2・3・4(3)	2							7
	ケアの基本理念と実際	1・2・3・4(3)	2							13
	先端医学研究概説	1・2・3・4(2)	2							1
	医療と放射線	1・2・3・4(2)	2							6
	医療と法	1・2・3・4(2)	2							6
	医療ボランティア論	1・2・3・4(3)	1							4
	顔	1・2・3・4(3)	2							12
	健康福祉学入門	1・2・3・4(2)	2							14
	新潟免福祉学	1・2・3・4(3)	2							10
	「食べる」	1・2・3・4(2)	2							15
	医学論文を読む (ジャーナルクラブ) A	1・2・3・4(2)	2							7
	医学論文を読む (ジャーナルクラブ) B	1・2・3・4(2)	2							3
	人間工学論	1・2・3・4(2)	2							1
	インターネットチュートリアル	1・2・3・4(2)	1							4
	小計 (18科目)			34						
合計 (810科目)			15	1006	50	49	19			600

【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	助教	准教授	講師	助手	
教養教育に関する科目	アカデミック英語R1	1・2①	0.5							32
	アカデミック英語R2	1・2②	0.5							32
	アカデミック英語L1	1・2①	0.5							19
	アカデミック英語L2	1・2②	0.5							19
	基礎英語	1・2③~④	1							25
	アカデミック英語W	1・2①~②	1							26
	理工英語読解	1・2・3・4①~②~③~④		1						12
	応用英語	1・2・3・4①~②~③~④		2						6
	入門医療英語	1・2・3・4③~④		1						9
	発展英語	1・2・3・4①~②~③~④		2						16
	英語表現セミナーA	1・2・3・4①~②~③~④		2						1
	実践英語	1・2・3・4③~④		1						3
	IStep Continuation: Academic Presentations Term 3	1・2・3・4③		1						1
	IStep Continuation: Academic Presentations Term 4	1・2・3・4④		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Listening & Speaking Term 3	1・2・3・4③		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Listening & Speaking Term 4	1・2・3・4④		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Writing A Term 3	1・2・3・4③		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Writing A Term 4	1・2・3・4④		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Writing B Term 3	1・2・3・4③		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Writing B Term 4	1・2・3・4④		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Writing C Term 3	1・2・3・4③		1						1
	IStep Continuation: Advanced Academic Writing C Term 4	1・2・3・4④		1						1
	IStep Continuation: Advanced Presentations Term 3	1・2・3・4③		1						2
	IStep Continuation: Advanced Presentations Term 4	1・2・3・4④		1						1
	IStep Continuation: Advanced Reading Term 3	1・2・3・4③		0.5						1
IStep Continuation: Advanced Reading Term 4	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep Continuation: Advanced Topic Based Speaking Term 3	1・2・3・4③		0.5						1	
IStep Continuation: Advanced Topic Based Speaking Term 4	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep Continuation: Intercultural Communication Term 3	1・2・3・4③		0.5						3	
IStep Continuation: Intercultural Communication Term 4	1・2・3・4④		0.5						2	
IStep Continuation: Scientific Method for Academic Writing O Term 3	1・2・3・4③		0.5						1	
IStep Continuation: Scientific Method for Academic Writing O Term 4	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 3	1・2・3・4③		0.5						1	
IStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 4	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 3	1・2・3・4③		0.5						1	
IStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 4	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand1) Academic Listening&Speaking	1・2・3・4③		0.5						1	
IStep (Strand1) Academic Reading	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand1) Academic Writing	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand1) Presentation	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand2) Intercultural Communication	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand2) Listening&Speaking	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand2) Oral Communication	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand2) Presentation	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand3) Academic Reading1	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand3) Academic Reading2	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand3) Academic Writing1	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep (Strand3) Academic Writing2	1・2・3・4④		0.5						1	
IStep Continuation: Academic Listening&Speaking	1・2・3・4③~④		1						1	
IStep Continuation: Academic Reading	1・2・3・4③~④		1						1	
IStep Continuation: Academic Writing	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Intercultural Communication	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Oral Communication	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Presentation	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Pronunciation	1・2・3・4③~④		1						1	
Presentation 1	1・2・3・4④		1						1	
Presentation 2	1・2・3・4④		1						1	
英語表現セミナーB	1・2・3・4④~⑤		2						1	
英語表現セミナーC	1・2・3・4④~⑤		2						1	
共通英語	1・2・3・4④~⑤		1						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	助教	准教授	講師	助手	
教養教育に関する科目	アカデミック英語R1	1・2①	0.5							31
	アカデミック英語R2	1・2②	0.5							31
	アカデミック英語L1	1・2①	0.5							20
	アカデミック英語L2	1・2②	0.5							20
	基礎英語	1・2③~④	1							24
	アカデミック英語W	1・2①~②	1							26
	理工英語読解	1・2・3・4①~②~③~④		1						4
	応用英語	1・2・3・4①~②~③~④		2						6
	入門医療英語	1・2・3・4③~④		1						8
	発展英語	1・2・3・4①~②~③~④		2						25
	英語表現セミナーA	1・2・3・4①~②~③~④		2						1
	実践英語	1・2・3・4③~④		1						3
	IStep (Strand1) Academic Listening&Speaking	1・2・3・4③		0.5						1
	IStep (Strand1) Academic Reading	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand1) Academic Writing	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand1) Presentation	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand2) Intercultural Communication	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand2) Listening&Speaking	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand2) Oral Communication	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand2) Presentation	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand3) Academic Reading1	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand3) Academic Reading2	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand3) Academic Writing1	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep (Strand3) Academic Writing2	1・2・3・4④		0.5						1
	IStep Continuation: Academic Listening&Speaking	1・2・3・4③~④		1						1
IStep Continuation: Academic Reading	1・2・3・4③~④		1						1	
IStep Continuation: Academic Writing	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Intercultural Communication	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Oral Communication	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Presentation	1・2・3・4③~④		1						1	
IStepContinuation: Pronunciation	1・2・3・4③~④		1						1	
Presentation 1	1・2・3・4④		1						1	
Presentation 2	1・2・3・4④		1						1	
英語表現セミナーB	1・2・3・4④~⑤		2						1	
英語表現セミナーC	1・2・3・4④~⑤		2						1	
共通英語	1・2・3・4④~⑤		1						1	

【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					責任 単位 数
			必修	選択	自由	専任教授	准教授	講師	助教	助手	
新潟大学個性化科目 教養教育に関する科目	学校フィールドワークA	1・2・3・40-②	2								2
	学校フィールドワークB	1・2・3・40-③	4								2
	新潟から考える曹の科学と文化	1・2・3・40-④	2								1
	新潟での企業理念と経営戦略	1・2・3・40-⑤	2								1
	新潟地域研究	1・2・3・42	2								1
	文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅲ	1・2・3・40-⑥	2								2
	平和を考えるA	1・2・3・43②	2								4
	平和を考えるB	1・2・3・40-⑦	2				2				5
	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解 キャリア意識形成と自己成長	1・2・3・43② 1・2・3・43④	2 2								1 1
	異文化と技術	1・2・3・43④	1			4		2			
	研究者の仕事と生活 ユーザのための数学	1・2・3・43④ 1・2・3・43②	1 2								1 1
	文字文化論 社会とキャリア選択A 社会とキャリア選択B 大学生のための役に立つ育児学	未開講 1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 2 2 1								1 4 1 1
	日本語A 日本語B トキをシンボルとした自然再生 International Relations in the Asia-Pacific The China-Japan-US Trilateral Relations シンガポール・スプリングセミナー 中国留学準備講座 サマースミナー総合編	1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43②	2 2 2 2 2 2 2			1 1					3 3 9 1 1 1 2
	韓国サマースクールⅠ 韓国サマースクールⅡ 韓国サマースクールⅢ 共生社会論	1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43②	2 2 2 2								1 1 1 1
	多文化共生社会体験 in AUSTRALIA Ⅰ 多文化共生社会体験 in AUSTRALIA Ⅱ	1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 2								1 1
	表現プロジェクト演習D 表現プロジェクト演習F 表現プロジェクト演習G 表現プロジェクト演習H 表現プロジェクト演習I 表現プロジェクト演習J 表現プロジェクト演習N 表現プロジェクト演習P 表現プロジェクト演習Q 表現プロジェクト演習T 表現プロジェクト演習U	未開講 1・2・3・43② 1・2・3・40-⑧ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43② 1・2・3・43② 未開講 未開講 1・2・3・43④ 1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43②	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								1 2 2 2 1 1 1 2 2 1 2
	シンガポール・スプリングセミナー準備講座 朱鷺・自然再生フィールドワーク	1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 1								1 5
	北京サマースミナーⅠ 北京サマースミナーⅡ 北京サマースミナーⅢ カナダ・サマースミナーⅠ カナダ・サマースミナーⅡ リーダーシップ基礎演習 リーダーシップ実践演習 台湾スプリングセミナーⅠ 台湾スプリングセミナーⅡ 地理情報システム (GIS) 概論・演習	1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・40-⑨ 1・2・3・40-⑩ 1・2・3・40-⑩ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								2 2 2 1 1 2 2 5 5 3
	グローバルコミュニケーションA グローバルコミュニケーションC 感情と表象 地理情報システム (GIS) 概論・応用演習	1・2・3・43④ 1・2・3・40-⑪ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④	1 1 2 2								1 1 13 4
	森・里・海フィールド実習 中国語学特殊講義 日本文化入門1 日本文化入門2 ピアサポート入門 ダブルホーム活動入門	1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・40-⑫ 1・2・3・43④ 1・2・3・43②	1 2 2 2 2 2								7 2 8 2 2 4
	IoT活用と価値の情報化A IoT活用と価値の情報化B 1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅠ 1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅡ	未開講 1・2・3・43② 1・2・3・42 1・2・3・40-⑬	1 1 2 4								1 2 3 3

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					責任 単位 数
			必修	選択	自由	専任教授	准教授	講師	助教	助手	
新新潟大学個性化科目 教養教育に関する科目	学校フィールドワークA	1・2・3・40-②	2								2
	学校フィールドワークB	1・2・3・40-③	4								2
	新潟から考える曹の科学と文化	1・2・3・40-④	2								1
	新潟での企業理念と経営戦略	1・2・3・40-⑤	2								1
	新潟地域研究	1・2・3・42	2								1
	文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅲ	1・2・3・40-⑥	2								2
	平和を考えるA	1・2・3・43②	2								4
	平和を考えるB	1・2・3・40-⑦	2				2				5
	キャリア意識形成と自己成長	1・2・3・43④	2								1
	異文化と技術	1・2・3・43④	1			3		2			
	研究者の仕事と生活 ユーザのための数学	1・2・3・43④ 1・2・3・43②	1 2								1 1
	文字文化論 社会とキャリア選択A 社会とキャリア選択B 大学生のための役に立つ育児学	1・2・3・40-⑧ 1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 2 2 1								1 4 1 1
	日本語A 日本語B トキをシンボルとした自然再生 International Relations in the Asia-Pacific The China-Japan-US Trilateral Relations シンガポール・スプリングセミナー 中国留学準備講座 サマースミナー総合編	1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43②	2 2 2 2 2 2 2			1 1					3 3 9 1 1 1 2
	韓国サマースクールⅠ 韓国サマースクールⅡ 韓国サマースクールⅢ 共生社会論A 共生社会論B 多文化共生社会体験 in AUSTRALIA Ⅰ 多文化共生社会体験 in AUSTRALIA Ⅱ	1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43② 1・2・3・43② 1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 2 2 1 1 2 2								1 1 1 1 1 1 1
	表現プロジェクト演習D 表現プロジェクト演習F 表現プロジェクト演習G 表現プロジェクト演習H 表現プロジェクト演習I 表現プロジェクト演習J 表現プロジェクト演習N 表現プロジェクト演習P 表現プロジェクト演習Q 表現プロジェクト演習T 表現プロジェクト演習U	1・2・3・43② 1・2・3・43② 1・2・3・40-⑨ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43② 1・2・3・43② 1・2・3・40-⑩ 1・2・3・40-⑪ 1・2・3・43④ 1・2・3・43②	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								1 2 2 2 1 1 1 2 2 1 2
	シンガポール・スプリングセミナー準備講座 朱鷺・自然再生フィールドワーク	1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 1								1 5
	北京サマースミナーⅠ 北京サマースミナーⅡ 北京サマースミナーⅢ カナダ・サマースミナーⅠ カナダ・サマースミナーⅡ リーダーシップ基礎演習 リーダーシップ実践演習 台湾スプリングセミナーⅠ 台湾スプリングセミナーⅡ 地理情報システム (GIS) 概論・演習	1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・40-⑫ 1・2・3・40-⑬ 1・2・3・40-⑬ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2								2 2 2 1 1 2 2 5 5 3
	グローバルコミュニケーションA グローバルコミュニケーションC 感情と表象 地理情報システム (GIS) 概論・応用演習	1・2・3・43④ 1・2・3・40-⑭ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④	1 1 2 2								1 1 13 4
	森・里・海フィールド実習 中国語学特殊講義 日本文化入門1 日本文化入門2 ピアサポート入門 ダブルホーム活動入門	1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・43④ 1・2・3・40-⑮ 1・2・3・43④ 1・2・3・43②	1 2 2 2 2 2								7 2 8 2 2 4
	IoT活用と価値の情報化A IoT活用と価値の情報化B 1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅠ 1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅡ	1・2・3・40-⑯ 1・2・3・43② 1・2・3・42 1・2・3・40-⑰	1 1 2 4								1 2 3 3

【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記号 年度	単位数			専任教員等の配置					兼任 科目
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 手	他	
新潟大学個性化科目 授業教育に関する科目	Chinese Politic and Diplomacy	1-2-3-40-0	2								1
	Development of Environmental Policies of Japan	1-2-3-40-0	2								1
	HSK(漢語水平考試) 受験対策講座Ⅰ	1-2-3-40-0	2								1
	HSK(漢語水平考試) 受験対策講座Ⅱ	1-2-3-40-0	2								1
	Japanese Experiences from Various Perspectives	1-2-3-40-0	2								4
	Regionalism in the Asia-Pacific Region	1-2-3-40-0	2								1
	The North and the South over the Environment and Development	1-2-3-40-0	2								1
	アクティブラーニングA	1-2-3-40	1								1
	アクティブラーニングB	1-2-3-40	1								1
	アクティブラーニングC	1-2-3-40	2								1
	オックスフォード大学英語研修	1-2-3-40-0	2								1
	パフォーマンスの外国語	1-2-3-40-0	2								1
	フィリピンALLC英語研修	1-2-3-40-0	4								1
	メンタルヘルスを考える レーザー工学	1-2-3-40-0	2								1
	海外フィールド体験	1-2-3-40-0	2			1					1
	開発途上国の環境と開発：事例研究	1-2-3-40-0	2								1
	国際開発協力論：「開発」とは何かⅠ	1-2-3-40-0	2								1
	国際開発協力論：「開発」とは何かⅡ	1-2-3-40-0	2								1
	国際開発協力論：「開発」とは何かⅢ	1-2-3-40-0	2								1
	新聞を体験する－新潟日報との連携授業－ 人類共同体のための国際環境政策学	1-2-3-40-0	2								2
西洋カリグラフィA	1-2-3-40	1								1	
西洋カリグラフィB	1-2-3-40	1								1	
税のしくみから社会を考える	1-2-3-40	2								2	
中東イスラム言語文化入門	1-2-3-40-0	2								1	
電気電子工学	1-2-3-40-0	2								1	
日本と外国人	1-2-3-40	1								1	
変遷する社会課題と私たち～科学技術と地球環境	1-2-3-40	2								3	
留学生と考える日中交流史	1-2-3-40-0	2								1	
小計 (111科目)	-	-	218	4	5						136

科目区分	授業科目の名称	記号 年度	単位数			専任教員等の配置					兼任 科目
			必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 手	他	
新潟大学個性化科目 授業教育に関する科目	Chinese Politic and Diplomacy	1-2-3-40-0	2								1
	Development of Environmental Policies of Japan	1-2-3-40-0	2								1
	HSK(漢語水平考試) 受験対策講座Ⅰ	1-2-3-40-0	2								1
	HSK(漢語水平考試) 受験対策講座Ⅱ	1-2-3-40-0	2								1
	Japanese Experiences from Various Perspectives	1-2-3-40-0	2								4
	Regionalism in the Asia-Pacific Region	1-2-3-40-0	2								1
	The North and the South over the Environment and Development	1-2-3-40-0	2								1
	アクティブラーニングA	1-2-3-40	1								1
	アクティブラーニングB	1-2-3-40	1								1
	アクティブラーニングC	1-2-3-40	2								1
	オックスフォード大学英語研修	1-2-3-40-0	2								1
	パフォーマンスの外国語	1-2-3-40-0	2								1
	フィリピンALLC英語研修	1-2-3-40-0	4								1
	メンタルヘルスを考える レーザー工学	1-2-3-40-0	2								1
	海外フィールド体験	1-2-3-40-0	2								1
	開発途上国の環境と開発：事例研究	1-2-3-40-0	2								1
	国際開発協力論：「開発」とは何かⅠ	1-2-3-40-0	2								1
	国際開発協力論：「開発」とは何かⅡ	1-2-3-40-0	2								1
	国際開発協力論：「開発」とは何かⅢ	1-2-3-40-0	2								1
	新聞を体験する－新潟日報との連携授業－ 人類共同体のための国際環境政策学	1-2-3-40-0	2								2
西洋カリグラフィA	1-2-3-40	1								1	
西洋カリグラフィB	1-2-3-40	1								1	
税のしくみから社会を考える	1-2-3-40	2								2	
中東イスラム言語文化入門	1-2-3-40-0	2								1	
電気電子工学	1-2-3-40-0	2								1	
日本と外国人	1-2-3-40	1								1	
変遷する社会課題と私たち～科学技術と地球環境	1-2-3-40	2								3	
留学生と考える日中交流史	1-2-3-40-0	2								1	
日本酒学A-1	1-2-3-40	1								1	
日本酒学A-2	1-2-3-40	1								1	
日本酒学B	1-2-3-4	1								1	
小計 (114科目)	-	-	215	4	6						135

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教員	非常勤	講師	助教授	助手
医学 歯学 教育に関する科目	医学論文を読む(ジャーナルクラブ) B	1・2・3・40-0		2						1
	インターネットテュートリアル	1・2・3・40-0		1						4
	小計(22科目)	—		37						85
	合計(636科目)	—	15	1184	42	27	11			345

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置				
			必修	選択	自由	教員	非常勤	講師	助教授	助手
医学 歯学 教育に関する科目	医学論文を読む(ジャーナルクラブ) B	1・2・3・40-0		2						1
	インターネットテュートリアル	1・2・3・40-0		1						4
	小計(22科目)	—		37						73
	合計(636科目)	—	15	1176	44	34	11			489

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・クォーター制移行により、「アカデミック英語 R 1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「アカデミック英語 R 2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「アカデミック英語 L 1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「アカデミック英語 L 2」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「基礎英語」の教員配置を「兼任・兼任13」から「兼任・兼任25」に変更
- ・クォーター制移行により、「アカデミック英語W」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「応用英語」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任6」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「入門医療英語」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任9」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「発展英語」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任16」に変更
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Academic Presentations Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Academic Presentations Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Listening & Speaking Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Listening & Speaking Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Writing A Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Writing A Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Writing B Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Writing B Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Writing C Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Academic Writing C Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Presentations Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Presentations Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Reading Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Reading Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Topic Based Speaking Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Advanced Topic Based Speaking Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Intercultural Communication Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Intercultural Communication Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Scientific Method for Academic Writing C Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Scientific Method for Academic Writing C Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「iStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「Presentation 1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「Presentation 2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「英語表現セミナーB」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「英語表現セミナーC」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「共通英語」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「実践英語セミナー」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-1a (ドイツ語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-1b (フランス語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-2a (フランス語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-2b (ドイツ語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-3a (中国語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-3b (インドネシア語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-4a (インドネシア語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-4b (中国語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-5a (ドイツ語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-5b (スペイン語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-6a (スペイン語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-6b (ドイツ語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-7a (ドイツ語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-7b (イタリア語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-8a (イタリア語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-8b (ドイツ語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-9a (フランス語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-9b (ロシア語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-10a (ロシア語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-10b (フランス語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-11a (中国語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-11b (朝鮮語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-12a (朝鮮語)」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「外国語ベーシック I-12b (中国語)」を新規開設

【平成29年度】

- ・教育課程の充実のため、「コミュニケーション・ロシア語A」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「ロシア語セミナーB」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語インテンシブI1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語インテンシブI2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語インテンシブII1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語インテンシブII2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードI1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードI2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードI3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードI4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードI5」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードI6」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードI7」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードII1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードII2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードII3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードII4」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードII5」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードII6」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「中国語スタンダードII7」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「中国語ベーシックII」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育課程の充実のため、「コミュニケーション・中国語C」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「コミュニケーション・中国語E」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「コミュニケーション・中国語G」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「コミュニケーション・中国語H」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「コミュニケーション・中国語J」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語セミナーA」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語セミナーB」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語セミナーC」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語セミナーD」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語セミナーK」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語セミナーL」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「朝鮮語スタンダードI1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「朝鮮語スタンダードI2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「朝鮮語スタンダードI3」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「朝鮮語スタンダードII1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「朝鮮語スタンダードII2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「朝鮮語スタンダードII3」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「朝鮮語ベーシックII」の配当年次を1・2③～④から2③～④に変更
- ・教育課程の充実のため、「スペイン語セミナーB」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「イタリア語スタンダードI」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「イタリア語スタンダードII」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「イタリア語スタンダードIII」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「イタリア語スタンダードIV」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「イタリア語ベーシックII」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育課程の充実のため、「イタリア語セミナーB」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「古代エジプト神聖文字A」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「古代エジプト神聖文字B」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「古代ローマ帝国ラテン語A」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「古代ローマ帝国ラテン語B」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「古典古代ギリシア語A」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「古典古代ギリシア語B」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「健康スポーツ科学実習I」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任17」に変更
- ・担当教員の変更のため、「健康スポーツ科学実習II（ゴルフ）」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「健康スポーツ科学実習II（スキーI）」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「健康スポーツ科学実習II（スキーII）」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「健康スポーツ科学講義」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・担当教員の変更のため、「情報機器操作入門」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「情報教育論」の教員配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任16」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「情報リテラシー概論」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「コンピュータセキュリティ入門」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「地域を探る」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリアデザイン」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「基礎情報論」の科目区分を「人文社会・教育科学」から「情報リテラシー」に変更

【平成29年度】

- ・教育課程の充実のため、「食と健康の科学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「新潟の農林業」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「新潟産業フィールドワーク」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「土と水」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「比較地域社会学」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「地域から文化を考える」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「ボランティア開発論Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「ボランティア開発論Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「ダブルホーム活動演習」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「学校フィールドワークA」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「学校フィールドワークB」を新規開設
- ・「考える葦の冒険」の科目区分を「新潟大学個性化科目」から「自然科学」に変更
- ・教育課程の充実のため、「新潟から考える雪の科学と文化」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「新潟での企業理念と経営戦略」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「新潟地域研究」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅲ」を新規開設
- ・「平和を考えるB（平和を考える in 新潟）」の科目の名称を「平和を考えるB」に変更教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任7」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「異文化と技術」の教員配置を「専任教員5」から「専任教員6」に変更
- ・「研究者の仕事と生活」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「社会とキャリア選択A」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「社会とキャリア選択B」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「大学生のための役に立つ育児学」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「トキをシンボルとした自然再生」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任9」に変更
- ・教育課程の充実のため、「表現プロジェクト演習G」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「表現プロジェクト演習H」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「表現プロジェクト演習Q」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「朱鷺・自然再生フィールドワーク」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更
- ・教育課程の充実のため、「カナダ・サマーセミナーⅠ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「カナダ・サマーセミナーⅡ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「リーダーシップ基礎演習」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「リーダーシップ実践演習」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「地理情報システム（GIS）概論・演習」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「グローバルコミュニケーションA」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「グローバルコミュニケーションC」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「感情と表象」の教員配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任13」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「地理情報システム（GIS）概論・応用演習」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「森・里・海フィールド実習」の教員配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「中国語学特殊講義」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「日本文化入門1」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更
- ・教育課程の充実のため、「日本文化入門2」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「ピアサポート入門」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「ダブルホーム活動入門」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「ICT活用と価値の情報化B」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育課程の充実のため、「1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅠ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅡ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「Chinese Politics and Diplomacy」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「Development of Environmental Policies of Japan」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「HSK（漢語水平考）受験対策講座Ⅰ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「HSK（漢語水平考）受験対策講座Ⅱ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「Japanese Experiences from Various Perspectives」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「Regionalism in the Asia-Pacific Region」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「The North and the South over the Environment and Development」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「アクティブラーニングA」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「アクティブラーニングB」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「アクティブラーニングC」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「オックスフォード大学英語研修」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「パフォーマンスの外国語」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「フィリピンALLC英語研修」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「メンタルヘルスを考える」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「レーザー工学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「海外フィールド体験」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「開発途上国の環境と開発：事例研究」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「国際開発協力論：「開発」とは何かⅠ」を新規開設

【平成29年度】

- ・教育課程の充実のため、「国際開発協力論：「開発」とは何かⅡ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「国際開発協力論：「開発」とは何かⅢ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「新聞を体験する一新潟日報との連携授業」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人類共同体のための国際環境政策学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「西洋カリグラフィーA」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「西洋カリグラフィーB」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「税のしくみから社会を考える」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中東イスラーム言語文化入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「電気電子工学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本と外国人」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「変遷する社会課題と私たち～科学技術と地球環境」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「留学生と考える日中交流史」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「JLPT-N1 A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「JLPT-N1 B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「JLPT-N1 C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「JLPT-N1 D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 作文A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 作文B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 作文C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 作文D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 聴解A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 聴解B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 聴解C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 聴解D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 読解A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 読解B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 読解C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N2 読解D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 作文A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 作文B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 作文C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 作文D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 聴解A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 聴解B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 聴解C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 聴解D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 読解A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 読解B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 読解C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N3 読解D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 作文A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 作文B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 作文C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 作文D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 聴解A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 聴解B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 聴解C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 聴解D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 読解A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 読解B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 読解C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「N4 読解D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語1 A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語1 B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語1 C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語1 D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語2 A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語2 B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語2 C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「旭町日本語2 D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「漢字・語彙A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「漢字・語彙B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「漢字・語彙C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「漢字・語彙D」を新規開設

【平成29年度】

- ・クォーター制移行により、「社会人としての日本語・作文A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「社会人としての日本語・作文B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「社会人としての日本語・作文C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「社会人としての日本語・作文D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「社会人としての日本語・作文E」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「社会人としての日本語・作文F」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「社会人の日本語・オーラルコミュニケーション」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「集中日本語OA」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「集中日本語OC」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「集中日本語1A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「集中日本語1B」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「集中日本語1C」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「集中日本語1D」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「日本事情グローバル」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「日本事情社会系A」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「日本事情人文系A：現代日本の政治と経済」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「日本事情人文系C：現代日本の歴史と文化」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「日本事情自然系A」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「工学リテラシー入門（力学分野）」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「工学リテラシー入門（情報電子分野）」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「工学リテラシー入門（化学材料分野）」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「工学リテラシー入門（建築分野）」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「工学リテラシー入門（融合領域分野）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「解析学基礎1」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「解析学基礎2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「数学基礎A1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「数学基礎A2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「数学基礎B1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「数学基礎B2」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「統計学基礎1」を新規開設
- ・クォーター制移行により、「統計学基礎2」を新規開設
- ・「物理学基礎AⅡ」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「物理学基礎BⅠ」の教員配置を「専任教員1」から「専任教員2」に変更「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「物理学基礎BⅡ」の教員配置を「専任教員1」を配置、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更
- ・教育課程の充実のため、「物理学基礎C1」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「物理学基礎C2」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「物理学基礎C3」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「物理学基礎C4」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「物理学基礎D」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「生物学基礎A」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「地学基礎B」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・教育課程の充実のため、「基礎数理B」を新規開設
- ・「数学の世界」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「物理学基礎実験」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「生物学実験Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任14」に変更
- ・「地学実験C」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育課程の充実のため、「DNA入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「自然科学基礎実験」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「地質学の基礎」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「物理学概論」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「最先端技術を支える化学Ⅰ」の教員配置を「専任7」から「専任8」、「兼任・兼任1」を配置
- ・教育課程の充実のため、「材料科学概論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「フランスの歴史と文学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「応用情報論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「音楽（ピアノ）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「音楽（作曲）」を新規開設
- ・「音楽R」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育課程の充実のため、「宮崎アニメにおける文明と自然」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「現代社会と科学技術」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「現代哲学演習」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「国際教養演習」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「つながりと絆の社会学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「少数民族の言語と文化」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「心の科学入門」を新規開設

【平成29年度】

- ・教育課程の充実のため、「心の哲学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人間学入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人間関係論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系フロンティア」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系展開科目A」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系展開科目B」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系展開科目C」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系展開科目D」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系展開科目E」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文超域科目C」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「西洋文化研究演習B」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「西洋文学LⅠ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「西洋文学LⅡ」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「哲学入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本近代文学F」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本文化史」を新規開設
- ・「日本文化論」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育課程の充実のため、「文学読解演習」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「平家物語と琵琶語り」を新規開設
- ・「領域融合・超域科目A」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任1」に変更
- ・教育課程の充実のため、「領域融合・超域科目C」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「領域融合・超域科目J」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「領域融合・超域科目N」を新規開設
- ・「領域融合・超域科目P」の教員配置を「教授1、兼任・兼任1」から「教授1」に変更
- ・教育課程の充実のため、「領域融合・超域科目Q」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「倫理学入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「臨床心理学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「歴史学A」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「歴史学C」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「歴史学D」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「歴史学P」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「歴史学V」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「和漢混濁文の文学世界」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「教養を考える」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「教養教育としての教育学入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「現代芸術入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「生命論パラダイムからの美術教育」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「リーガル・システムA」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「リーガル・システムB」の教員配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任12」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本国憲法」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「特殊講義（ITと法と経済）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「特殊講義（コンプライアンス）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「特殊講義（再生手続）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「特殊講義（手形小切手法）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「ゲーム理論への招待」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「ことばと言語学への誘い」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「ユーロ圏経済入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「映画を通じた社会の諸相」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「英語で学ぶマーケティングの基礎」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「英語で学ぶ企業分析入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「英語による経済数学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「英語による入門マクロ経済学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「組織マネジメント論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「組織行動論入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本の市民社会と市民運動」を新規開設
- ・教育上の効果を高めるため、「医学と医療の歴史」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更
- ・「ケアの基本理念と実際」の教員配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任10」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「医療と法」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「医療ボランティア論」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「顔」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任8」に変更
- ・「健康福祉学入門」の教員配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「新潟発福祉学」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任9」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「食べる」の教員配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」に変更
- ・教育課程の充実のため、「医学論文を読む（ジャーナルクラブ）A」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「医学論文を読む（ジャーナルクラブ）B」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「インターネットチュートリアル」を新規開設

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・「アカデミック英語R1」の教員配置を「兼任・兼任32」から「兼任・兼任31」に変更
- ・「アカデミック英語R2」の教員配置を「兼任・兼任32」から「兼任・兼任31」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「アカデミック英語L1」の教員配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任20」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「アカデミック英語L2」の教員配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任20」に変更
- ・「基礎英語」の教員配置を「兼任・兼任25」から「兼任・兼任24」に変更
- ・「理工英語読解」の教員配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「入門医療英語」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更
- ・教育上の効果を高めるため、「発展英語」の教員配置を「兼任・兼任16」から「兼任・兼任25」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand1)Academic Listening&Speaking」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand1)Academic Reading」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand1)Academic Writing」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand1)Presentation」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand2)Intercultural Communication」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand2)Listening&Speaking」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand2)Oral Communication」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand2)Presentation」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand3)Academic Reading1」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand3)Academic Reading2」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand3)Academic Writing1」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep(Strand3)Academic Writing2」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep Continuation:Academic Listening&Speaking」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep Continuation:Academic Reading」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep Continuation:Academic Writing」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep Continuation:Intercultural Communication」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep Continuation:Oral Communication」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep Continuation:Presentation」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「iStep Continuation:Pronunciation」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「健康スポーツ科学講義a」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「健康スポーツ科学講義b」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「共生社会論A」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「共生社会論B」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ICT活用と価値の情報化A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・教育課程の充実のため、「日本酒学A-1」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本酒学A-2」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本酒学B」を新規開設
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本事情人文系B」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①②」に変更
- ・「日本事情自然系A」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「技術日本語演習」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「社会学とは何か」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「人文社会情報論」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「人文超域科目D」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「西洋文化研究演習A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「知識のパルナツソス論」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本近代文学D」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本古典文学K」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本古典文学N」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本語教育Ⅱ-A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本語教育Ⅱ-B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本文化論演習B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「領域融合・超域科目B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「領域融合・超域科目E」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「領域融合・超域科目G」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「領域融合・超域科目I」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更

【平成30年度】

- ・カリキュラム構成の見直しにより、「臨床心理学入門」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「歴史学G」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「歴史学K」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「歴史学Q」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「芸術論入門」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「特殊講義（戦後政治）」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「税法入門」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「まちづくり論入門」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ロシア政治経済入門」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「メディカルサイエンス」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～④」に変更

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 授業科目の名称および編成の見直しにより、「医療英語ベーシック」に変更
- ・ 教育課程の充実のため、「医療英語」を新規開設
- ・ 授業科目の名称および編成の見直しにより、「iStep (Level 1) Academic Reading」に変更
- ・ 授業科目の名称および編成の見直しにより、「iStep (Level 1) Academic Writing」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 1) Listening & Speaking」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 1) Presentations」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 2) Academic Reading」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 2) Academic Writing」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 2) Listening & Speaking」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 2) Presentations」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 3) Academic Reading」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 3) Academic Writing」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 3) Listening & Speaking」に変更
- ・ 授業科目の編成および名称の見直しにより、「iStep (Level 3) Presentations」に変更
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Debate」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Listening」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Listening & Speaking」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Listening Skills」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Oral Communication」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Presentation Skills」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Reading Skills」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Writing」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Academic Writing Skills」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Creative Writing」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Cultural Studies」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Culture and Society」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Data Science for Research Writing」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Intercultural Communication」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Law & Society」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Oral Communication」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Presentation」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Pronunciation A」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Pronunciation B」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Reading Skills」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Research Report Writing Skills」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Research Writing」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Speaking Practicum」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「EAP: Topic Based Speaking」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「コミュニケーション・ドイツ語G」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「コミュニケーション・イタリア語A」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「コミュニケーション・イタリア語B」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「データサイエンス総論Ⅰ」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「データサイエンス総論Ⅱ」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「ネットワークリテラシー」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「インターンシップ実習」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「コミュニティインターンシップ入門」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「技術者としてのキャリア形成入門演習」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「コミュニティインターンシップ実践」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「コミュニティ開発論Ⅰ」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「コミュニティ開発論Ⅱ」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「現場訪問とデータから読み解く新潟の今 ―新潟地域産業の可能性を探る―」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「新潟中小企業魅力発信演習」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「生涯学習社会とメディア」を新規開設
- ・ 教育課程の充実のため、「文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅰ」を新規開設

【令和元年度】

- ・教育課程の充実のため、「P.F. ドラッカー理論とそこから学ぶキャリアデザイン」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「キャリア形成と法制度」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「フランス言語文化海外研修」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「リーダーシップ演習Ⅰ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「リーダーシップ演習Ⅱ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「リーダーシップ演習Ⅲ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「開発・環境と平和」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「学生がデザインする大学の未来」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「障がい学生支援法」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「新潟の企業の魅力を探る」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「新潟地域の魅力を探る」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語文法特講A」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語文法特講B」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国留学準備講座中級編A」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国留学準備講座中級編B」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「表現プロジェクト演習B」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「表現プロジェクト演習V」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「平和と現代のグローバル安全保障論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「平和学概論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「留学生と考える日台交流史」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本事情自然系B」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「英語による日本語文法解説」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「課題研究Ⅰ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「課題研究Ⅱ」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語による日本語文法解説」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「化学実験」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「電気回路」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「基礎から学ぶ森林調査」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「生態系を知る」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「生命を知る」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「農業資源を知る」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「働くことと地域づくり - 協同労働の協同組合（ワーカーズコープ）論 - 」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「フランスを旅する」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「リーガル・システム」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「英語で学ぶアジア経済」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「英語による応用ミクロ経済学」を新規開設
- ・授業科目の名称および編成の見直しにより、「音と音楽をめぐる科学と教養」に変更
- ・教育課程の充実のため、「司法・犯罪心理学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「情報セキュリティと法Ⅱ（IT社会制度）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「心理実習」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「神経・生理心理学」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系展開科目J」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文系展開科目K」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「人文社会科学入門（法学）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「水彩画表現入門」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「知的財産法Ⅱ（産業財産法）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「地域学を身に付け教員を目指そう」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「地域芸術開発論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「中国語オプショナルB」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「特殊講義（政策過程論）」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「日本近代文学H」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「文学E」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「領域融合・超域科目R」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「領域融合・超域科目S」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「臨床心理学概論」を新規開設
- ・教育課程の充実のため、「歴史学H」を新規開設

【令和元年度】

- ・カリキュラム構成の見直しにより、「健康スポーツ科学実習Ⅱ（バドミントン）」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①～②・③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「健康スポーツ科学実習Ⅱ（剣道）」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「健康スポーツ科学実習Ⅱ（卓球Ⅰ）」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「健康スポーツ科学実習Ⅱ（野外活動）」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「UNI×リテラシー演習」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・「UNI×リテラシー演習」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「コンピュータセキュリティ入門」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「情報リテラシー」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「情報機器操作入門」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更
- ・「情報教育論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「情報処理概論AⅠ」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「情報処理概論AⅡ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「キャリアデザイン」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「キャリアデザイン」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「キャリア形成」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「キャリア形成」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任12」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「近世越後諸地域の歴史と社会」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「近世越後諸地域の歴史と社会」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更
- ・「食と健康の科学」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任12」に変更
- ・「新潟の農林業」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任12」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「新潟産業フィールドワーク」の配当年次を「1・2・3・4②」から「1・2・3・4①～②」及び単位数を「4」から「6」に変更
- ・「新潟産業フィールドワーク」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「日本酒学A-1」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「日本酒学A-2」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「日本酒学B」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ダブルホーム活動演習」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「ダブルホーム活動演習」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ボランティア開発論Ⅰ」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「ボランティア開発論Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ボランティア開発論Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「ボランティア開発論Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「学校支援フィールドワークA（高等学校）」に変更
- ・「学校支援フィールドワークA（高等学校）」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「学校支援フィールドワークA（小学校）」に変更
- ・「学校支援フィールドワークA（小学校）」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「学校支援フィールドワークA（中学校）」に変更
- ・「学校支援フィールドワークA（中学校）」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「学校支援フィールドワークB（高等学校）」に変更
- ・「学校支援フィールドワークB（高等学校）」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「学校支援フィールドワークB（小学校）」に変更
- ・「学校支援フィールドワークB（小学校）」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「学校支援フィールドワークB（中学校）」に変更
- ・「学校支援フィールドワークB（中学校）」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「新潟での企業理念と経営戦略」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地域から文化を考える」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「地域から文化を考える」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅠ」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅡ」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「Japanese Experiences from Various Perspectives」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「The China-Japan-US Trilateral Relations」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「アクティブラーニングA」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①②③④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「アクティブラーニングB」の配当年次を「1・2・3・4②」から「1・2・3・4②④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「アクティブラーニングC」の配当年次を「1・2・3・4②」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「キャリアを共に考える-自己理解・他者理解」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「キャリア意識形成と自己成長」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「グローバルコミュニケーションA」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①～②」に変更

【令和元年度】

- ・カリキュラム構成の見直しにより、「シンガポール・スプリングセミナー」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「シンガポール・スプリングセミナー準備講座」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「トキをシンボルとした自然再生」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ピアサポート入門」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「メンタルヘルスを考えよう」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「メンタルヘルスを考えよう」の配当年次を「1・2・3・4③～④」から「1・2・3・4③」及び単位数を「2」から「1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「異文化と技術」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②・③～④」に変更
- ・「異文化と技術」の教員配置を「教授3」から「教授2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「韓国サマースクールⅠ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「韓国サマースクールⅡ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「韓国サマースクールⅢ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「研究者の仕事と生活」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「社会とキャリア選択A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・「社会とキャリア選択A」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「社会とキャリア選択B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・「社会とキャリア選択B」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「朱鷺・自然再生フィールドワーク」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「朱鷺・自然再生フィールドワーク」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「森・里・海フィールド実習」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「森・里・海フィールド実習」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任9」に変更
- ・「税のしくみから社会を考える」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任8」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「多文化共生社会体験in AUSTRALIA Ⅰ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「多文化共生社会体験in AUSTRALIA Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「台湾スプリングセミナーⅠ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「台湾スプリングセミナーⅠ」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「台湾スプリングセミナーⅡ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「台湾スプリングセミナーⅡ」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「大学生のための役に立つ育児学」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「大学生のための役に立つ育児学」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地理情報システム（GIS）概論・演習」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「地理情報システム（GIS）概論・演習」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地理情報システム（GIS）概論・応用演習」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「中国留学準備講座 サマーセミナー総合編」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本と外国人」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①・②・③・④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本手話A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本手話B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本文化入門1」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「日本文化入門2」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任5」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「表現プロジェクト演習F」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「表現プロジェクト演習G」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「表現プロジェクト演習H」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「表現プロジェクト演習Ⅰ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「表現プロジェクト演習Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「表現プロジェクト演習Q」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「表現プロジェクト演習T」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「表現プロジェクト演習U」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「平和を考えるA」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「平和を考えるA」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「北京サマーセミナーⅠ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「北京サマーセミナーⅡ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「北京サマーセミナーⅢ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「JLPT-N1 A」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「JLPT-N1 B」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「JLPT-N1 C」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「JLPT-N1 D」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「N2聴解B」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「N2聴解D」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更

【令和元年度】

- ・「N3聴解B」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「N3聴解D」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「漢字・語彙A」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・「漢字・語彙C」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「漢字・語彙D」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「社会人の日本語・オーラルコミュニケーション」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・「社会人としての日本語・作文B」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「社会人としての日本語・作文D」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・「集中日本語OA」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更
- ・「集中日本語1B」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更
- ・「集中日本語1C」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任3」に変更
- ・「集中日本語1D」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本事情グローバル」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本事情自然系A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「日本事情自然系A」の教員配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更
- ・「工学リテラシー入門（化学材料分野）」の教員配置を「教授8」から「教授15」及び「助教3」から「助教6」に変更
- ・「工学リテラシー入門（建築分野）」の教員配置を「教授4」から「教授5」に変更
- ・「工学リテラシー入門（情報電子分野）」の教員配置を「教授8」から「教授14」、 「准教授2」から「准教授14」及び「助教0」から「助教4」に変更
- ・「工学リテラシー入門（融合領域分野）」の教員配置を「教授3」から「教授0」及び「准教授5」から「准教授2」に変更
- ・「工学リテラシー入門（力学分野）」の教員配置を「教授7」から「教授8」、 「准教授5」から「准教授7」、 「助教1」から「助教4」及び「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「数学基礎A1」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「数学基礎A2」の配当年次を「1・2・3・4②」から「1・2・3・4②④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「数学基礎B1」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「数学基礎B2」の配当年次を「1・2・3・4②」から「1・2・3・4②④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「統計学基礎1」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「統計学基礎2」の配当年次を「1・2・3・4②」から「1・2・3・4②④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「物理学基礎AⅡ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「物理学基礎BⅠ」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「物理学基礎D」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①～②③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「化学基礎A」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①②③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「化学基礎C」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4②④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生物学基礎A」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①②③」に変更
- ・「生物学基礎A」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生物学基礎B」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①②③」に変更
- ・「生物学基礎B」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任3」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学基礎A」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学基礎B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学基礎C」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・「くらしと数理」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「グリーンケミストリー入門」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・「基礎数理AⅠ」の教員配置を「准教授3」から「准教授4」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「基礎数理AⅡ」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・「基礎数理AⅡ」の教員配置を「准教授3」から「准教授4」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「基礎氷雪学」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・「基礎氷雪学」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「自然科学基礎実験」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「自然科学基礎実験」の教員配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任7」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「社会を支える有機化学」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「数学の世界」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生活の化学」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生物学実験」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「生物学実験」の教員配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任11」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生物学－植物A－」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生物学－生物多様性A－」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生物学－動物A－」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更

【令和元年度】

- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学C（マグマと火山）」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」及び単位数を「2」から「1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学E（地球理解の諸相）」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」及び単位数を「2」から「1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学概論A」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学概論B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地学実験A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地球と気象」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「地質学の基礎」の配当年次を「1・2・3・4③～④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「物質の世界」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「物理学への招待A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「物理学基礎実験」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①～②・③～④」に変更
- ・「物理学基礎実験」の教員配置を「教授2」から「教授1」及び「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「くらしを支える機械システム工学」の配当年次を「1・2・3・4③～④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「最先端技術を支える化学I」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・「最先端技術を支える化学I」の教員配置を「准教授2」から「准教授3」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「生活を支える化学技術－化学工学への招待－」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・「材料科学概論」の教員配置を「准教授5」から「准教授6」及び「助教3」から「助教2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ビジネス書道入門」の配当年次を「1・2・3・4①②③④」から「1・2・3・4①～②・③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「フランスの歴史と文学」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「フランス語オプショナルA」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「リーガル・システムA」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・「リーガル・システムA」の教員配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「リーガル・システムB」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・「リーガル・システムB」の教員配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「英語で学ぶ企業分析入門」の配当年次を「1・2・3・4②」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「演劇入門」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「応用情報論」の配当年次を「1・2・3・4①～②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・授業科目の編成および名称の見直しにより、「音と音楽をめぐる科学と教養」に変更
- ・「音と音楽をめぐる科学と教養」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「音楽E」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「音楽F」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「音楽R」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「技術日本語演習」の配当年次を「1・2・3・4①～④」から「1・2・3・4②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「宮崎アニメにおける文明と自然」の配当年次を「1・2・3・4③」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「教養教育としての教育学入門」の配当年次を「1・2・3・4③」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「現代思想論」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「現代社会と科学技術」の配当年次を「1・2・3・4④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「現代社会論」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「社会学的思考法」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「宗教思想史入門」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「心と社会」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「心理学」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「心理学概論」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・「人間関係論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「人文系展開科目B」の配当年次を「1・2・3・4③～④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・「人文系展開科目C」の教員配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任11」に変更
- ・「人文系展開科目D」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」に変更
- ・「人文超域科目C」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「西洋文化研究演習A」の配当年次を「1・2・3・4①～④」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「西洋文学Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4③～④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「組織マネジメント論」の配当年次を「1・2・3・4③」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本古典文学N」の配当年次を「1・2・3・4①～④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「日本古典文学N」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本語教育Ⅰ－A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本語教育Ⅰ－B」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本国憲法」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4①②③④」に変更
- ・「日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本文化史」の配当年次を「1・2・3・4①」から「1・2・3・4②」に変更

【令和元年度】

- ・カリキュラム構成の見直しにより、「日本文化論」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「乳幼児心理学」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「認知と行動」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「美術史」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「文学D」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「領域融合・超域科目A」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・「領域融合・超域科目J」の教員配置を「兼担・兼任9」から「兼担・兼任8」に変更
- ・「領域融合・超域科目N」の教員配置を「兼担・兼任12」から「兼担・兼任11」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「領域融合・超域科目Q」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「倫理学入門」の配当年次を「1・2・3・4①～②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「臨床心理学」の配当年次を「1・2・3・4①～②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・「臨床心理学」の教員配置を「兼担・兼任2」から「兼担・兼任1」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「歴史学I」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「歴史学Q」の配当年次を「1・2・3・4①～④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「歴史学S」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「歴史学V」の配当年次を「1・2・3・4③～④」から「1・2・3・4①」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「先端医科学研究概説」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「医学序説I」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「医学序説I」の教員配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任15」に変更
- ・「医学論文を読む(ジャーナルクラブ)A」の教員配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任7」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「医療と放射線」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①～②」に変更
- ・「医療と放射線」の教員配置を「兼担・兼任5」から「兼担・兼任6」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「健康と医学」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・「健康と医学」の教員配置を「兼担・兼任4」から「兼担・兼任5」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「医学序説II」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「医学序説II」の教員配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任15」に変更
- ・「医学論文を読む(ジャーナルクラブ)B」の教員配置を「兼担・兼任1」から「兼担・兼任3」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「医療ボランティア論」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③」に変更
- ・「医療ボランティア論」の教員配置を「兼担・兼任3」から「兼担・兼任4」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「医療と画像技術」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「医療と画像技術」の教員配置を「兼担・兼任5」から「兼担・兼任6」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「医学と医療の歴史」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「医学と医療の歴史」の教員配置を「兼担・兼任8」から「兼担・兼任7」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「ケアの基本理念と実際」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「ケアの基本理念と実際」の教員配置を「兼担・兼任8」から「兼担・兼任13」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「食べる」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4①」に変更
- ・「食べる」の教員配置を「兼担・兼任11」から「兼担・兼任15」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「健康福祉学入門」の配当年次を「1・2・3・4①②」から「1・2・3・4②」に変更
- ・「健康福祉学入門」の教員配置を「兼担・兼任12」から「兼担・兼任14」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「新潟発福祉学」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4④」に変更
- ・「ケアの基本理念と実際」の教員配置を「兼担・兼任8」から「兼担・兼任10」に変更
- ・カリキュラム構成の見直しにより、「顔」の配当年次を「1・2・3・4③④」から「1・2・3・4③～④」に変更
- ・「顔」の教員配置を「兼担・兼任7」から「兼担・兼任12」に変更

(注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	343 科目	0 科目	348 科目	12 科目 [7]	598 科目 [255]	0 科目 []	610 科目 [262]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	Combination Class : Content & Skills 1 (29)	1	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
2	Topic Based Presentation Skills (29)	1	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
3	Combination Class : Content & Skills 2 (29)	1	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
4	Intercultural Communication 1 (29)	1	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
5	Intercultural Communication 2 (29)	1	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
6	Content Lecture (29)	1	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
7	Language Lab 2 (29)	1	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
8	Topic Based Research Project Class (29)	1	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、新規開設科目により代替
9	コンピュータ基礎演習(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
10	プログラミング基礎演習(29)	2	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
11	地域に生きる思想(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
12	物理学入門(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
13	基礎数学A I (29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
14	基礎数学A II (29)	2	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
15	基礎数学B I (29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
16	基礎数学B II (29)	2	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
17	化学実験(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
18	数理基礎演習 I (29)	1	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
19	数理基礎演習 II (29)	1	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
20	コンピュータへの招待(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
21	高福祉社会を支える「生活支援工学」入門(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
22	エレクトロニクスへの招待(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
23	エレクトロニクス入門(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
24	くらしと環境(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
25	機能材料化学概論(29)	2	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
26	感性学(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
27	歴史学W(29)	2	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
28	海外フィールド体験(30)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
29	iStepContinuation:Pronunciation (元)	1	1・2・3・4③~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無

30	Presentation 1 (元)	1	1・2・3・4②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
31	Presentation 2 (元)	1	1・2・3・4②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
32	地域を探る (元)	2	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
33	比較地域社会学 (元)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
34	コミュニティ・インターンシップ (元)	2	1・2・3・4①~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置有
35	文字文化論	2	1・2・3・4①~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
36	ICT活用と価値の情報化A (元)	1	1・2・3・4①~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
37	ICT活用と価値の情報化B (元)	1	1・2・3・4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
38	The North and the South over the Environment and Development (元)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
39	開発途上国の環境と開発：事例研究 (元)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
40	国際開発協力論：「開発」とは何かⅠ (元)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
41	国際開発協力論：「開発」とは何かⅡ (元)	2	1・2・3・4③~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
42	国際開発協力論：「開発」とは何かⅢ (元)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
43	人類共同体のための国際環境政策学 (元)	2	1・2・3・4③~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
44	電気電子工学 (元)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
45	DNA入門 (元)	2	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
46	考える葦の冒険 (元)	2	1・2・3・4③④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
47	国際教養演習 (元)	2	1・2・3・4①~②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
48	心の科学入門 (元)	2	1・2・3・4①	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
49	心の哲学 (元)	2	1・2・3・4③~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
50	知識のパルナツソス論 (元)	2	1・2・3・4①~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
51	平家物語と琵琶語り (元)	2	1・2・3・4②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
52	和漢混淆文の文学世界 (元)	2	1・2・3・4④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
53	英語で学ぶマーケティングの基礎 (元)	1	1・2・3・4②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
54	メディカルサイエンス (元)	1	1・2・3・4①~④	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目は、外国語科目や全学共通科目に位置付けられた科目及び科目の名称変更に伴うものであり、併せて科目新設等も行っているため、教育の質は確保できている。
なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{54}{348} = \boxed{15.51} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 長岡附属学校の土地の 一部、学長宿舍、五十 嵐地区の土地の一部及 び飛地の譲渡による減 (30)		
	校舎敷地	637,966 m ² 639,774 m ²	0 m ²	0 m ²	637,966 m ² 639,774 m ²			
	運動場用地	95,834 m ²	0 m ²	0 m ²	95,834 m ²			
	小 計	733,800 m ² 735,608 m ²	0 m ²	0 m ²	733,800 m ² 735,608 m ²			
	そ の 他	5,478,219 m ² 5,479,319 m ²	0 m ²	0 m ²	5,478,219 m ² 5,479,319 m ²			
	合 計	6,212,019 m ² 6,214,927 m ²	0 m ²	0 m ²	6,212,019 m ² 6,214,927 m ²			
(2) 校 舎	専 用	266,693 m ²	0 m ²	0 m ²	266,693 m ²	大学全体		
	(266,693 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(266,693 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	127室 130室 119室	演 習 室 156室 164室 157室	実験実習室 1,425室 1,408室 1,387室	情報処理学習施設 7室 26室 28室 (補助職員 0人)	語学学習施設 6室 (補助職員 0人)	大学全体 使用区分の見直し(元) 改修等に伴うスペース区 分及び使用区分の見直し (30)	
	新設学部等の名称	工学部 工学科			123 126 133	室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「機器・器具」、「標 本」以外は、大学全体 図書充実及び整理等に 伴う増減(元) 図書充実及び整理等に 伴う増減(30)
	工学部	1,560,521(580,559) +1,578,744(584,953) +1,618,194(589,536)	47,741[28,480] 43,716[24,566] 42,757[23,061]	18,912[17,571] 14,963[13,678] 14,036[12,207]	16,163 16,333 16,562	4,677 8,290 8,274	18	
	計	1,560,521(580,559) +1,578,744(584,953) +1,618,194(589,536)	47,741[28,480] 43,716[24,566] 42,757[23,061]	18,912[17,571] 14,963[13,678] 14,036[12,207]	16,163 16,333 16,562	4,677 8,290 8,274	18	
(6) 図 書 館	面 積	18,721 m ²	閱 覧 座 席 数	2,064 席 2,034 席	収 納 可 能 冊 数	1,522,000 冊	大学全体 座席の充実による増加 (元)	
	面 積	5,651 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要 武道場、陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、パレ ーボールコート、弓道場、水泳プール、厩舎・馬場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	新潟大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
人文学部 人文学科	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	
	4	225	3年次 6	912	学士(文学)	1.04		平成22年度		
教育学部									同上	
学校教員養成課程	4	220	-	880	学士(教育学)	1.04		平成20年度		平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止
学習社会ネットワーク課程	4	-	-	-	学士(人間科学)	-		平成10年度		
生活科学課程	4	-	-	-	学士(生活科学)	-		平成20年度		
健康スポーツ科学課程	4	-	-	-	学士(健康スポーツ 科学)	-		平成10年度		
芸術環境創造課程	4	-	-	-	学士(芸術)	-		平成10年度		
法学部									同上	
法学科	4	180	3年次 5	730	学士(法学)	1.06		平成16年度		
経済学部									同上	
経済学科(昼間コース)	4	160	3年次 10	660	学士(経済学)	1.00		平成6年度		
経済学科(夜間主コース)	4	25	-	100	学士(経済学)	1.01		平成6年度		
経営学科(昼間コース)	4	105	3年次 5	430	学士(経済学)	1.04		平成6年度		
経営学科(夜間主コース)	4	15	-	60	学士(経済学)	1.04		平成6年度		
理学部									同上	
理学科	4	200	3年次 10	610	学士(理学)	1.04		平成29年度		平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止
数学科	4	-	-	-		-		平成6年度		
物理学科	4	-	-	-		-		平成6年度		
化学科	4	-	-	-		-		平成6年度		
生物学科	4	-	-	-		-		平成6年度		
地質科学科	4	-	-	-		-		平成6年度		
自然環境科学科	4	-	-	-		-		平成6年度		
医学部									新潟市中央区旭町 通1番町757番地	
医学科	6	122	2年次 5	757	学士(医学)	1.00	平成30年度	昭和24年度		
保健学科	4	160	3年次 20	680	学士(看護学), 学士(保健学)	1.00		平成11年度	新潟市中央区旭町 通2番町746番地	
歯学部									新潟市中央区学校 町通2番町5274番 地	
歯学科	6	40	2年次 5	260	学士(歯学)	1.00		昭和40年度		
口腔生命福祉学科	4	20	3年次 6	92	学士(口腔保健福祉 学)	1.01		平成16年度		
工学部									新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	
工学科	4	530	3年次 20	1,610	学士(工学)	1.03		平成29年度		
機械システム工学科	4	-	-	-		-		平成10年度		
電気電子工学科	4	-	-	-		-		平成10年度		
情報工学科	4	-	-	-		-		平成10年度		
福祉人間工学科	4	-	-	-		-		平成10年度		
化学システム工学科	4	-	-	-		-		平成6年度		
建設学科	4	-	-	-		-		平成元年度		
機能材料工学科	4	-	-	-		-		平成10年度		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
農学部	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止 平成29年度より学生 募集停止
農学科	4	175	3年次 10	535	学士(農学)	1.04		平成29年度		
農業生産科学科	4	-	-	-		-		平成3年度		
応用生物化学科	4	-	-	-		-		平成3年度		
生産環境科学科	4	-	-	-		-		平成3年度		
創生学部									同上	
創生学修課程	4	65	-	195	学士(学術)	1.07		平成29年度		
大学全体		2,242	102	8,511	-	1.03	-	-	-	
大学の名称	新潟大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
教育実践学研究科	年	人	年次 人	人		倍			新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	平成31年度より学生 募集停止
専門職学位課程 教育実践開発専攻	2	20	-	20	教職修士(専門職)	1.00		平成31年度		
教育学研究科									同上	
専門職学位課程 教育実践開発専攻	2	-	-	-	教職修士(専門職)	-		平成28年度		
現代社会文化研究科									同上	
博士課程 (前期2年の課程) 現代文化専攻	2	10	-	20	修士(文学), 修士(学 術)	2.55		平成24年度		
社会文化専攻	2	20	-	40	修士(文学), 修士(学 術)	1.15		平成24年度		
法政社会専攻	2	10	-	20	修士(法学), 修士(行 政学), 修士(学術)	0.55		平成24年度		
経済経営専攻	2	20	-	40	修士(経済学), 修士 (経営学), 修士(公共 経営学), 修士(学術)	0.42		平成24年度		
博士課程 (後期3年の課程) 人間形成研究専攻	3	6	-	18	博士(学術), 博士(文 学), 博士(教育学)	1.38		平成24年度		
共生文化研究専攻	3	7	-	21	博士(学術), 博士(文 学)	0.57		平成24年度		
共生社会研究専攻	3	7	-	21	博士(学術), 博士(法 学), 博士(経済学)	0.32		平成24年度		
自然科学研究科									同上	
博士課程 (前期2年の課程) 数理物質科学専攻	2	63	-	126	修士(学術), 修士(理 学)	1.03		平成22年度		
材料生産システム専攻	2	143	-	286	修士(学術), 修士(工 学)	0.99		平成16年度		
電気情報工学専攻	2	122	-	244	修士(学術), 修士(工 学)	1.06		平成22年度		
生命・食料科学専攻	2	70	-	140	修士(学術), 修士(理 学), 修士(農学)	0.79		平成16年度		
環境科学専攻	2	89	-	178	修士(学術), 修士(理 学), 修士(工学), 修 士(農学)	0.86		平成22年度		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
自然科学研究科	年	人	年次人	人		倍			新潟市西区五十嵐2の町8050番地
博士課程 (後期3年の課程) 数理物質科学専攻	3	13	-	39	博士(学術), 博士(理学)	0.73		平成22年度	
材料生産システム専攻	3	16	-	48	博士(学術), 博士(工学)	0.47		平成16年度	
電気情報工学専攻	3	13	-	39	博士(学術), 博士(工学)	0.30		平成22年度	
生命・食料科学専攻	3	13	-	39	博士(学術), 博士(理学), 博士(農学)	0.58		平成16年度	
環境科学専攻	3	15	-	45	博士(学術), 博士(理学), 博士(工学), 博士(農学)	0.55		平成22年度	
保健学研究科									新潟市中央区旭町通2番町746番地
博士課程 (前期2年の課程) 保健学専攻	2	20	-	40	修士(保健学)	1.07		平成16年度	
博士課程 (後期3年の課程) 保健学専攻	3	6	-	18	博士(保健学)	1.21		平成19年度	
医歯学総合研究科									新潟市中央区旭町通1番町757番地
修士課程 医科学専攻	2	20	-	40	修士(医科学)	0.77		平成15年度	
博士課程 (前期2年の課程) 口腔生命福祉学専攻	2	6	-	12	修士(口腔保健福祉学)	0.91		平成20年度	新潟市中央区学校町通2番町5274番
博士課程 (後期3年の課程) 口腔生命福祉学専攻	3	3	-	9	博士(口腔保健福祉学)	0.66		平成22年度	
博士課程 分子細胞医学専攻	4	22	-	88	博士(医学), 博士(学術)	1.11		平成13年度	新潟市中央区旭町通1番町757番地
生体機能調節医学専攻	4	37	-	148	博士(医学), 博士(学術)	0.95		平成13年度	
地域疾病制御医学専攻	4	14	-	56	博士(医学), 博士(学術)	0.38		平成13年度	
口腔生命科学専攻	4	28	-	112	博士(歯学), 博士(学術)	0.97		平成13年度	新潟市中央区学校町通2番町5274番地
大学全体		813		1,907	-	0.88	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (2 8 年)	該 当 な し		
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (2 9 年)	該 当 な し		
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (3 0 年)	該 当 な し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・平成28年度 総務委員会（添付資料①） 委員29名
代議員会（添付資料②） 委員29名
学生部専門委員会（添付資料③） 委員20名
- ・平成29年度 総務委員会 委員25名
代議員会 委員24名
学生部専門委員会 委員16名
- ・平成30年度 総務委員会 委員26名
代議員会 委員25名
学生部専門委員会 委員17名

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成28年度 総務委員会 11回開催
代議員会 11回開催
学生部専門委員会 11回開催
- ・平成29年度 総務委員会 11回開催
代議員会 11回開催
学生部専門委員会 11回開催
- ・平成30年度 総務委員会 11回開催
代議員会 11回開催
学生部専門委員会 11回開催

c 委員会の審議事項等

- ・平成28年度
 - ・管理運営体制について
 - ・予算配分について
 - ・他大学、放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定について
 - ・グローバル人材育成推進事業について
 - ・ASEAN諸国の大学との交流協定について
 - ・学生の留学について
 - ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーについて
 - ・新潟大学工学部規程及び同規程細則の改正について
 - ・工学部工学科の5分野9主専攻プログラムの教育体制について
 - ・転分野、転主専攻プログラムについて
 - ・平成29年度クォーター制導入と授業開講計画について
 - ・平成29年度授業開設計画について
 - ・英語教育について
 - ・平成29年度新潟大学授業暦について
 - ・平成29年度の新入生ガイダンスについて
 - ・工学部教育賞受賞者候補推薦について

- ・平成29年度
 - ・管理運営体制について
 - ・予算配分について
 - ・平成30年度入学者選抜要項について
 - ・他大学、放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定について
 - ・グローバル人材育成推進事業について
 - ・学生異動について
 - ・学生の留学について
 - ・学生の処分・教育的措置について
 - ・留学生の受入について
 - ・について
 - ・新潟大学工学部規程及び同規程細則の改正について
 - ・工学部工学科の5分野9主専攻プログラムの教育体制について
 - ・転分野、転主専攻プログラムについて
 - ・英語教育について
 - ・平成30年度新潟大学授業暦について
 - ・平成30年度の新入生ガイダンスについて
 - ・工学部教育賞受賞者候補推薦について

- ・平成30年度
 - ・管理運営体制について
 - ・予算配分について
 - ・平成31年度入学者選抜要項について
 - ・他大学、放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定について
 - ・グローバル人材育成推進事業について
 - ・学生異動について
 - ・学生の留学について
 - ・学生の処分・教育的措置について
 - ・留学生の受入について
 - ・について
 - ・新潟大学工学部規程及び同規程細則の改正について
 - ・工学部工学科の5分野9主専攻プログラムの教育体制について
 - ・転分野、転主専攻プログラムについて
 - ・英語教育について
 - ・平成31年度新潟大学授業暦について
 - ・平成31年度の新入生ガイダンスについて
 - ・平成32年度入学者選抜要項について
 - ・平成32年度総合型選抜入試（A0入試）の募集要項について
 - ・工学部教育賞受賞者候補推薦について

② 実施状況

a 実施内容

平成27年度までの工学部改革を検討してきた組織改革WGの後を受けて、総務委員会、代議員会、学生部専門委員会により、改組後の主専攻プログラムの運営体制、教育の実施方針と実施体制、学生指導の方針と体制、工学科導入科目を検討した。

b 実施方法

毎月（9月を除く）定例で、会議室にて開催する。工学部長が総務委員会と代議員会の議長を務め、学生部専門委員会の議長は、工学部内の選挙で選ばれた教務委員長が務める。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成28年度開催（月日、出席者数）まとめ

- 4月 学生部専門委員会（4月6日、15名）、総務委員会（4月20日、27名）、代議員会（4月20日、27名）
- 5月 学生部専門委員会（5月11日、18名）、総務委員会（5月18日、26名）、代議員会（5月18日、26名）
- 6月 学生部専門委員会（6月1日、17名）、総務委員会（6月15日、25名）、代議員会（6月15日、25名）
- 7月 学生部専門委員会（7月6日、13名）、総務委員会（7月20日、25名）、代議員会（7月20日、25名）
- 9月 学生部専門委員会（9月14日、12名）、総務委員会（9月21日、21名）、代議員会（9月21日、21名）
- 10月 学生部専門委員会（10月5日、18名）、総務委員会（10月19日、28名）、代議員会（10月19日、28名）
- 11月 学生部専門委員会（11月2日、16名）、総務委員会（11月16日、27名）、代議員会（11月16日、27名）
- 12月 学生部専門委員会（12月7日、18名）、総務委員会（12月21日、29名）、代議員会（12月21日、29名）
- 1月 学生部専門委員会（1月4日、16名）、総務委員会（1月18日、24名）、代議員会（1月18日、24名）
- 2月 学生部専門委員会（2月1日、17名）、総務委員会（2月15日、29名）、代議員会（2月15日、29名）
- 3月 学生部専門委員会（3月1日、14名）、総務委員会（3月15日、24名）、代議員会（3月15日、24名）

平成29年度開催（月日、出席者数）まとめ

- 4月 学生部専門委員会（4月19日、14名）、総務委員会（4月19日、27名）、代議員会（4月20日、27名）
- 5月 学生部専門委員会（5月17日、16名）、総務委員会（5月17日、23名）、代議員会（5月18日、23名）
- 6月 学生部専門委員会（6月7日、15名）、総務委員会（6月7日、22名）、代議員会（6月7日、22名）
- 7月 学生部専門委員会（7月19日、15名）、総務委員会（7月19日、22名）、代議員会（7月19日、22名）
- 9月 学生部専門委員会（9月20日、15名）、総務委員会（9月20日、21名）、代議員会（9月20日、20名）
- 10月 学生部専門委員会（10月18日、15名）、総務委員会（10月18日、25名）、代議員会（10月18日、24名）
- 11月 学生部専門委員会（11月15日、15名）、総務委員会（11月15日、22名）、代議員会（11月15日、22名）
- 12月 学生部専門委員会（12月20日、16名）、総務委員会（12月20日、25名）、代議員会（12月20日、24名）
- 1月 学生部専門委員会（1月17日、16名）、総務委員会（1月17日、23名）、代議員会（1月17日、23名）
- 2月 学生部専門委員会（2月21日、16名）、総務委員会（2月21日、23名）、代議員会（2月21日、23名）
- 3月 学生部専門委員会（3月20日、15名）、総務委員会（3月20日、22名）、代議員会（3月20日、21名）

平成30年度開催（月日、出席者数）まとめ

- 4月 学生部専門委員会（4月18日、17名）、総務委員会（4月18日、25名）、代議員会（4月18日、24名）
- 5月 学生部専門委員会（5月16日、16名）、総務委員会（5月16日、22名）、代議員会（5月16日、23名）
- 6月 学生部専門委員会（6月20日、15名）、総務委員会（6月20日、23名）、代議員会（6月20日、24名）
- 7月 学生部専門委員会（7月18日、15名）、総務委員会（7月18日、23名）、代議員会（7月18日、23名）
- 9月 学生部専門委員会（9月19日、17名）、総務委員会（9月19日、23名）、代議員会（9月19日、23名）
- 10月 学生部専門委員会（10月17日、16名）、総務委員会（10月17日、22名）、代議員会（10月17日、23名）
- 11月 学生部専門委員会（11月21日、17名）、総務委員会（11月21日、24名）、代議員会（11月21日、24名）
- 12月 学生部専門委員会（12月19日、17名）、総務委員会（12月19日、24名）、代議員会（12月19日、24名）
- 1月 学生部専門委員会（1月16日、16名）、総務委員会（1月16日、25名）、代議員会（1月16日、22名）
- 2月 学生部専門委員会（2月20日、17名）、総務委員会（2月20日、24名）、代議員会（2月20日、23名）
- 3月 学生部専門委員会（3月20日、16名）、総務委員会（3月20日、25名）、代議員会（3月20日、24名）

平成28年度工学部FD

- 4月8日、8名参加：「人を対象とする研究」ガイダンス
- 6月8日、78名参加：ハラスメントの防止等について
- 8月2・3日、10名参加：工学部における倫理審査ガイダンス
～新潟大学における人を対象とする研究等倫理委員会に関するご報告～
- 9月21日、52名参加：科研費ガイダンス
- 12月15日、31名参加：メコン諸国と連携した地域協働・ドミトリー型融合教育による
理工系人材育成キックオフシンポジウム
- 2月3日、9名参加：「人を対象とする研究倫理」ガイダンス
- 3月10日、73名参加：工学教育国際フォーラムin新潟

平成29年度工学部FD

- 4月8日、3名参加：「人を対象とする研究倫理」ガイダンス
- 8月28日、27名参加：メコン諸国と連携した地域協働・ドミトリー型融合教育による理工系人材育成実践的
グローバル教育プログラムに関するフォーラム
- 9月15日、32名参加：科研費ガイダンス
- 9月26日、6名参加：「人を対象とする研究倫理」ガイダンス
- 2月22日、63名参加：工学部全教員対象FD（第1回）
- 3月20日、58名参加：工学部全教員対象FD（第2回）

平成30年度工学部FD

- 4月6日、12名参加：「人を対象とする研究倫理」ガイダンス
- 6月13日、18名参加：共同研究獲得に向けての学内説明会
- 8月27日、10名参加：地域協働による国際的な科学技術教育に関するフォーラム
- 9月12日、43名参加：科研費ガイダンス
- 3月20日、58名参加：キャンパスにおけるハラスメント防止について

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教員相互で授業参観と参観後の懇談会を行い、懇談会の内容を踏まえて授業改善に役立てる。
- ・教員の審査で評価の高い教員あるいは学生の授業評価の高い教員に対して、インセンティブ経費を配分する。
- ・教育プログラムの外部評価委員会（県内外の企業関係者、他大学の教授が委員として参加）を開催し、授業改善に生かしている。
- ・海外勤務経験者及び外国人研究者による特別講義を実施していただき、授業改善に役立てる。
- ・学生全員を対象にして、英語学習に関わる目標設定シートにより、英語学習指導を行っている。
- ・就職担当から企業に依頼し、学習教育目標に関して企業アンケートを行い授業改善に生かしている。
- ・高度高学力を有するトップ・グラデュエイツを育成するため工学科にスマート・ドミトリークラスを設置した。
- ・インターンシップ科目を主体的に含む協創経営プログラムを新設した。
- ・メコン諸国の4大学との連携により国際的なインターンシップを含む理工系人材育成事業を立ち上げ、教育の国際化をさらに進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・クォーター毎に実施 6月、8月、12月、2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・新潟大学ホームページ（教育・学生支援機構学位プログラム支援センター）で教員及び学生に公表（学内限定）する。
前期（第1Q、第2Q）10月、後期（第3Q、第4Q）4月

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・設置計画に沿って実施を進めている。引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・大学全体の自己点検・評価は毎年実施しており、改組後の当該学部に関する自己点検・評価結果については、学年進行終了後（令和3年度以降）、速やかに公表予定。

b 公表方法

- ・自己点検・評価結果を大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に機関別認証評価を受審しており、次回、令和3年度までに評価機関の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (令和 元 年 7 月 末 日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

添付資料①

○新潟大学工学部総務委員会内規

(平成 16 年 4 月 1 日工学部長裁定)

(設置)

第 1 条 新潟大学工学部(以下「工学部」という。)に、工学部総務委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 入試に関する事項
- (2) 教育連携推進に関する事項
- (3) 改革推進に関する事項
- (4) 施設整備に関する事項
- (5) 環境整備に関する事項
- (6) 工学部附属センターに関する事項
- (7) JABEE 審査に関する事項
- (8) その他工学部の運営に関する必要な事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 副学部長
- (3) 工学力教育センター長
- (4) 各主専攻プログラム長
- (5) 教務委員
- (6) 入試委員
- (7) 教育連携推進委員
- (8) 厚生委員
- (9) 広報委員
- (10) その他学部長が必要と認める者

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、学部長をもって充てる。

2～3 (略)

(会議)

第 5 条 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 (略)

(委員以外の者の出席)

第 6 条 委員長が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第 7 条 委員会は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 (略)

(事務)

第 8 条 委員会の事務は、自然科学系事務部において処理する。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から実施する。

附 則(平成17年3月22日)～附 則(平成29年3月31日) (略)

添付資料②

○新潟大学工学部教授会規程（抄：代議員会）

（平成 16 年 4 月 1 日工規程第 2 号）

（趣旨）

第 1 条 この規程は、新潟大学教授会通則（平成 16 年規則第 9 号。以下「通則」という。）第 9 条の規定に基づき、新潟大学工学部教授会（以下「教授会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第 2 条 教授会は、工学部の担当を命ぜられている教授及び各主専攻プログラム長をもって組織する。

（会議の開催）

第 3 条 定例会議は、年 8 回開催するものとする。ただし、臨時に開催することができる。

2 （略）

（議事及び議決）

第 4 条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開くことができない。

2～3 （略）

（構成員以外の者の出席）

第 5 条 議長が必要と認めるときは、教授会に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（議案の提出）

第 6 条 教授会の構成員は、10 分の 1 以上の構成員の賛成を得て、文書をもって教授会に議案を提出することができる。

（議事録の作成及び確認）

第 7 条 教授会に議事録を備え、議事の概要を記録し、次回の教授会において確認を得るものとする。

（代議員会）

第 8 条 教授会に通則第 7 条の規定に基づき、代議員会を置き、代議員会の議決をもって、教授会の議決とする。

2 代議員会は、学部長、副学部長、工学力教育センター長及び新潟大学工学部各種委員等に関する内規（平成 16 年 4 月 1 日学部長裁定）第 1 条第 1 号から第 6 号までに規定する委員等をもって組織する。

- 3 代議員会は、通則第4条第1項第3号及び同条第2項に規定する事項を審議する。
- 4 代議員会に議長を置き、学部長をもって充てる。
- 5 議長は、代議員会を主宰する。
- 6 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。
- 7 代議員会の定例会議は、毎月1回開催するものとする。ただし、臨時に開催することができる。
- 8 代議員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。
- 9 代議員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。この場合において、議長は、議決に加わらない。
- 10 前項の場合において、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 11 代議員会における審議の結果は、教授会に報告する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、教授会の運営等に関し必要な事項は、教授会が別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年4月1日工規程第5号)～附 則(平成31年3月20日工規程第2号) (略)

添付資料③

新潟大学工学部総務委員会専門委員会要項（抄・学生部専門委員会）

〔平成16年4月1日〕
学部長裁定

（設置）

第1条 新潟大学工学部総務委員会内規（平成16年4月1日学部長裁定）第7条の規定に基づき、次に掲げる専門委員会を置く。

- (1) 学生部専門委員会
- (2) 入試専門委員会
- (3) 教育連携推進専門委員会
- (4) 広報専門委員会
- (5) 環境専門委員会
- (6) 情報システム専門委員会
- (7) 図書館専門委員会
- (8) 国際交流・研究推進専門委員会
- (9) 点検・評価専門委員会
- (10) 工学部レクリエーション専門委員会
- (11) 技術部運営専門委員会

（学生部専門委員会）

第2条 学生部専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教務に関する事項
- (2) 学生の厚生に関する事項
- (3) その他学務に関し必要な事項

2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務委員
- (2) 厚生委員
- (3) 教育連携推進委員
- (4) 各主専攻プログラム長

3 委員会に委員長を置き、教務委員をもって充てる。

4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

5 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

6 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

7 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

8 委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(入試専門委員会)

第3条 入試専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 入試運営に関する事項
- (2) 入試制度に関する事項
- (3) その他入試に関し必要な事項

2～8 (略)

(教育連携推進専門委員会)

第4条 教育連携推進専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 高大接続に関する事項
- (2) SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に関する事項
- (3) その他教育連携推進に関する事項

2～9 (略)

(広報専門委員会)

第5条 広報専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 工学部案内等広報誌に関する事項
- (2) 工学部ホームページに関する事項
- (3) その他広報に関する事項

2～9 (略)

(環境専門委員会)

第6条 環境専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育・研究環境の整備に関する事項
- (2) 交通対策に関する事項
- (3) その他環境整備及び交通対策に関する事項

2～9 (略)

(情報システム専門委員会)

第7条 情報システム専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 新潟大学部局情報セキュリティ・個人情報保護委員会の設置に関する規程

(平成 16 年規定第 59 号) 第 4 条に規定する任務

- (2) 新潟大学情報基盤センター（以下「センター」という。）に係る問題についての工学部意見の集約に関する事項
- (3) センターの運営委員会委員及び各種専門委員会の工学部委員の選出に関する事項
- (4) その他工学部におけるセンターに係る情報処理設備の共同利用に関する事項

2～9 (略)

(図書館専門委員会)

第 8 条 図書館専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 工学部図書分室に関する内規等の制定及び改廃に関する事項
- (2) 工学部図書分室の管理運営に関する重要事項に関する事項
- (3) 附属図書館委員会委員の選考に関する事項
- (4) 新潟大学工学部研究報告の編集に関する事項
- (5) 新潟大学工学部研究報告の公開に関する事項
- (6) その他工学部図書分室に関する事項

2～9 (略)

(国際交流・研究推進専門委員会)

第 9 条 国際交流・研究推進専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 交際交流に関する諸問題の検討
- (2) 学術・教育の国際交流の推進に関する事項
- (3) その他国際交流・研究推進に関する必要な事項

2～9 (略)

(点検・評価専門委員会)

第 10 条 点検・評価専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 当該組織の教育活動等の状況について当該組織が行う評価に関する事項
- (2) その他点検・評価に関する事項

2～9 (略)

(工学部レクリエーション専門委員会)

第 11 条 工学部レクリエーション専門委員会（以下この条において「委員会」という。）は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) レクリエーション行事の計画及び実施に関する事項
- (2) その他レクリエーションに関する事項

2～8 (略)

(事務)

第13条 第1条各号に規定する委員会の事務は、工学部事務室において処理する。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から実施する。

附 則（平成18年4月1日） ～ 附 則（平成29年4月1日） （略）